特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に 関する法律に基づく第一種指定化学物質及び第二種指定化学物質の 指定の見直しについて(報告)

### 令和2年5月

薬事・食品衛生審議会 薬事分科会化学物質安全対策部会PRTR対象物質調査会 化学物質審議会安全対策部会 化管法物質選定小委員会 中央環境審議会環境保健部会 PRTR対象物質等専門委員会 (化管法対象物質見直し合同会合)

# 目次

はじめに	1
1 現行の物質選定の考え方と課題	2
1-1 平成 11 年度法制定時における物質選定の考え方	2
1-2 平成 $20$ 年度見直しにおける物質選定の考え方及び課題	3
1-3 令和元年度の制度見直しにおける物質選定に係る課題	5
2 令和元年度の見直しにおける物質選定の考え方	8
2-1 令和元年度の見直しにおける物質選定の基本的な考え方	8
2-2 物質選定を行う母集団の考え方	9
2-3 有害性の観点からの物質選定の考え方	9
(1) 有害性の観点からの選定基準	9
(2) 有害性の情報源	10
2-4 環境での存在状況(ばく露)等の観点からの物質選定の考え方	10
(1) 一般環境中での検出状況に基づく判断基準	10
(2) 検出状況以外の判断基準	11
(3) 環境保全施策上必要な物質の判断基準	13
2-5 その他の対象物質選定の考え方	14
2-6 特定第一種指定化学物質の選定の考え方	14
3 物質選定における今後の課題	16
3-1 有害性の観点からの物質選定における今後の課題	16
3-2 環境での存在状況(ばく露)の観点からの物質選定における今後	の課
題	16
3-3 その他の課題	17
おわりに	18
別添1PRTR 及びSDS対象化学物質の有害性の観点からの選定基準の詳細	. 19
別添2 有害性の情報源	25
別添3 「現行の第一種指定化学物質ではない物質のうち、化審法用途のみの	の物
質」の化管法物質選定用排出係数の算出結果	30
別添4 生態の観点からの特定第一種指定化学物質の選定方法	32
(1) 背景	32
(2) 現行の特定第一種指定化学物質の指定要件	32
(3) 生態毒性の観点の特定第一種指定化学物質の指定要件等	33
別添5 選定された物質の一覧	37
別添6 3省諮問	45
別添7 委員名簿	49
別添8 審議の推移	50

### はじめに

化学物質による人の健康や生態系への影響に関する国民の不安が増大していることを背景として、従来の化学物質対策に加え、より総合的な対策の検討が必要になったことから、「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」(以下、「化管法」という。)が平成11年7月に公布され、平成12年3月に施行された。

化管法は、特定の化学物質の環境への排出・移動量に関する措置(PRTR: Pollutant Release and Transfer Register)並びに事業者による化学物質の性状及び取扱いに関する情報(SDS: Safety Data Sheet)の提供に関する措置等を講ずることにより、事業者による化学物質の管理の改善を促進し、環境の保全上の支障を未然に防止することを目的としたものである。

化管法附則第3条により、施行後7年を経過した場合に見直すこととされており、平成20年11月に化管法施行令が改正された。また、平成30年度には規制改革会議に登録されている規制見直し時期を迎えたことから、産業構造審議会と中央環境審議会では合同で審議会が開催され、これまでの答申の内容や化管法を取り巻く種々の情勢の変化を踏まえつつ、化管法の課題や見直しの必要性及び方針等について検討を行い、令和元年6月に「産業構造審議会製造産業分科会化学物質政策小委員会制度構築ワーキンググループ、中央環境審議会環境保健部会化学物質対策小委員会合同会合取りまとめ」が公表された。

一方、PRTR 及び SDS の対象となる「第一種指定化学物質」、SDS のみの対象となる「第二種指定化学物質」については、化管法第 18 条により、政令の制定又は改正の立案をしようとする場合には、あらかじめ審議会等(薬事・食品衛生審議会、化学物質審議会及び中央環境審議会)の意見を聴くこととされており、中央環境審議会に対しても、令和元年 7 月 1 日付けで、環境大臣より「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律に基づく第一種指定化学物質及び第二種指定化学物質の指定について」の諮問が行われた。

これを受け、薬事・食品衛生審議会 薬事分科会化学物質安全対策部会 PRTR 対象物質調査会、化学物質審議会安全対策部会 化管法物質選定小委員会、中央環境審議会環境保健部会 PRTR 対象物質等専門委員会(以下、「化管法対象物質見直し合同会合」という。) は所要の検討を行い、報告を以下に取りまとめた。

# 1 現行の物質選定の考え方と課題

#### 1-1 平成 11 年度法制定時における物質選定の考え方

化管法に基づく第一種指定化学物質及び第二種指定化学物質の指定については、以下の法律の基本的考え方に基づき、平成 12 年 2 月の関係審議会答申(「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律に基づく第一種指定化学物質及び第二種指定化学物質の指定について(答申)(平成 12 年 2 月)」、以下、「制定時答申」という。)において具体的な選定基準が定められた。

「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律に基づく第 一種指定化学物質及び第二種指定化学物質の指定について(答申)(平成12年2月)」抜粋

PRTR (化学物質排出・移動量届出制度: Pollutant Release and Transfer Register) 及び MSDS (化学物質等安全データシート: Material Safety Data Sheet) <sup>1</sup>の対象化学物質と なるのが「第一種指定化学物質」であり、法においては、

- ① 当該化学物質が人の健康を損なうおそれ又は動植物の生息若しくは生育に支障を及ぼ すおそれがあるもの、
- ② 当該化学物質の自然的作用による化学的変化により容易に生成する化学物質が①に該当するもの、
- ③ 当該化学物質がオゾン層を破壊し、太陽紫外放射の地表に到達する量を増加させることにより人の健康を損なうおそれがあるもの、 のいずれかに該当し、かつ、
- ④ その有する物理的化学的性状、その製造、輸入、使用又は生成の状況等からみて、相当 広範な地域の環境において当該化学物質が継続して存すると認められる化学物質で政 令で定めるものとされている(法第2条第2項)。

また、MSDSのみの対象となる「第二種指定化学物質」は、上の①から③のいずれかに該当し、かつ、

④'その有する物理的化学的性状からみて、その製造量、輸入量又は使用量の増加等により、相当広範な地域の環境において当該化学物質が継続して存することとなることが見込まれる化学物質で政令で定めるものとされている(法第2条第3項)。

2

 $<sup>^1</sup>$  平成 24 年 3 月に、従来の JIS Z 7250(「化学物質等安全データシート(MSDS)-内容及び項目の順序」)と JIS Z 7251(「GHS に基づく化学物質等の表示」)を統合して GHS に対応する JIS Z 7253 が制定され、この際、安全データシートの名称も「MSDS」から国連GHS文書で定義されている「SDS」に変更された。

有害性の分類に当たっては、『OECD/IOMC<sup>2</sup>の有害性分類基準が参考となる』とされ、『有害性の各項目は、それぞれ異なる作用を表すものであることから、個々の物質の有害性の判断においては独立に取り扱うべきである。したがって、物質選定にあたっては、項目毎に分類を行うこととし、異なる有害性毎の分類を組み合わせる等による最終的な分類の設定は行う必要はない。』とされた。また、環境での存在状況については、『「相当広範な地域の環境での継続的な存在」を判断する指標としては、環境中における検出状況によることが最も確度が高いと考えられる。しかしながら、数多くの化学物質のうちこれまで環境中濃度の測定が行われた化学物質は一部であることから、「相当広範な地域の環境での継続的な存在」を判断するための項目として、今回は「一般環境中での検出状況」又は「製造・輸入量」を主に用いることが適当である。』とされた。

選定基準に従って物質選定をした結果、政令において、PRTR 制度及び MSDS 制度の対象となる第一種指定化学物質として 354 物質、そのうち人に対する発がん性があると判断された特定第一種指定化学物質として 12 物質、MSDS 1制度のみ対象となる第二種指定化学物質として 81 物質が指定された(化管法施行令第1条別表第一及び第2条別表第二)。

#### 1-2 平成20年度見直しにおける物質選定の考え方及び課題

平成 12 年 3 月の施行から、7 年を経過した平成 19 年には中央環境審議会、産業構造審議会において制度見直しの検討が行われ、平成 19 年 8 月の「中央環境審議会環境保健部会化学物質環境対策小委員会、産業構造審議会化学・バイオ部会化学物質政策基本問題小委員会化学物質管理制度検討ワーキンググループ合同会合中間とりまとめ」においては、化管法対象物質について、以下の観点から見直しを実施すべきとされた。

「中央環境審議会環境保健部会化学物質環境対策小委員会、産業構造審議会化学・バイオ部会化学物質政策基本問題小委員会化学物質管理制度検討ワーキンググループ合同会合中間とりまとめ(平成19年8月)」抜粋

一方、化学物質の製造、輸入、使用の実態は常に変動しており、また、有害性等に関する新たな知見も得られてきていることから、これらの指定化学物質については、法施行後の化学物質の製造、輸入又は使用の動向や一般環境中での検出状況、新たな有害性情報の蓄積等を勘案し、現行の指定化学物質の選定基準を踏まえて物質指定の見直しを実施すべきである。また、その際、5年間のPRTR制度に基づく各物質の届出や推計の状況、環境リスク評価の結果等についても考慮することが必要である。

なお、化管法における物質指定の基準については、化学物質管理を巡る国際的な状況を 踏まえつつ、化学品の分類及び表示に関する世界表示システム(The Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals: GHS) との整合化を目指すべきで ある。また、特定第一種指定化学物質については、現行では、人に対する発がん性がある

3

<sup>&</sup>lt;sup>2</sup> IOMC (The Inter-Organization Programme for the Sound Management of Chemicals) アジェンダ 21 第 19 章のフォローアップのために設置された「化学物質適正管理のための機関間プログラム」

と判断された物質を指定しているが、GHS との整合性を踏まえ、新たなエンドポイントの追加(例えば、ヒト生殖細胞に対する変異原性や人に対する生殖毒性)を検討すべきである。

さらに、今後とも、化学物質の製造、輸入又は使用の動向や一般環境中での検出状況、 新たな有害性情報の蓄積等を勘案し、必要に応じて指定化学物質の見直しを行うべきであ る。

これを受けて、平成 20 年の関係審議会答申(「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律に基づく第一種指定化学物質及び第二種指定化学物質の指定について(答申)」、以下、「平成 20 年答申」という。)で具体的な選定基準が定められ、それに従って物質選定が行われた。具体的には、指定化学物質の選定基準は法制定時の基準を踏襲し、政令において PRTR 制度及び MSDS 制度の対象となる第一種指定化学物質として 462 物質、GHS において、変異原性、生殖発生毒性の管理を強化していることから、人に対する発がん性に加えて、変異原性、生殖発生毒性の観点から判断された特定第一種指定化学物質として 15 物質、MSDS 制度のみ対象となる第二種指定化学物質として 100 物質が指定された(化管法施行令第1条別表第一及び第2条別表第二)。

なお、平成20年答申では、以下の観点が課題とされた。

「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律に基づく第 一種指定化学物質及び第二種指定化学物質の指定について(答申)(平成20年7月)」抜粋

#### 3. 今後の課題

今回、化管法対象から除外される現行対象物質のうち、環境での存在(製造・輸入量又は一般環境中での検出)にかかる判断基準を満たさなくなったものについても、有害性の観点からは引き続き注意を要する物質であり、除外に伴う製造量等の増加の可能性もある。このため、このような物質については、引き続き、製造・輸入状況の把握や一般環境中での存在の監視に努める必要がある。さらに、このような物質については、事業者による自主的な取組として、今後とも MSDS の提供を継続することが望まれる。

今回の対象物質見直しにおいては、対象除外物質の確認の際、初期リスク評価の結果を部分的に用いることとしたが、次回の見直しにおいては、今後の評価作業の進展に応じて、初期リスク評価の結果のより一層の活用を検討することとする。また、次回の見直しにおいては、物質選定基準と GHS との一層の整合化を目指すとともに、付随的生成物の選定に向けた排出量把握方法の確立などの課題に引き続き取り組む必要がある。

#### 1-3 令和元年度の制度見直しにおける物質選定に係る課題

平成30年度には規制改革会議に登録されている規制見直し時期を迎えたことから、産業構造審議会と中央環境審議会による合同審議会が開催され、これまでの答申の内容や化管法を取り巻く種々の情勢の変化を踏まえつつ、化管法の課題や見直しの必要性及び方針等について検討が行われた。検討結果を踏まえて令和元年6月28日に公表された「産業構造審議会製造産業分科会化学物質政策小委員会制度構築ワーキンググループ、中央環境審議会環境保健部会化学物質対策小委員会合同会合取りまとめ」(以下、「令和元年取りまとめ」という。)においては、化管法対象物質について、以下の観点から見直しを実施すべきとされた。

「産業構造審議会製造産業分科会化学物質政策小委員会制度構築ワーキンググループ、中央環境審議会環境保健部会化学物質対策小委員会合同会合取りまとめ」(令和元年6月28日)」 抜粋

#### ② 有害性の判断基準

現行の選定の考え方では、有害性の判断に係る項目として、評価手法が確立して一定のデータの蓄積のある項目としており、1. 発がん性、2.変異原性、3. 経口慢性毒性、4. 吸入慢性毒性、5. 作業環境許容濃度から得られる吸入慢性毒性、6. 生殖発生毒性、7. 感作性、8. 生態毒性、9. オゾン層破壊物質を対象項目として選定し、各項目について PRTR 及び SDS 対象化学物質の具体的な選定基準を設定している。

これらの有害性項目については、前回答申において更なる GHS との整合性が求められているところであり、科学的知見の蓄積の状況等を踏まえつつ検討することが適当である。

#### <特定第一種指定化学物質>

法制定当時の附帯決議(平成11年7月6日参議院国土・環境委員会)では、「特に、有害性の強い指定化学物質については、含有率や取扱量の下限を小さくするよう配慮すること」とされ、発がん性が指定要件とされたことから、法制定当時においては有害性ランクで発がん性クラス1の物質を、特に重篤な障害をもたらす物質として特定第一種指定化学物質に指定した。

また、前回改正においては、GHS で生殖細胞変異原性及び生殖毒性等の有害性の管理を強化していることに鑑み、これまで特定第一種指定化学物質の有害性要件としていた発がん性(C)に加えて、生殖細胞変異原性(M)及び生殖毒性(R)についても特定第一種指定化学物質の指定要件に追加された。

さらに、「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律に基づく第一種指定化学物質及び第二種指定化学物質の指定の見直しについて(答申)」(平成 20 年 7 月)の「2. 化管法対象物質見直しの考え方」において、「現行の指定化学物質の選定基準を尊重しつつ、化学物質の有害性に関する新たな知見や GHS に関する国連勧告等、PRTR 制度の運用開始後の国内外の状況変化を踏まえ、有害性、ばく露それぞれの観点から必要に応じた見直しを行うこととする。」とされている。

国内外の状況として、欧州のREACH 規則のSVHC(高懸念物質)では、CMR 物質のほかPBT 物質として環境中での残留性(P)や蓄積性(B)を有する場合に、毒性(T)として長期毒性が考慮されていること、また、GHS 分類の進捗、化審法におけるリスク評価の進展等によって、特に生態毒性に関する知見(NOEC(無影響濃度)等)が充実してきていること等を勘案した上で、一定以上の「生態毒性」を有する化学物質のうち、難分解性、かつ、高蓄積性があるものを特定第一種指定化学物質の指定要件として検討し、追加することが適当と考えられる。

(中略)

#### (イ) 検出状況以外の判断基準

<「製造輸入量」から「排出量」への見直し>

ばく露の指標を排出量とすることについて、「「排出量」を指標とする方が「相当広範な地域の環境での継続的な存在」の程度と相関性が高いと考えられるが、多くの物質はPRTRを実施してみないと排出量のレベルがわからないため、当面、排出量を物質選定の指標項目にはできない。」(平成12年の答申3)とされており、これまで製造・輸入量が指標とされてきた経緯がある。

その結果、現行の第一種指定化学物質には、製造輸入量が多くても、環境への排出量がほとんどない物質も一定存在している状況である。

この点、PRTR 制度施行から 15 年超が経過し、排出量データの蓄積が進んできており、届出排出・移動量、届出外排出量があるものについてはこれを活用して排出量をばく露の指標として物質選定を行うことが考えられる。

また、届出排出・移動量、届出外排出量が存在しないものについては、化審法においては排出係数を用いた排出量を指標として審査及びリスク評価を行っていることから、この排出係数を活用して推計排出量による選定を行うことが適当である。

(中略)

④ その他の環境保全施策上必要な物質

化管法の法目的である環境保全上の未然防止の達成のためには、国として必要に応じて効果的、総合的な対策を迅速にとるために化管法において事業者に課されている排出量の 把握及び国への届出により得られた情報を活用した対策が講じられることが必要である。

第五次環境基本計画において「化学物質のライフサイクル全体のリスクの最小化」を目指すとされており、製造から廃棄に至るまでの各段階における排出量の把握とそれを踏まえた総合的なリスク削減の必要性が益々高まっている。環境保全施策の実施において排出実態の把握の重要性が増し、PRTR制度に基づく届出情報の活用が進む中で、化管法の目的の達成のためにも、他の環境法令や関連施策との連携を一層深めていくことが必要であ

<sup>3</sup> 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律に基づく第一種指定化学物質及び第二種指定化学物質の指定について(答申)(平成 12 年 2 月中央環境審議会、生活環境審議会及び化学品審議会)

#### ると考えられる。

このため、国が環境保全上の支障の未然防止を図るための総合的な対策をとるために環境排出量の把握が必要とされている化学物質を指定対象物質とすることが必要である。

具体的には、化管法以外の環境法令等において環境中の存在に係る情報収集やリスク評価等を優先的に行うこととされている化審法マトリックスをベースとして選定された化審法の優先評価化学物質や、水環境の保全の観点から設定されている要監視項目、大気環境保全の観点から設定されている優先取組物質等が該当すると考えられる。

(以下略)

# 2 令和元年度の見直しにおける物質選定の考え方

#### 2-1 今和元年度の見直しにおける物質選定の基本的な考え方

令和元年度の見直しにおける物質選定の基本的な考え方は以下のとおりである。

有害性の観点からの物質選定については、現行の選定基準を踏まえながら、平成 20 年答申における課題、令和元年取りまとめの内容に留意しながら物質選定を行うことが適当である。

具体的には、第一種指定化学物質、第二種指定化学物質の有害性の選定基準は、現時点においても、評価手法の確立及びデータ蓄積の観点から、平成 20 年答申の基準を引き続き採用することが適当である。一方、平成 20 年答申において課題としてあげられた有害性情報は、初期リスク評価の結果をより一層活用する他、「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律」(以下、「化審法」という。)におけるスクリーニング評価、リスク評価が進められていることに鑑みて、情報源としてはこれらのデータも活用する。

環境中での存在状況(ばく露)等の観点からの物質選定については、令和元年取りまとめにおいて、従来使用してきた「一般環境中での検出状況」の他、PRTR制度に基づく情報が充実してきたことから「相当広範な地域の環境での継続的な存在」の程度と相関性のある指標として、製造輸入量から排出量に変更し使用することが示された。

具体的には、現行の化管法 PRTR 対象物質については、PRTR の届出排出量・移動量や届出外排出量を活用し、その他の物質については、化審法の対象用途のみの物質は化審法の排出係数等を活用し、化審法対象外の用途がある物質は製造輸入数量を活用することが適当とされた。

一方、新たに令和元年取りまとめにおいては、環境保全施策の実施において排出実態の把握の重要性が増し、PRTR制度に基づく届出情報の活用が進む中で、化管法の目的の達成のためにも、他の環境法令や関連施策との連携を一層深めていくことが必要であると考えられるとして、国が環境保全上の支障の未然防止を図るための総合的な対策をとるために環境排出量の把握が必要とされている化学物質を指定対象物質とすることが必要であるとされた。これらを「その他の環境保全施策上必要な物質」として、信頼できる有害性情報が得られた際には第一種指定化学物質とすることが適当とされた。

以上の基本的な考え方に基づいて、有害性及び環境中での存在状況(ばく露)等の具体的な考え方を以下にまとめた。

#### 2-2 物質選定を行う母集団の考え方

令和元年取りまとめでは、平成 20 年度の物質選定の際の母集団を前提としつつ、必要な精査を行うことが適当と考えられるとされた。各種の法令においては、平成 20 年度と物質区分が異なる点もあるため、以下に母集団を示す。

1			第一種指定化学物質	
		現行化管法対象物質	第二種指定化学物質	
2	1		第一種特定化学物質	
			第二種特定化学物質	
		化審法	監視化学物質	
			優先評価化学物質	
			一般化学物質のうち有害性クラス付与済みの物質	
	2	毒劇物取締法	毒物・劇物	
	3	労働安全衛生法	通知対象物質	
	4	ロッテルダム条約対象物質	質	
	⑤ 農薬取締法		登録農薬	
		辰来以 <b>州</b> 石	公共用水域水質指針	
	6	自治体条例対象物質		
	7	諸外国における PRTR 対象物質		
	8	内分泌かく乱作用を有することが推察される物質		
	その	他	POPs 条約対象物質	
	モントリオール議定書対象物質			

#### 2-3 有害性の観点からの物質選定の考え方

#### (1) 有害性の観点からの選定基準

現行の選定の考え方では、有害性の判断に係る項目として、評価手法が確立して一定のデータの蓄積のある項目としており、1. 発がん性、2.変異原性、3. 経口慢性毒性、4. 吸入慢性毒性、5. 作業環境許容濃度から得られる吸入慢性毒性、6. 生殖発生毒性、7. 感作性、8. 生態毒性、9. オゾン層破壊物質、を対象項目として選定し、各項目について PRTR 及び SDS 対象化学物質の具体的な選定基準を設定している。

現時点においても、評価手法の確立及びデータ蓄積の観点からは、上記の9項目を選定することが妥当と考えられる。また、令和元年度の見直しにおいては、有害性の項目及び具体的な選定基準は、現行のものを引き続き採用することとする。詳細は別添1に示すとおりである。

#### (2) 有害性の情報源

化管法対象物質を選定するための有害性データに関する情報源について、最新の科学的知 見を踏まえた情報源に更新する。

優先順位1の情報源のうち、①発がん性における IARC 評価、②経口慢性毒性における WHO 水道水質ガイドライン、EPA 水質クライテリア及び日本の水質汚濁にかかる環境基準値と要監視項目指針値、③吸入慢性毒性における WHO 欧州地域事務局大気質ガイドライン及び日本の大気汚染に係る環境基準値については、平成 20 年答申と同様の優先的な取扱いを行うこととする。

さらに、平成 20 年答申で指摘された「次回の見直しにおいては、今後の評価作業の進展に応じて、初期リスク評価の結果のより一層の活用を検討することとする。」を踏まえ、すでに情報源として活用している初期リスク評価の結果に加え、化審法が改正され、既存化学物質等について段階的にスクリーニング評価、リスク評価が進められることとなったことを踏まえ、化審法に基づく、スクリーニング評価、リスク評価において、信頼性評価がなされた有害性情報も優先順位1として活用する。情報源の詳細は別添2に示すとおりである。

#### 2-4 環境での存在状況(ばく露)等の観点からの物質選定の考え方

#### (1) 一般環境中での検出状況に基づく判断基準

現行の選定基準においては、以下のとおり環境モニタリングの検出状況を活用することと されている。

- ・第一種指定化学物質:一般環境中で最近10年間に複数地域から検出されたもの
- ・第二種指定化学物質:一般環境中で最近10年間に1地域から検出されたものまた、環境モニタリングは、以下の結果を用いている。

①:化学物質環境実態調査、②:公共用水域水質測定、③:有害大気汚染物質モニタリング調査、④:フロン等オゾン層影響微量ガス監視調査、⑤:アスベスト大気濃度調査及び⑥:ダイオキシン類の排出量の目録

環境モニタリングの選定基準については、「相当広範な地域の環境での継続的な存在」を判断する指標として、最も確度の高い指標とされており、これらのモニタリング調査は現時点でも継続して実施されていることから、本基準及び出典とするモニタリング情報は、引き続きこれを用いることとする。

なお、前回見直し以降、この 10 年間で測定精度の向上等が見られること等から、今回 の見直しにおいては、以下のように運用することが適当と考えられる。

- 水質モニタリングにおいて、同一水系で同年に複数地点で検出された場合は、1地域と みなす。ただし、水系が長く、複数地点での検出が異なる原因によると考えられる場合 にはこの限りではない。
- ・ 大気モニタリングにおいて、同一市町村で同年に複数地点で検出された場合には、1地域とみなす。ただし、複数地点での検出が異なる原因によると考えられる場合にはこの限りではない。

#### (2) 検出状況以外の判断基準

検出状況以外の判断基準については、製造輸入数量から排出量等へ変更することとしたが、 具体的には以下の3区分に分けてばく露基準を設定する。

- ① 「現行の第一種指定化学物質」については、当該届出排出・移動量、届出外排出量を 用いてばく露指標の評価を行う。
- ② 「現行の第一種指定化学物質ではない物質のうち、化審法用途のみの物質」については、化審法の届出情報、化審法の排出係数等を基に算出した排出量推計値によりばく露指標の評価(選定)を行う。
- ③ 「現行の第一種指定化学物質ではない物質のうち、化審法用途以外の用途もある物質」については、引き続き製造輸入量によりばく露指標の評価(選定)を行う。

なお、特定第一種指定化学物質については、発がん性の懸念が高い物質など、特に重篤な障害をもたらす物質、あるいは強い生態毒性を持ち、難分解性・高蓄積性をもち、動植物の生育に支障を及ぼす可能性が特に高い物質であることから、製造輸入量が一定以上あるもの等については排出量の多寡に関わらず対象とすることが適当である(有害性の観点からの選定基準は2-6参照)。

このため、特定第一種指定化学物質については、引き続き、現行制度と同様に一定以上の 製造輸入量があるもの(製造輸入量 10 トン以上のもの)を対象とすることが適当と考えら れる。

#### 現行の第一種指定化学物質

#### (A) 排出量に係る具体的なすそ切り値の設定

現行の第一種指定化学物質については、物質ごとに届出排出・移動量、届出外排出量を公表しており、これにより物質選定を行う。

具体的には、新たな第一種指定化学物質 (PRTR 制度+SDS 制度) 選定の基準としては、 農薬の製造輸入量のすそ切り値を、農薬が最終的には環境に排出される性格のものであるこ とから「10 トン以上」と設定していることを踏まえ、製造輸入量から排出量へばく露指標 を見直すに当たっては、この基準を参考とし、10 トン以上のものを対象とする。

一方、第一種指定化学物質(PRTR 制度+SDS 制度)が相当広範な地域において継続して存すると認められる物質であるのに対して、第二種指定化学物質(SDS 制度)は、第一種指定化学物質には該当しないものの、ばく露量の増加により将来第一種指定化学物質となることが見込まれる物質(有害性の基準は第一種指定化学物質と同じ)とされている。

この点、現行では検出状況以外の判断基準として「製造輸入量」を指標としているが、「現行の第一種指定化学物質」のうち、新たな第一種指定化学物質の要件に該当しなかった物質については、第一種指定化学物質と同様に「排出量」を用いて、第二種指定化学物質を選定することが考えられる。具体的な基準としては、最終的には環境中に排出される性格のものであるとして設定されている農薬の基準が、第一種指定化学物質が10トン以上であること

に対して、第二種指定化学物質は1トン以上とされていることから、これを参考に新たな第 二種指定化学物質については排出量1トン以上のものを対象とする。

(参考1)特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律に基づく第一種指定化学物質及び第二種指定化学物質の指定について(答申)(平成12年2月中央環境審議会、生活環境審議会及び化学品審議会)(抄)

基本とする「1年間の製造・輸入量」を 100 トンとした場合、有害性ランクで発がん性クラス 1 の物質は、特に重篤な障害をもたらす物質であることが明らかであることから、「1年間の製造・輸入量」 10 トン以上の物質を選定することが適当である。なお、農薬については使用形態から見て明らかに環境中に放出されやすい物質であることから、「1年間の製造・輸入量」 10 トン以上の物質を選定することが適当である。

(参考2)化審法で毒性試験が不要となる低生産量新規化学物質(難分解性であり、高蓄積でないものに限る。)は、国内の1年間の環境排出量の推計値の合計が10トン以下まで認められている。

#### (B) 移動量の多い物質の勘案

化管法の第一種指定化学物質に係る移動量からの排出量の推計については、前回答申時の課題と整理されているものの未だ結果は出ていない状況であり、本来であれば、移動量を物質選定に当たって考慮するためには、移動量からの排出量を勘案することが適当であるものの、移動量からの排出量の推計方法が確立し、廃棄物からの排出量が明らかとなるまでの間については、以下の方法により移動量を勘案することとした。

移動量からの排出については、下水や廃棄物に含まれる化学物質の種類及び組成は把握が 困難であるという特殊性があり、特別要件施設とされていることから、排出量の正確な把握 が難しい状況である。しかしながら、移動量に移行した化学物質の全量が排出されていると は想定しにくいこと、移動量の大部分を廃棄物としての移動が占めていること等から、現在 存在する化審法の少量新規・低生産量審査特例制度における廃棄段階からの排出係数として 最大のものが概ね 0.1 であることを勘案し、移動量について排出量よりも 1 桁大きい移動量 100 トン以上のものを新たな第一種指定化学物質の対象とする。

上記のとおり、「現行の第一種指定化学物質」に対する第一種指定化学物質のばく露基準においては、移動量を勘案することとしていることから、新たな第二種指定化学物質についてもこれを勘案することが考えられる。具体的には、移動量 100 トン以上を第一種指定化学物質の対象とすることとしていることを踏まえ、移動量 10 トン以上のものを対象とする。

# 現行の第一種指定化学物質ではない物質のうち、化審法用途のみの物質

令和元年取りまとめに記載のとおり、今回の見直しにおいては、現時点で化審法において審議会の議論を経ている排出係数を利用し、物質収支を考慮の上で推計排出量を算出する。令和元年取りまとめにおける設定方針及びこの方針に基づく「現行の第一種指定化学物質ではない物質のうち、化審法用途のみの物質」の化管法物質選定用排出係数の算出結果は別添3に示すとおりである。

化審法の排出係数を用いて算出した排出量については「現行の第一種指定化学物質」よりも確からしさの観点では劣ると考えられるが、現時点では現行の指定化学物質と異なる基準を設定するための定量的データが得られていないため、排出量が10トン以上の物質を新たな第一種指定化学物質に、1トン以上の物質を新たな第二種指定化学物質の対象とする。

# 現行第一種指定化学物質ではない物質のうち、化審法用途以外の用途もある物質

化審法の対象は工業用途限定であることから化審法用途以外の物質については適用できない。このため、現行の第一種指定化学物質ではない物質であって化審法用途以外の用途もある物質については、届出排出・移動量、届出外排出量もなく、推計排出量を算定することもできないことから、引き続き、製造輸入量により選定することとする。

なお、化審法用途外の用途があるかどうかについては、各種リファレンスを活用して判断する必要がある。当該用途については、化審法において製造輸入量の届出義務が課されておらず、また、前回の物質見直し時はアンケート調査「化学物質の製造・輸入量に関する実態調査」(平成20年実施)により製造輸入量を把握していたところ、直近では行われていないことから、母集団として抽出された物質について、以下の統計資料を用いて当該CASRN®に対応する製造輸入数量を把握する。

農薬:「農薬要覧」(日本植物防疫協会)4

肥料:「普通肥料の種類別生産量、輸入量」5(農林水産省)

医薬品:「薬事工業生産動態統計年報」(厚生労働省)

食品添加剤:「生産量統計を基にした食品添加物摂取量推定」6

(日本食品添加物協会 JAFAN)

化審法用途内である工業用途部分の製造輸入量については、化審法において得られる製造輸入量のデータを使用する。

これらについては現行基準を踏襲し、新たな第一種指定化学物質は 100 トン以上(農薬は 10 トン以上、オゾン層破壊物質は累積製造輸入量が 10 トン以上)とし、新たな第二種指定化学物質については、1 トン以上とする。

#### (3) 環境保全施策上必要な物質の判断基準

国が環境保全上の支障の未然防止を図るための総合的な対策をとるために環境排出量の 把握が必要とされている化学物質を指定対象物質とすることが必要である。

具体的には、化管法以外の環境法令等において環境中の存在に係る情報収集やリスク評価等を優先的に行うこととされている化審法マトリックスをベースとして選定された化審法の優先評価化学物質や、水環境の保全の観点から設定されている要監視項目、大気環境保全の観点から設定されている優先取組物質等、以下に示す物質を対象とすることが適当である。

- ・ 環境基本法における環境基準が設定されている物質
- 化審法における「優先評価化学物質」
- ・ 水質汚濁防止法に基づく排水基準が設定されている物質
- ・ 水質に係る「要監視項目」として設定されている物質
- ・ 有害大気汚染物質のうち「優先取組物質」

<sup>4</sup> 原体輸入量、原体製造量から原体輸出量、製剤に含まれて輸出された原体量を除いた量

<sup>&</sup>lt;sup>5</sup> CASRN®への展開は NITE/CHRIP を使用して等分する。

<sup>&</sup>lt;sup>6</sup> 3年に1度の調査である。

- ・ 化学物質の環境リスク初期評価において情報収集が必要であるとされた物質のう ち、特に情報収集が必要とされた物質
- ・ 化学物質環境実態調査【黒本調査】の対象物質のうち、検出があった物質

なお、化管法の指定対象物質については「当該化学物質又はその変化物が人の健康を損なうおそれ又は動植物の生息若しくは生育に支障を及ぼすおそれがあるもの」又は「当該化学物質がオゾン層を破壊し、太陽紫外放射の地表に到達する量を増加させることにより人の健康を損なうおそれがあるもの」のいずれか(法第2条第2項又は第3項)とされているため、上記に該当する物質のうち環境経由での人又は動植物に対する有害性情報のうち十分な信頼性を有するものが得られる物質を対象とする。

#### 2-5 その他の対象物質選定の考え方

前述の方法により抽出された物質については、化管法の趣旨等に鑑みて、以下の観点から 確認を行うことが適当である。

- ・ 一般環境中での検出状況において検出された媒体と有害性項目の関係 (例えば、生態毒性のみで有害性基準に該当しているが、モニタリングは大気中での検出結果であった場合など)
- ・ 失効、国内販売中止等の状況
- ・ 主な摂取経路から鑑みて対象物質とすることが不適当 等

#### 2-6 特定第一種指定化学物質の選定の考え方

特定第一種指定化学物質については、発がん性の懸念が高い物質など、特に重篤な障害をもたらす物質、あるいは強い生態毒性を持ち、難分解性・高蓄積性をもち、動植物の生育に支障を及ぼす可能性が特に高い物質である。

平成 20 年答申では、GHS において発がん性、生殖細胞変異原性及び生殖毒性等について、混合物の分類における製品中の対象物質の限界濃度を通常の1%から0.1%に切り下げることにより、これらの有害性に対応した管理を強化していることに鑑み、以下のカテゴリーの物質を特定第一種指定化学物質の対象とした。

選定プロセスとしては、母集団の中から以下のカテゴリーに該当する物質の情報源を精査 し、有害性を客観的に判断し得る定量データ等が存在することを前提とした。

- ○発がん性 人に対して発がん性あり (現行基準:クラス1、GHS:区分1A)
- ○生殖細胞変異原性 ヒト生殖細胞に遺伝的突然変異を誘発する(GHS:区分1A)
- ○生殖発生毒性 人の生殖能力を害する又は人に対する発生毒性を引き起こす(現行基準: クラス1、GHS:区分1A)

今回見直しにおいては、人健康については上記の基準を引き続き用いることとし、GHS 分類の進捗、化審法におけるリスク評価の進展等によって、特に生態毒性に関する知見 (NOEC (無影響濃度)等)が充実してきていること等を勘案した上で、一定以上の「生態

毒性」を有する化学物質のうち、難分解性、かつ、高蓄積性があるものを特定第一種指定化 学物質の指定要件として検討する。

具体的には米国、欧州等諸外国、国内における化学物質関連法における基準を参考として、 難分解性、高蓄積性及び生態毒性の基準を設定することが適当である。詳細を別添4に示す。

# 3 物質選定における今後の課題

令和元年取りまとめに示すとおり、今回行った見直しの検証も含め、法目的に照らしてより実効性のある制度となるよう、規制の一定期間経過後見直しに係る基準(法令見直し期間5年)に基づき引き続き、見直しに係る検討を行っていくことが必要である。そのため、例えば以下に示すような今回の見直しの過程で生じた様々な課題については早期に検討に着手し、定期的な進捗管理を行いつつ計画的に検討を進め、今後の見直しに繋げていくことが適当である。

#### 3-1 有害性の観点からの物質選定における今後の課題

今回の見直しにおいては初期リスク評価の一層の活用として、化審法のスクリーニング評価・リスク評価の結果を活用することとした。また、諸外国及び国内での化学物質管理制度における有害性が特に高い物質への閾値の設定を参考に一定以上の「生態毒性」を有する化学物質のうち、難分解性、かつ、高蓄積性があるものを特定第一種指定化学物質の指定要件として検討することとした。

次回の見直しに向けては、人健康影響、生態影響いずれの観点からも、国際的な潮流や最新の科学的知見を踏まえつつ、化管法の第一種指定化学物質、第二種指定化学物質及び特定第一種指定化学物質いずれの選定基準についても引き続き検討を行うこととする。具体的には、選定に使用する有害性情報については、近年の化学物質のリスク評価等の進展により多くの有用な情報が得られるようになってきており、例えば1つの物質に対し異なる試験方法による試験結果が複数得られる場合の有害性の証拠の確からしさや、従来とは異なる生物種を用いて行われ、従来の試験生物による試験結果とは影響の度合いが大きく異なった試験結果が得られた場合などの化管法の物質選定における扱いについて検討を進める必要がある。

#### 3-2 環境での存在状況(ばく露)の観点からの物質選定における今後の課題

今回の見直しにおいては、検出状況以外の判断基準として、製造輸入数量から排出量等へ変更することとなった。

現行の対象物質については、環境での存在状況(ばく露)の指標として、PRTR 届出及び届出外の情報を活用しており、その観点から今後も PRTR 情報の正確性の確保を行うことが一層重要である。PRTR 届出外排出量については、推計対象としなかった排出源7が複数存在しているため、個別の対象物質への排出量への寄与割合も勘案しつつ、必要に応じて速やかに推計方法の検討を進めることが適当である。また推計を行うことが難しい場合においても届出、届出外情報双方の不確実性にも留意した物質選定のあり方について検討する必要がある。

また、「現行の第一種指定化学物質ではない物質のうち、化審法用途のみの物質」の選定については、現時点で化審法において審議会の議論を経ている排出係数を利用し、物質収支

<sup>7</sup> PRTR 届出外排出量の推計対象としなかった排出源(環境省 PRTR インフォメーション広場) https://www.env.go.jp/chemi/prtr/result/todokedegaiH29/suikei/taisyougai.pdf

を考慮の上で推計排出量を算出することとされたが、化管法の物質選定のための適切な排出係数を検討することが必要である。今後の対象物質の見直し等に向けて、化学物質のライフサイクル全体での環境排出等に関する科学的知見の集積に努め、関係者とも連携しながら、物質選定のための排出係数の設定等を行うことが適当である。

さらに、モニタリングによる一般環境中での検出状況は、「相当広範な地域の環境での継続的な存在」を判断する指標として、最も確度の高い指標とされていることから、これまでモニタリング事例が少ない物質や新たに化管法の対象となる物質を中心に、様々な媒体における分析方法の開発やモニタリングの実施を行う必要がある。

#### 3-3 その他の課題

特に、今回の見直しにおいて新たに対象となった物質については、化管法施行令に具体の物質名称を示す際に、事業者が PRTR 制度に基づく届出や SDS 制度に基づく情報の提供等を適切に実施できるように、対象となる物質の範囲を明確化する必要がある。

今回の見直しにおいて化管法対象から除外される現行対象物質のうち、環境での存在(製造・輸入量又は一般環境中での検出)にかかる判断基準を満たさないが、有害性の観点からは引き続き注意を要する物質については、事業者においては、今後とも、自主的な排出管理の取組を行うことが望まれるが、国においては、必要に応じサプライチェーンを通じた事業者の協力の下、製造・輸入状況、用途の変化の把握、推計排出量への影響を定期的に把握したうえで、必要に応じて一般環境中での存在の監視を行い、再度化管法対象とする必要性を検討することが適当である。

# おわりに

今回の見直しでは、PRTR 制度施行から 15 年超が経過し、排出量データの蓄積が進んできており、届出排出・移動量、届出外排出量があるものについてはこれを活用して排出量をばく露の指標として物質選定を行うこととなった。また、生態毒性の観点から特定第一種指定化学物質を選定した。

一方、近年各種のリスク評価の進展等により、有害性情報は充実してきており、その試験 方法や生物種も多岐にわたってきている。化管法の対象物質においては、これらの情報を十 分に活用し、化管法としてより管理を行うべき対象物質を選定する手法を次回の見直しにむ けて計画的に検討するべきである。

また今回の見直しにより化管法の対象物質から除外された物質については、国は各種の方法により監視を行い、地方公共団体等と連携しつつ、除外されたことによりリスクが増大しないよう注視する必要がある。

なお、PRTR 制度及び SDS 制度の施行にあたっては、物質見直し等による事業者の対応の必要性を勘案し、十分な猶予期間を取ることが適当である。

# 別添1 PRTR 及び SDS 対象化学物質の有害性の観点からの選定基準の詳細

今回の化管法対象物質の具体的な選定基準は、一部の選定方法の詳細について合同会合に おける議論等を踏まえて補正した上で、平成 20 年答申のものを引き続き採用した。今回の 化管法対象物質の見直しにおける有害性・環境での存在状況等の選定基準の詳細は以下のと おり。

# 発がん性

前回答申の情報源を利用し、具体的にクラス 1、2 の判定に用いた情報は別表 1-1 のとおりである。

クラ	評価方法	IARC	EPA	EU	NTP	ACGIH	日産衛
ス				(CLP)			
1	ヒト発がん性あ	1	A,	1A	K	A1	1
	り(1機関以		CaH、				
	上)		K				
2	ヒト発がん性の	2A、	B1,	1B	<u>R</u>	A2, A3	2A、2B
	疑いが強い	2B	B2、L				
	(IARC で2A 又						
	は 2B 又は複数機						
	関)						

別表1-1 発がん性の分類

注:発がん性に関する IARC 等の分類はハザードによる分類であり発がん性の強さや発がんリスク の大きさを示すものではない。

平成 20 年答申と同様に IARC を優先的な情報源とし、IARC で 2A、2B とされたものは、他の機関が「ヒト発がん性の疑いが強い」と評価していない場合でもクラス 2 とした。 EU におけるクラスの記載方法の変更に伴い、クラス 1 に CLP 規則の 1A を、クラス 2 に CLP 規則の 1B を追加した。このほか、IARC のドラフト版は情報源として不採用とした。

<参考: CLP ランクの定義>

#### CLP

1A:ヒトへの発がん性が知られている物質。

1B: ヒトへの発がん性があるとみなされるべき物質。

# 変異原性

別添 2 別表 2-1 の Priority-1、2 の情報源を利用し、具体的にクラス 1 の判定に用いた情報は別表 1-2 のとおりである。

別表1-2 変異原性の分類

	74724 =
	変異原性
(1)	in vivo 試験において陽性であるもの。
(2)	細菌を用いる復帰突然変異試験の比活性値が 1000 rev/mg 以上であり、かつ、ほ乳
	類培養細胞を用いる染色体異常試験が陽性であるもの。
(3)	ほ乳類培養細胞を用いる染色体異常試験の $D_{20}$ 値が $0.01$ mg/ml 以下であり、かつ、
	細菌を用いる復帰突然変異試験が陽性であるもの。
(4)	細菌を用いる復帰突然変異試験の比活性値が 100 rev/mg 以上であり、かつ、ほ乳
	類培養細胞を用いる染色体異常試験の $D_{20}$ 値が $0.1~mg/ml$ 以下であるもの。なお、
	気体または揮発性物質については低濃度において陽性を示すもの。
(5)	異なるエンドポイント(遺伝子突然変異誘発性、染色体異常誘発性、DNA 損傷性)
	をみる in vitro 試験のいくつかにおいて明確に(低濃度での陽性や多数の試験での
	陽性など)陽性の結果が得られている等により、(1)~(4)と同程度以上の変異原性
	を有すると認められるもの。

前回答申と同様に、in vivo 試験が陽性の場合は原則的にこれを採用し、また、陰性の場合でも、別表 1-2 の (2)、(3)、(4) に該当する場合は、クラス 1 とした。in vivo 試験が陰性の場合は、別表 1-2 の (5) に該当しても原則としてクラス外とした。

# 経口慢性毒性

別添 2 別表 2-1 の情報源を利用し、具体的にクラス 1、2、3 の判定に用いた情報は別表 1-3 のとおりである。

	経口慢性毒性				
	水質基準値				
h == 7	(WHO, EPA,	IRIS 等 農薬		農薬	
クラス	日本)				
	(mg/L)	NOAEL(NOEL)	LOAEL(LOEL)	ADI	
		(mg/kg/day)	(mg/kg/day)	(mg/kg/day)	
1	0.001 以下	0.01 以下	0.1 以下	0.0001 以下	
2	0.01 以下	0.1 以下	1以下	0.001以下	
3	0.1 以下	1以下	10 以下	0.01 以下	

別表1-3. 経口慢性毒性の分類

NOAEL(NOEL)及びLOAEL(LOEL)については、原則として投与期間1年以上の試験結果を用いた。さらに、前回答申と同様に、WHO水道水質ガイドライン、EPA水質クライテリア及び日本の水質汚濁にかかる環境基準値と要監視項目指針値を優先的な情報源としているが、十分信頼できるNOAEL等が確認された場合、これらの情報も採用した。

# 吸入慢性毒性

別添 2 別表 2 -1 の Priority-1、2 の情報源を利用し、具体的にクラス 1、2、3 の判定に用いた情報は別表 1-4 のとおりである。

		吸入慢性毒性		
クラス	大気基準	IRIS 等		
	(mg/m³)	NOAEL(NOEL)	LOAEL(LOEL)	
		$(mg/m^3)$	(mg/m <sup>3</sup> )	
1	0.001 以下	0.1 以下	1以下	
2	0.01 以下	1以下	10 以下	
3	0.1 以下	10以下	100以下	

別表1-4 吸入慢性毒性の分類

NOAEL(NOEL)及びLOAEL(LOEL)については、原則として投与期間1年以上の試験結果を用いた。さらに、平成20年答申と同様に、WHO欧州地域事務局大気質ガイドライン及び日本の大気汚染に係る環境基準値を優先的な情報源としているが、十分信頼できるNOAEL等が確認された場合、これらの情報も採用した。

# 作業環境許容濃度から得られる吸入慢性毒性

別添 2 別表 2-1 の情報源を利用し、具体的にクラス 1、2、3 の判定に用いた情報は別表 1-5 のとおりである。

	ACGIH または日本産業衛	生学会(急性毒性を除く)
クラス	TWA (mg/m³)	TWA (mg/m <sup>3</sup> )
	(気体または蒸気)	(粒子状物質等)
1	0.1 以下	0.01 以下
2	1以下	0.1 以下
3	10以下	1以下

別表1-5 作業環境許容濃度の分類

急性毒性に該当するため除外する物質の選定基準を、眼、上部気道、下部気道、皮膚刺激等に症状が限定されるものとして明確化した。また、前回答申では急性と判断しなかったが、今回の合同会合での審議に際し情報を精査した上で急性と判断した物質については、当該データを採用しなかった。

ACGIH の TWA では、気体または蒸気は、ppm で決められているため、ppm 単位の許容 濃度が設定されている物質を気体と判定した。

日本産業衛生学会の作業環境許容濃度では、気体/粒子の判定は、有機物質に関しては、蒸気圧が 0.01mmHg (1.3Pa) 以上で気体と判定した(ただし、テトラヒドロメチル無水フタル酸は、蒸気圧が 0.003mmHg であるが、ppm 単位の許容濃度が設定されているため気体と判定した)。無機物質に関しては、ppm 単位の許容濃度が設定されている物質を気体と判定した(ただし、水銀蒸気は、ppm 単位の許容濃度が設定されてないが、その名称から気体と判定した)。

ppm から mg/m³の換算は、ACGIH に記載されている次式に従って計算した。 1 気圧、25<sup> $\circ$ </sup>Cにおいて、1ppm=(分子量/24.45) mg/m³

なお、石綿は ACGIH の TWA 及び日本産業衛生学会で ppm、mg/m³で作業環境が規定 されていないが、前回答申において、ACGIH で 0.1f/cc とされていることからクラス 2 と 判定しており、今回の検討でもその判定を踏襲した。

# 生殖発生毒性

EU におけるリスク警句の廃止と CLP 規則への移行に伴い、CLP 規則において Repr. 1A~Repr. 2 に分類される物質に対して、別添 2 別表 2-1 の Priority-1、2 の情報源を利用し、根拠となる定量的データがある場合、判定に用いた。具体的にクラス 1、2、3 の判定に用いた情報は別表 1-6 のとおりである。

以上より、生殖発生毒性の分類は別表1-6のとおりである。

別表1-6 生殖発生毒性の分類

クラス	EU CLP 規則(根拠となる定		
	量的データがある場合)		
1	Repr. 1A		
2	Repr. 1B		
3	Repr. 2		

# 感作性

日本産業衛生学会の気道感作性第1群及び第2群の物質をクラス 1 と判定した。また、EU におけるリスク警句の廃止と CLP 規則への移行に伴い、CLP 規則において H334 に分類される物質に対して、別添2別表2-1の Priority-1、2の情報源を利用し、根拠となるデータがある場合、クラス1と判定した。さらに、ACGIH の TLV 表中に SEN または Sensitization と表示される物質に対して、別添2別表1の Priority-1、2の情報源を利用し、根拠となるデータがある場合、クラス1と判定した。

以上より、感作性の分類は別表1-7のとおりである。

別表1-7 感作性の分類

日本産業衛生学会の	ACGIH(根拠となるデータ	EU CLP 規則(根拠となる
気道感作性物質	がある場合)	データがある場合)
第1群及び第2群	SEN、Sensitization 表示	H334

# 生態毒性

生態毒性についても、別添2別表1に記載された情報源のうち、生物種、エンドポイント、 ばく露時間等が OECD TG 等で基本とする条件に合致する試験結果を用いた。 なお、平成 20 年答申時と同様に、ばく露時間等が OECD TG で基本とする条件に合致する試験結果が ない場合には、ばく露時間が OECD TG 等より短い試験結果を引き続き用いた。

また、OECD TG 等の推奨種を用いているか、GLP の有無の確認の下、毒性ランクが同じであれば、毒性値の大小によらず、信頼性に関するより豊富な情報が得られているものを優先的に用いた。

なお、Priority 1、2の情報源の両方に試験結果がある場合には、毒性値の大小によらず、Priority 1の試験結果を優先的に採用した。

以上より、生態毒性の分類は別表1-8のとおりである。

別表1-8 生態毒性の分類

クラス	NOEC	$ m L(E)C_{50}$	<b>EU CLP</b> 規則(根拠と なるデータがある場 合)
1	0.1 mg/l 以下	1 mg/l 以下	H400
2	1 mg/l 以下	10 mg/l 以下	_

難水溶性物質(水溶解度が目安として概ね 1 mg/L 以下の物質)については、毒性値と水溶解度との比が概ね 3 倍程度を超える試験結果は、信頼性に懸念があると考えられることから、判定に用いなかった。また、界面活性作用のある分散剤、乳化剤を使用した試験結果は、助剤の影響が懸念されるため、判定に用いなかった。ただし、平成 20 年答申時と同様に、水混和性溶剤を使用した試験結果は OECD TG で使用が認められているため、引き続き判定に用いた。このほか、水溶解度の試験結果は実測値を用いるものとし、実測値がない場合には、溶解度の目安として推定値を参照した。

揮発性物質については、難水溶性物質と同様に、毒性値と水溶解度との比が概ね3倍程度 を超える試験結果は、信頼性に懸念があると考えられ、判定に用いなかった。また、揮発性 物質のうち明らかに環境中に継続して存することはないと判断される物質はクラス外とし た。

加水分解・光分解及び生分解性物質(半減期が目安として概ね1日以下(25℃、pH=7)の物質)については、前回答申時と同様に、分解性物質について、分解生成物の毒性が選定基準に合致しない場合は対象外とした。また、平成20年答申時と同様に、試験結果について、親物質又は分解生成物のどちらの毒性による影響であるかを確認し、分解生成物の毒性である場合には、親物質そのものの毒性ではなく加水分解生成物によるものであることを明確にし、親化合物を対象物質とした。

# オゾン層破壊物質

モントリオール議定書の規定に即して国際的に合意されたオゾン層破壊物質を対象物質 とした。

# 別添2 有害性の情報源

# 別表2-1 有害性の情報源

エンドポイント	前回答申の情報源	GHS 危険有害性分類事業の情報源	政府向けGHS分類ガイダンス(H25FY版)	今回の対象物質選定に用いた情報源	
発がん性	WHO : International Agency for Research on Cancer (IARC: 国際がん研究機関)	Priority-1	List-1	【優先順位1】	
	National Toxicological Program (NTP:米国国家毒性プログラム)	(財) 化学物質評価研究機構(CERI):「化学物質安全性(ハザード)データ集」	(一財)化学物質評価研究機構(CERI)・(独)製品評価技術基盤機構 「化学物質の初期リスク評価書」	「前回答申の情報源」	
	米国 EPA (米国環境保護庁)	CERI・(独) 製品評価技術基盤機構 (NITE) : 「化学物質 有害性評価書」	(一財)化学物質評価研究機構(CERI)・(独)製品評価技術基盤機構(NITE)		
	European Union(欧州連合)	NITE:「化学物質の初期リスク評価書」	「化学物質有害性評価書」		
	American Conference of Governmental Industrial Hygienists (ACGIH:米国産業衛生専門家会議)	厚労省試験報告:「化学物質毒性試験報告」化学物質点検 推進連絡協議会	厚生労働省試験報告「化学物質毒性試験報告」化学物質点検推進 連絡協議会		
	日本産業衛生学会	環境省:「化学物質の環境リスク評価」	厚生労働省 「労働安全衞生法第 28 条第 3 項の規定に基づく 健康障害を防止するための指針に関する公示」		
		OECD SIDS Initial Assessment Report	日本バイオアッセイ研究センター厚生労働省委託がん原性試験結 果		
		WHO/IPCS: EHC	環境省「化学物質の環境リスク評価」		
	EU	WHO/IPCS:Concise International Chemical Assessment Documents (CICAD: 国際簡潔評価文書)	日本産業衛生学会(JSOH)「許容濃度提案理由書及び許容濃度等の勧告」	【優先順位1】	
	WHO/IPCS :	ACGIH : Documentation of the threshold limit values for chemical substances	OECD SIDS レポート (SIDS Initial Assessment Report)	「前回答申の情報源」	
	Environmental Health Criteria (EHC:環境保健クライテリア)	ドイツ学術振興会 (DFG): Occupational Toxicants Critical Data Evaluation for MAK Values and Classification of Carcinogens	WHO/IPCS 環境保健クライテリア (EHC)		
	German Chemical Society-Advisory Committee on Existing Chemicals of Environmental Relevance (BUA) report	EU リスク評価書	WHO/IPCS 国際化学物質簡潔評価文書 (CICAD)	「GHS 危険有害性分類事業(当時)の情報源」のうち Priority-1 情報源	
変異原性	European Center for Ecotoxicology and Toxicology of Chemicals (ECETOC)	カナダ環境省: Priority Substance Assessment Reports	WHO 国際がん研究機関 (IARC)		
	OECD SIDS ( Screening Information Data Set )	オーストラリア NICNAS : Assessment Report	FAO/WHO Joint Expert Committee on Food Additives - Monographs (JECFA モノグラフ (食品添加物等))	「政府向けGHS分類ガイダンス」のうち List-1の情報源	
	Initial Assessment Report	ECET0C	FAO/WHO Joint Meeting on Pesticide Residues - Monographs of toxicological evaluations (JMPR モノグラフ (残留農 薬))		
	厚労省試験報告:「化学物質毒性試験報告」	Patty's Toxicology	EU European Chemicals Bureau (ECB:欧州化学品局)	「その他」	
	序の目的数報日: 「12寸初良番注的数報日」 厚労省: 「労働安全衛生法有害性調査制度に基づく既存 化学物質変異原性試験データ集」	WHO: IARC	EU リスク評価書 (EU Risk Assessment Report: EU RAR)	化審法におけるスクリーニング評価	
		米国EPA: IRIS	米国産業衛生専門家会議 (ACGIH)		
		NTP	ACGIH Documentation of the threshold limit values for chemical substances (化学物質許容濃度文書) (7th edition, 2001) (2012 supplement, 2012)及び "TLVs and BEIs" (ACGIH、毎年発行)	【優先順位2】	
		日本産業衛生学会:「許容濃度の勧告」	米国 EPA/IRIS	「GHS 危険有害性分類事業 (当時) の情報源」のうち Priority-2 情報源	
		ATSDR: Toxicological Profile	米国国家毒性プログラム(NTP)	5 4 4 4 4 3 3 4 4 4 4 4 4 4 4	
			①NTP Data Search Home Page	「政府向けGHS分類ガイダンス」のうち List-2の情報源	
			②Report on Carcinogens(12th, 2011)		

	WHO 飲料水質ガイドライン		③発がん性テクニカルレポート	【優先順位1】
	EPA 水質クライテリア		米国毒性物質疾病登録局(ATSDR) Toxicological Profile	「前回答申の情報源」
	日本の水質汚濁に係る環境基準値と要監視項目指針値		カナダ環境省/保健省 Assessment Report Environment Canada: Priority Substance Assessment Reports (優先物質評価報告書)	
	米国 EPA: Integrated Risk Information System (IRIS)		Australia NICNAS	「GHS 危険有害性分類事業 (当時) の情報源」のうち Priority-1 情報源
	WHO 欧州地域事務局大気質ガイドライン		ドイツ学術振興会(DFG) MAK Collection for Occupational Health and Safety, MAK Values	
	日本の大気汚染に係る環境基準値		Patty's Toxicology (6th edition, 2012) (Patty)	「政府向けGHS分類ガイダンス」のうち List-1の情報源
	ACGIH		United States Environmental Protection Agency (EPA)	
	日本産業衛生学会		Pesticides "Reregistration Eligibility Decision"	「その他」
	登録農薬ADI		US HPV Challenge Program (HPV-IS) (EPA 評価済みのもの)	日本の水質汚濁に係る環境基準値と要監視項目指針値、食品安全委員会評価書、
経口慢性 毒			High Production Volume Information System (HPVIS)	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
性 生 毒環度 かる吸 性 素度 の の の は い の の の の の の の の の の の の の				FAO/WHO 合同残留農 薬 専 門 家 会 議 : Joint Meeting on Pesticide Residues (JMPR) 、
191主母1主				FAO/WHO 合同食品添加物専門家会議: Joint Expert Committee on Food Additives (JECFA)
		Priority-2		化審法におけるスクリーニング評価・リ
		米国国立労働衛生研究所 (NIOSH) : RTECS		
		WHO/IPCS: 「ICSCカード (InternationalChemical Safety Cards) 」	Klist-2	
			EU European Chemicals Bureau (ECB:欧州化学品局) e International Uniform Chemical Information Database (IUCLID) IUCLID CD-ROM (Update 版 Edition 2 - 2000)	【優先順位2】
		EU 第7次修正指令 Annex I (EU 分類)	米国国立医学図書館 (NLM)	「GHS 危険有害性分類事業(当時)の情報源」のうち Priority-2情報源
		HSDB: Hazardous Substance Data Bank	German Chemical Society-Advisory Committee on Existing Chemicals of Environmental Relevance	
		New Jersey Department of Health and Senior Services : Hazardous Substance Fact Sheet	農林水産省消費技術安全センター農薬抄録及び評価書	「政府向けGHS分類ガイダンス」のうち List-2の情報源
		Sittig's Handbook of Toxic and Hazardous Chemicals and Carcinogens	農薬工業会 農薬安全性情報	

		BUA Report	内閣府食品安全委員会食品健康影響評価	【優先順位1】
	EU リスク警句 ( EHC、BUA、ECETOC、SIDS 等で根拠となるデータがある場合)	Dreisbach's Handbook of Poisoning	厚生労働省 既存添加物の安全性の見直しに関する調査研究	「前回答申の情報源」
生殖発生 毒性				
HAP I LL				「GHS 危険有害性分類事業 (当時) の情報源」のうち Priority-1 情報源
				「政府向けGHS分類ガイダンス」のうち List-1の情報源
				「その他」 化審法におけるスクリーニング評価・リ スク評価
				【優先順位2】 「GHS 危険有害性分類事業(当時)の情 報源」のうち Priority-2情報源
				「政府向けGHS分類ガイダンス」のうち List-2の情報源
	日本産業衛生学会(気道感作性第 1、2 群)			【優先順位1】
	日本座末帯エチ云(XJ型&FFは第 1、2 軒) ACGIH (EHC、BUA、ECETOC、SIDS 等で根拠となる データがある場合)			「前回答申の情報源」
	EU リスク警句 (EHC、BUA、ECETOC、SIDS 等で根拠となるデータがある場合)			「GHS 危険有害性分類事業(当時)の情報源」のうち Priority-1 情報源
				「政府向けGHS分類ガイダンス」のうち List-1の情報源
感作性				
				【優先順位2】 「GHS 危険有害性分類事業(当時)の情 報源」のうち Priority-2情報源
				「政府向けGHS分類ガイダンス」のうち List-2の情報源

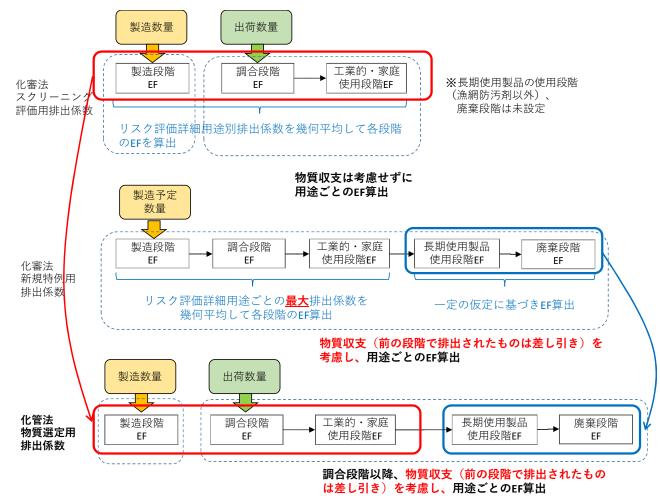
	ECETOC	Priority-1	List-1	【優先順位1】
	環境省において実施して評価した生態影響試験報告	環境省「化学物質の生態影響試験について」	環境省 化学物質の生態影響試験について	「前回答申の情報源」
	日本において登録されている農薬に関する公表データ	環境省:「化学物質の環境リスク評価」	環境省 化学物質審査室化学物質の環境リスク評価	
	EU リスク警句 (根拠となるデータがある場合)	OECD SIDS Initial Assessment Report	(独)製品評価技術基盤機構(NITE) 化学物質の初期リスク評価書	「GHS 危険有害性分類事業(当時)の情報源」のうち Priority-1情報源
		WHO/IPCS: EHC	(一財)化学物質評価研究機構(CERI)・(独)製品評価技術基盤機構(NITE) 「化学物質有害性評価書」	
生態毒性		WHO/IPCS : CICAD	OECD SIDS 初期評価レポート (SIAR)	「その他」
		EU リスク評価書	OECD 選択的初期評価レポート (ITAR)	化審法におけるスクリーニング評価・リ スク評価
		カナダ環境省: Priority Substance Assessment Reports	OECD SIAM (現 CoCAM)	
		オーストラリア NICNAS : Assessment Report	OECD:HPV-SIAP	
		ECETOC : Technical Report シリーズ ・ TR91 ( Aquatic HazardAssessmentⅡ) *	WHO/IPCS 環境保健クライテリア (EHC)	【優先順位2】
		WHO/FAO Pesticide Data Sheets	WHO/IPCS 国際化学物質簡潔評価文書 (CICAD)	「GHS 危険有害性分類事業(当時)の情報源」のうち Priority-2情報源
		CERI: 「化学物質安全性 (ハザード) データ集」 CERI・NITE: 「化学物質有害性評価書」		
			EU European Chemicals Bureau (ECB: 欧州化学品局) EU リスク評価書 (EU Risk Assessment Report: EU RAR)	
			カナダ環境省/保健省 Assessment Report Environment Canada : Priority Substance	
		Priority-2	Australia NICNAS	
		AQUIRE ( Aquatic Toxicity Information Retrieval)	European Center of Ecotoxicology and Toxicology of Chemicals(ECETOC)	
		HSDB	Technical Report シリーズ・TR91(Aquatic Hazard Assessment II)	
		ECB: ESIS (European Chemical Substances Information System) , IUCLID	WHO/FAO Pesticide Data Sheets (PDSs)	
		ECB : The N-CLASS Database on Environmental Hazard Classification	United States Environmental Protection Agency (EPA) Pesticides "Reregistration Eligibility Decision"	
		BUA Report		
			List-2	
			Aquatic Toxicity Information Retrieval (AQUIRE)	
			EU European Chemicals Bureau (ECB: 欧州化学品局 ) International Uniform Chemical Information Database (IUCLID)	
			米国国立医学図書館(NLM)Hazardous Substance Data Bank (HSDB)	
			German Chemical Society-Advisory Committee on Existing Chemicals of Environmental Relevance BUA Report (BUA)	

別表2-2 生態毒性の判定に用いた試験結果の例

	急性 (L(E)C <sub>50</sub> )	慢性(NOEC)
藻類	72 時間を基本とするが、それ以下	72 時間 (96 時間も対象としてい
	も用いる (OECD TG : 201 に基づ	たが、結果的になし)(OECD TG:
	<)	201 を参照して設定)
甲殻類等 <b>※</b> ミジンコ 21 日間を基本とす		21 日間を基本とするが、それ以下
	48 時間を基本とするが、それ以下	も用いる (OECD TG : 211 に基づ
	も用いる (OECD TG: 202 に基づ く)	
	<)	
魚類	96 時間を基本とするが、それ以下	OECD TG: 210 を参照して設定
	も用いる (OECD TG: 203 に基づ	
	<)	

<sup>※</sup>関連制度の状況等鑑みて、甲殼類等についてはユスリカデータも確認した。

別添3 「現行の第一種指定化学物質ではない物質のうち、化審法用途のみの物質」の化管法物質選定用排出係数の算出結果



別図3-1 令和元年取りまとめにおける化管法物質選定用排出係数設定方針

別表3-1 化管法物質選定用排出係数の算出結果

用途番号	用途分類	化審法スクリーニ ング評価(製造段 階の排出係数を足 したもの)	化審法新規特例 (製造〜廃棄の 合計)	化管法 物質 選定
1	中間物	0.001	0.004	0.0008
2	塗料用・ワニス用・コーティング剤用・印刷インキ用・複写	0.3	0.9	0.3
	用•殺生物剤用溶剤	0.5		0.5
	接着剤用・粘着剤用・シーリング材用溶剤	0.4	0.9	0.4
4	金属洗浄用溶剤	0.2	0.8	0.2
5	クリーニング洗浄用溶剤 《洗濯業での用途》	0.02	0.8	0.03
6	その他の洗浄用溶剤	0.06	0.8	0.07
7 8	工業用溶剤 エアゾール用溶剤	0.02	0.4	0.03
9	エアノール用格別 その他の溶剤	1	<u>1</u>	1
_	でい他の役別 化学プロセス調節剤	0.0007	0.02	0.01
	11年2日 日本 1	0.0007	0.02	0.01
	水系洗浄剤1《工業用途》	0.0003	0.07	0.02
	水系洗浄剤2《家庭用・業務用の用途》	1	1	1
	ワックス(床用、自動車用、皮革用等)	1	1	1
15	塗料、コーティング剤 [プライマーを含む]	0.001	0.01	0.004
16	印刷インキ、複写用薬剤(トナー等) [筆記用具、レジストインキ用を含 ţe]	0.001	0.1	0.09
17	船底塗料用防汚剤、漁網用防汚剤	0.9	0.9	0.9
18	殺生物剤1 [成形品に含まれ出荷されるもの]	0.02	0.04	0.03
19	殺生物剤2 [工程内使用で成形品に含まれないもの] 《工業用途》	0.04	0.2	0.08
20	殺生物剤3《家庭用・業務用の用途》	0.3	0.4	0.3
	火薬類[煙火を含む]	0.003	0.02	0.003
	芳香剤、消臭剤	1	1	1
	接着剤、粘着剤、シーリング材	0.001	0.02	0.01
24	フォトレジスト材料、写真材料、印刷版材料	0.008	0.05	0.02
25	合成繊維、繊維処理剤 [不織布処理を含む]	0.03	0.2	0.1
26	紙・パルプ薬品	0.005	0.1	0.1
27	プラスチック、プラスチック添加剤、プラスチック加工助剤	0.001	0.03	0.01
28	合成ゴム、ゴム用添加剤、ゴム用加工助剤	0.0006	0.06	0.05
29	皮革処理剤	0.003	0.02	0.01
30	ガラス、ほうろう、セメント	0.002	0.03	0.02
31	陶磁器、耐火物、ファインセラミックス	0.003	0.1	0.04
	研削砥石、研磨剤、摩擦材、固体潤滑剤	0.004	0.1	0.03
33	金属製造加工用資材	0.006	0.1	0.04
	表面処理剤	0.02	0.1	0.07
35	溶接材料、ろう接材料、溶断用材料	0.02	0.03	0.03
36	作動油、絶縁油、プロセス油、潤滑油剤(エンジン油、軸受油、圧縮機油、グリース等)	0.0003	0.02	0.02
37	金属加工油(切削油、圧延油、プレス油、熱処理油等)、防 錆油	0.005	0.03	0.01
	電気・電子材料 [対象材料等の製造用プロセス材料を含む]	0.001	0.01	0.008
	電池材料(一次電池、二次電池)	0.0007	0.03	0.03
	水処理剤	0.009	0.05	0.02
	乾燥剤、吸着剤 熱媒体	0.02	0.09	0.03
	<u> </u>	0.005 0.002	0.08	0.01
43	↑・	0.002	0.08	0.01
45	散布剤、埋立処分前処理薬剤(融雪剤、土壌改良剤、消火剤等)	0.04	1	0.04
46	分離・精製プロセス剤	0.02	0.1	0.03
	燃料、燃料添加剤	0.00008	0.004	0.00007
	その他の原料、その他の添加剤	1	1	1
	輸出用	0.00003	0.001	0.00003

注1: 化審法スクリーニング評価用排出係数は 2012.01.27 版のものに他の排出係数と比較するため「その物質自体の製造」を加えたもの。

注3:本表は化管法の物質選定のために算出した排出係数であり個別の事業所における排出実態を表すものではない。

注2: 化審法新規特例用排出係数は平成30年9月4日に設定されたものであり、用途は新たに設定された区分に対応している(本表に示された用途区分と完全に一致はしていない)。

# 別添4 生態毒性の観点からの特定第一種指定化学物質の選定方法

#### (1) 背景

特定第一種指定化学物質については、法制定当時の附帯決議(平成 11 年 7 月 6 日参議院国土・環境委員会)において「特に、有害性の強い指定化学物質については、含有率や取扱量の下限を小さくするよう配慮すること」とされたことを受けて、有害性ランクで発がん性クラス1の物質を、特に重篤な障害をもたらす物質として特定第一種指定化学物質に指定した。平成 19 年度から平成 20 年度の見直し検討において、GHSで発がん性、生殖細胞変異原性及び生殖毒性等について、混合物の分類における製品中の対象物質の限界濃度を通常の1%から0.1%に切り下げることにより、これらの有害性に対応した管理を強化していることに鑑み、それまで特定第一種指定化学物質の有害性要件としていた発がん性(C)に加えて、生殖細胞変異原性(M)及び生殖毒性(R)についても特定第一種指定化学物質の指定要件に追加された。

令和元年の見直しにおいては、国内外の状況も鑑みて、一定以上の「生態毒性」を有する化学物質のうち、難分解性、かつ、高蓄積性があるものを特定第一種指定化学物質の指定要件として検討し、追加することが適当と考えられるとされた。そこで、生態毒性の観点からの特定第一種指定化学物質の指定要件について以下に示す。

「産業構造審議会製造産業分科会化学物質政策小委員会制度構築ワーキンググループ、中央環境 審議会環境保健部会化学物質対策小委員会合同会合取りまとめ」(令和元年6月28日)」抜粋

国内外の状況として、欧州のREACH規則のSVHC(高懸念物質)では、CMR物質のほかPBT物質として環境中での残留性(P)や蓄積性(B)を有する場合に、毒性(T)として長期毒性が考慮されていること、また、GHS分類の進捗、化審法におけるリスク評価の進展等によって、特に生態毒性に関する知見(NOEC(無影響濃度)等)が充実してきていること等を勘案した上で、一定以上の「生態毒性」を有する化学物質のうち、難分解性、かつ、高蓄積性があるものを特定第一種指定化学物質の指定要件として検討し、追加することが適当と考えられる。

#### (2) 現行の特定第一種指定化学物質の指定要件

現行の特定第一種指定化学物質の指定要件を別表 4-1 に示す。 2-6 及び(1)背景に記載したとおり、GHSの有害性区分を参考に設定をしており、発がん性で13物質、生殖発生毒性で 2 物質が指定されている。

別表4-1 現行の特定第一種指定化学物質の有害性項目ごとの指定要件と物質数

有害性 項目	指定要件	物質数
発がん性	人に対して発がん性あり ⇒化管法クラス 1 ⇒GHS: 区分 1 A	<ul> <li>・石綿</li> <li>・エチレンオキシド</li> <li>・カドミウム及びその化合物</li> <li>・方価クロム化合物</li> <li>・クロロエチレン(別名塩化ビニル)</li> <li>・ダイオキシン類</li> <li>・ニッケル化合物</li> <li>・砒素及びその無機化合物</li> <li>・1,3-ブタジエン</li> <li>・ベリリウム及びその化合物</li> <li>・ベンジリジン=トリクロリド</li> <li>・ベンゼン</li> <li>・ホルムアルデヒド 計 13物質</li> </ul>
生殖細胞 変異原性	ヒト生殖細胞に遺伝的突然変 異を誘発する ⇒GHS:区分1A	(該当なし)
生殖発生毒性	人の生殖能力を害する又は人 に対する発生毒性を引き起こ す ⇒化管法クラス 1 ⇒GHS: 区分 1 A	<ul><li>・鉛化合物</li><li>・2-ブロモプロパン 計2物質</li></ul>

### (3) 生態毒性の観点の特定第一種指定化学物質の指定要件等

### 難分解性、高蓄積性、生態毒性に関する規定がある諸制度における基準

国内外において、難分解性、高蓄積性、生態毒性に関する規定がある諸制度について別表 4-2 に整理した。

別表4-2 難分解性、高蓄積性、生態毒性に関する規定がある国内外おける諸制度の概要

規制による 物質区分	当該物質区分に課せられる 主な規制内容等	分解性	生物蓄積性	生態毒性等
日本 化審法における 第一種特定化学 物質	<ul> <li>製造・輸入の許可制 (事実上禁止)</li> <li>政令指定製品の輸入禁止</li> <li>政令指定用途以外での使用 の禁止</li> <li>物質及び政令指定製品(物 質使用製品)の取扱基準適 合・表示義務</li> <li>回収等措置命令</li> </ul>	生分解性試験で良分解性でないこと ・3つの試験容器のうち2つ以上でBODによる分解度が60%以上であり、かつ3つの平均が60%以上であること。 ・あわせてHPLC、GC等の直接分析法により分解生成物が生成していないことが確認されること。	BCF≧5,000	有害性要件(ヒトへの 長期毒性又は高次 捕食動物への 長期毒性を 有していること)
欧州 REACH 規則 認可対象 候補物質 (SVHC)	【SVHC】 ・ SDS 等による情報伝達義務 【認可】 ・ 上市・使用の認可制	半減期が以下のいずれかを満たす。 ・海水中>60 日 ・淡水中>40 日 ・海底質中>180 日 ・淡水底質中>120 日	BCF>2,000	慢性 NOEC < 0.01mg/L (または CMR カテゴリー 1&2 または 内分泌かく乱性)
米国 TRI 対象物質	・ PRTR 制度における報告閾 値(取扱量要件)の引き下 げ	半減期が以下のいずれかを満たす。 ・淡水中または海水中≥60 日 ・底質中≥60 日 ・土壌中≥60 日 ・大気中≥2日	BCF≧1,000	懸念リスクレベルに よる毒性データ

規制による 物質区分	当該物質区分に課せられる 主な規制内容等	分解性	生物蓄積性	生態毒性等
米国 TSCA 新規化学物質	<ul><li>PBT に関する試験要求</li><li>環境排出に関する年間報告、排出制限</li></ul>	半減期>60 日		哺乳類(ヒトを含む) および鳥類に対する
審査における PBT 分類基準	・ 生産禁止 (EPA による規制 方針策定まで)	半減期>180 日		慢性毒性

### 生態毒性の観点の特定第一種指定化学物質の指定要件

諸外国の制度と比較した別表 4-2より、米国の PRTR 制度である TRI において報告閾値(取扱量要件)を引き下げる基準は、特定第一種指定化学物質の趣旨ともなじむものと考えられる。そのため、分解性及び生物蓄積性は、TRI の設定を参照する。

一方、TRI の報告閾値(取扱量要件)を引き下げる基準における生態毒性等の基準はリスクレベルによる毒性データとされており、一意に決まらない。生態毒性が非常に懸念されるものとして、欧州 REACH 規則における SVHC の基準として、無影響濃度 (NOEC) 0.01mg/L が設定されている。また、動植物の生息生育に著しく支障を及ぼすとして設定された化審法の特定一般化学物質では、予測無影響濃度 (PNEC) として  $3\times10^{-4}mg/L$  が設定されている8。

今般用いる指定要件としては、化審法の特定一般化学物質の基準である PNEC  $3\times10^{-4}$  mg/L に水生生物 3 種の慢性毒性が揃った場合の不確実係数(UF、10) $^9$ を乗じて算出した NOEC である  $3\times10^{-3}$ mg/L とする $^{10}$ 。

### 指定要件によって抽出される物質

これらの指定要件に合致する物質について母集団から抽出した結果(分解性、生物蓄積性が網羅的に得られないため、判明している範囲)は以下のとおりである。

別表4-3 設定した特定第一種指定化学物質の要件(生態毒性)に合致する物質

	物質情報	ばく露情報	有害性情報		分解性・蓄積	責性
CASRN <sup>®</sup>	/12/11/24 /V #XT	環境中の検出状 況(直近10年)	根拠	半減期	BCF	根拠URL
56-35-9	1, 1, 1, 3, 3, 3 - ヘキサブタン - 1 - イルジスタンノキサ	YY	NOEC (Daphnia magna) : 0.15 μg/L	底質		https://echa.euro pa.eu/documents/1 0162/52f3fc94-
00 00 0	ーイルジスタンノキサ ン		LOEC (Nucella lapillus) : 0.002 µg/L	: 1~15年	J	c78f-436f-98ca- e0f845f37a9a

YY: 複数地点検出

<sup>&</sup>lt;sup>8</sup> 3種の慢性毒性が揃った場合は予測無影響濃度として 3×10<sup>-4</sup>mg/L、3種の慢性毒性が揃わない場合は 予測無影響濃度として 3×10<sup>-5</sup>mg/L

<sup>9</sup> 化審法のリスク評価において設定された3種の水生生物慢性毒性が揃った場合の屋内試験結果から屋外への不確実係数である10

<sup>10</sup> NOEC/UF=PNECによりPNEC×UF=NOECとした。

#### 第一種指定化学物質及び特定第一種指定化学物質の候補リスト

### ### ### ### ### ### ### ### ### ##		第一種指定化字物質及び特定第一種指定化字物質の候補リスト		特定第一種
13	番号	物質名称	別名	
13	1-1			
1	1-2			
1-3   アグリルター・フォルシー・フォル   1-1   アグリングルー・フォル   1-1   アグリングルー・フォル・フォル・フォル・フォル・フォル・フォル・フォル・フォル・フォル・フォル	1-3			
17   アクリル酸ルボループリル   19   19   19   19   19   19   19   1				
1970年8月7月				
1970日に対した				
19   プロレイン   19   19   19   19   19   19   19   1				
□17				
1942				0
18				0
18				
20				
3				
3			カロロダゾン	
(2年か)とのアイニのドラー・アーリーテル・フェーテル・オー、2 4 キャリアジー 8 (44)・オン 1-27				
25	1-22		2120=70	
4-73/-3-747h-16-732.h-1-12, 4-h)アジン-5(4H)-オン	1-23			
4-73/-3-747h-16-732.h-1-12, 4-h)アジン-5(4H)-オン	1-25	4ーアミノー6ーターシャリーブチルー3ーメチルチオー1, 2, 4ートリアジンー5(4H)ーオン	メトリブジン	
1-7リルオキン-2、3 - エボキンブロンの   1-7リルオキン・2、3 - エボキンブロンの   1-7リルオキン・2、3 - エボキンブロンの   1-7リルオキン・3、5、5・トリメキル・機会(中の   1-7リルオ・3・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・	1-27			
語学が上れたペナビスルが必要などもの意でチャトは各の最高製作10から14までのもの点びもの 高金管が開発。)	1-28	アリルアルコール		
語学が上れたペナビスルが必要などもの意でチャトは各の最高製作10から14までのもの点びもの 高金管が開発。)	1-29			
□ 20 アンドウセン	1-30			
□20				
○3 58 ○ (ク)アアドメチルー3、5、5 → I)メチルルクロヘキンル=イソンアネート	1-31	アンチモン及びその化合物		
○3 58 ○ (ク)アアドメチルー3、5、5 → I)メチルルクロヘキンル=イソンアネート	1-32	アントラセン		
34   3-インジアオトメドル-3 8, 8-ドリメドルクロヘキシル=インジアネート	1-33			0
1-38	1-34			
4.4 ーイソフロピアンジスアール	1-36			
1-90	1-37			
1-41   3 - イノブのボキシー2 - トリフルオウメチルベングアニリド	1-40			
1-44	1-41			
1-66	1-44			
1-47	1-46			
1-68   ローエチルクローカー ニャロフェンル・オスポーテオアト   1-69   ローエ・アナカプロル)、ロース・アナリアン   1-7				
1-69   N-(1-エチルアコビル) - 2, 6-ジェトロ-3, 4-ギンリジン   1-70   S-エチル=ヘキサビロー11トアゼピン - 1 カルドキュート   1-70   1-	1-48			
S-エチルニヘキサドドロー1ドーアゼピンー1ーカルボネオアート	1-49			
1-92				
TSJ 1 字 1 7 2 字 1 7 2 字 1 7 2 字 1 7 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				
1-54   ローエチルドミー   イチルアロビル= (2 - オキソ-3 - チアゾリジニル) 市スホ/チオアト   1-56   エトレングリコール・イエチルエーテル   1-57   エトレングリコール・イエチルエーテル   1-58   エレンジアミン   1-59   エチレンジアミン   1-59   エチレンジアミン   1-59   エチレンジアミン   1-59   エチレンジアミン   1-50   1-5	1 02			
□ 1-96 エチレンオキンド □ 1-97 エチレングリコールモノチルエーテル □ 1-98 エチレングリコールモノチルエーテル □ 1-98 エチレングリコールモノチルエーテル □ 1-99 エチレンジアミン園籍館 □ 1-101 N 1 エチレンジスの語館 □ 1-101 N 1 エチレンジスの音館 □ 1 N 1 エチレンビス(ヴォナカルバミン僧)マンガンとN N 1 エチレンビス(ヴチオカルバミン僧) 2 約歳化合物 □ 1 N 1 エーエキレンエルレー2 と 1 七ピリニウム=ジフロド □ 1-102 エグリコールルー2 エチルブロビル=3 ーフェ/キシベンジルエーテル □ 1-103 エグリコールルー2 エチルブロビル=3 ーフェ/キシベンジルエーテル □ 1-104 エグリコールルー2 エボキシブの・い □ 1-105 エグリコールルー2 エボキシブの・い □ 1-106 1 ユーエボキシブの・い □ 1-107 エル・フェンボールー2 エボキシブの・い □ 1-107 エグランスが、東京敷が10から13までのもの及びその混合物に限る。) □ 1-108 エグリコールルー2 エボキシブの・い □ 1-109 エグランスが、ルース・アルールー2 ロー・オンシールー 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1-53			
1-97   エチレングリコールモ/エチルエーテル   1-98   エチレンジアは200   1-96   1-97	1-54	O-エチル=S-1-メチルプロピル=(2-オキソ-3-チアゾリジニル)ホスホノチオアート		
1-98	1-56	エチレンオキシド		0
1-59	1-57	エチレングリコールモノエチルエーテル		
1-60   N / ¬エチレンピス(ジチオカルル(ミン酸)マンガンとN、N' ¬エチレンピス(ジチオカルバミン酸)型   N N' ¬エチレンプル   N N' ¬エチレンピス(ジチオカルバミン酸)型   N N' ¬エデレンピス(ジチオカルバミン酸)型   N N' ¬エボキンプロシ   N N' ¬エボキンプロシ   N N' ¬エボキンプロシ   N N' ¬エボキンプロシ   N N' ¬エボキンプタン   N N' ¬エボナンアム   N N' ¬エボナン   N	1-58	エチレングリコールモノメチルエーテル		
1-61   N. N - エチレンピス(ジチオカルバミン酸)マンガンとN. N - エチレンピス(ジチオカルバミン酸)型	1-59	エチレンジアミン		
1-62   N. N ~ エチレンゼス(ジチオカルバミン酸) マンガンとN. N ~ エチレンゼス(ジチオカルバミン酸) 重   船の館(会物   1.1" エチレン-2.2"ーピビリジニウム=ジブロミド   2.4 エエドセンヌニル)-2 ~ メチルプロビル=3 ~ フェノキシベンジルエーテル   1.2 エボキンブタン   1.6	1-60	エチレンジアミン四酢酸		
606 競信会物	1-61	N, N' -エチレンビス(ジチオカルバミン酸)マンガン		
1-63   1.1 ** エチレン-2.2 ** - ビゼリジニウム=ジブロミド   2-(4 - エトキンフェニル) - 2 - メチルプロビル=3 - フェノキシベンジルエーテル   1-65   エクロロにドル   1.2 - エボキンプログル   1.6	1-62	N, N' -エチレンビス(ジチオカルバミン酸)マンガンとN, N' -エチレンビス(ジチオカルバミン酸)亜		
1-64   2-(4-エトキシフェエル) - 2-メチルプロビル=3-フェ/キシベンジルエーテル   1-65   1.2 - エボキシブタン   1-66   1.2 - エボキシブの・		鉛の錯化合物		
1-64   2-(4-エトキシフェエル) - 2-メチルプロビル=3-フェ/キシベンジルエーテル   1-65   1.2 - エボキシブタン   1-66   1.2 - エボキシブの・	1-63	1 1'ーエチレンー2 2'ーピピリジニウム=ジブロミド		
1-65				
1-68				
1-88				
1-72   選化パラブイン(脱素数が10から13までのもの及びその混合物に限る。)				
1-73 1-オクタノール 1-74 パラーオクチルエノール 1-75 がミウム及びその化合物 2、4 年 キシレノール 1-79 2、6 ー キシレノール 1-80 ギンレン 1-80 ギンレン 1-81 キャリン 1-82 超及びその水溶性化合物 1-83 クメン 1-84 グリオ・サール 1-85 グルタルアルデドド 1-86 アレノール 1-87 クロース (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)				
1-74				
1-75				
1-78   2, 4 - キシレノール				
1-79   2.6 - キシレノール		27 1 7 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		0
1-80				
1-81				
1-82				
1-83				
1-84				
1-85				
1-86				
1-87				
1-88   大価クロ本化合物				
1-89				^
1-90   2-クロロ-4-エチルアミノー6-イソプロビルアミノー1、3、5ートリアジン   アトラジン   1-91   2-(4-クロロー6-エチルアミノー1、3、5ートリアジン-2-イル)アミノー2-メチルプロビオノニト   シアナジン   リル   リル   リル   リル   リル   リル   リル   リ				U
1-91			マレニミシ	
リル				
1-92	1-91		ンテアンノ	
* キサミド 1-93 2 - クロロー2' - エチルーN - (2 - メトキシー1 - メチルエチル) - 6' - メチルアセトアニリド メトラクロール 1-94 クロロエチレン 塩化ビニル ○ 1-95 3 - クロローN - (3 - クロロー5 - トリフルオロメチルー2 - ピリジル) - アルファ、アルファ、アルファ、アルファ - フルアジナム トリフルオロー2・6 - ジニトローパラートルイジン 1-96 1 - (12 - [2 - クロロー4 - (4 - クロロフェノキシ) フェニル] - 4 - メチルー1、3 - ジオキソランー2 - ジフェノコナゾール イル / メチル) - 1 H - 1、2・4 - トリアゾール 1-98 クロロ酢酸 フークロー2'・6' - ジエチルーN - (2 - ブロボキシエチル) アセトアニリド ブレチラクロール 1-100 2 - クロロー2'・6' - ジエチルーN - (メトキシメチル) アセトアニリド アラクロール 1-101 2 - クロロー2'・6' - ジエチルーN - (メトキシメチル) アセトアニリド アラクロール 1-103 1 - クロロー1、1 - ジフルオロエタン HCFC - 124 1-104 クロロジフルオコエタン HCFC - 124 1-105 2 - クロロー1、1、1、2 - テトラフルオロエタン HCFC - 124 1-106 クロロトリフルオロエタン HCFC - 124 1-107 (RS) - 2 - (4 - クロローオルトートリルオキシ) プロピオン酸 スコブロップ サローリカル イージン・ス・ジン 又はCAT 1-113 2 - クロロー4・6 - ピス(エチルアミノ) - 1、3 - トリアジン トートエチルー4・5 - ジヒドロー5 - オキソー1H - テ・ア・ア・ルー1 - カルボキサミド トラゾールー1 - カルボキサミド トラゾールー3 - イス・フェース・フェース・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・	1-92		トルフェンピラド	
1-94   クロロエチレン   塩化ビニル   〇     1-95   3 - クロローN - (3 - クロロー5 - トリフルオロメチルー2 - ビリジル) - アルファ、アルファ、アルファ、フルアジナム     1-96   1 - (12 - [2 - クロロー4 - (4 - クロロフェノキシ)フェニル] - 4 - メチルー1、3 - ジオキソランー2   ジフェノコナゾール     1-98   クロロ酸		キサミド	· · · == = >1	
1-95	1-93		-	
1-95 3-クロロ-N-(3-クロロ-5-トリフルオロメチル-2-ピリジル)-アルファ、アルファ、アルファ、フルアジナム トリフルオロ-2、6-ジニトローパラートルイジン 1-96 1-(12-[2-クロロ-4-(4-クロロフェノキン)フェニル]-4-メチルー1、3-ジオキソラン-2- ガルノメチル)-1H-1、2、4-トリアゾール 1-198 クロロ酢酸 1-100 2-クロロ-2'、6'ージエチル-N-(2ープロポキシエチル)アセトアニリド 1-101 2-クロロ-2'、6'ージエチル-N-(メトキシメチル)アセトアニリド 1-103 1-クロロー1、1ージフルオロエタン 1-103 1-クロロー1、1ージフルオロエタン 1-104 クロロジフルオロメタン 1-105 2-クロロー1、1、2ーデトラフルオロエタン 1-105 2-クロロー1、1、1、2ーデトラフルオロエタン 1-106 クロロトリフルオロエタン 1-106 クロロトリフルオロエタン 1-108 (RS)-2-(4-クロローオルトートリルオキン)プロピオン酸 1-113 2-クロロー4、6ーピス(エチルアミノ)ー1、3、5ートリアジン 1-115 4-(2-クロロフェル)-Nーシクロへキシル-N-エチルー4、5ージヒドロー5ーオキソー1Hーテトリールーオルボキサミド トラゾールー1ーカルボキサミド 1-117 (RS)-1-パラークロフェニルー4、4ージメチルー3-(1H-1、2、4ートリアゾールー1ーイルメーデフコナゾール チル)ペンタン-3ーオール	1-94		塩化ビニル	0
1-96	1-95		フルアジナム	
イルドチル) - 1 H - 1, 2, 4 - トリアゾール	1.00		ジファノコナゾ	
1-98   クロロ酢酸   クロロロース   クロロース   クロース   クロロース   クロロース   クロロース   クロロース   クロロース   クロロース   クロロース   クロース	1-96		ンノエノコナソール	
1-100   2-クロロ-2', 6' -ジエチル-N-(2-プロポキシエチル)アセトアニリド   プレチラクロール   1-101   2-クロロ-2', 6' -ジエチル-N-(メトキンメチル)アセトアニリド   アラクロール   1-103   1-クロロー1, 1 -ジフルオロエタン   HCFC-142b   HCFC-124   HCFC-124   HCFC-124   HCFC-124   HCFC-133	1-98			
1-101   2-クロロ-2', 6' -ジエチル-N-(メトキシメチル)アセトアニリド   アラクロール   1-103   1-クロロー1, 1-ジフルオロエタン   HCFC-142b   HCFC-142b   HCFC-142b   HCFC-122   HCFC-122   HCFC-124   HCFC-124   HCFC-124   HCFC-124   HCFC-124   HCFC-124   HCFC-133   HCFC-			プレチラクロール	
1-103				
1-104   クロロジフルオロメタン				
1-105 2-クロロー1、1、1、2ーテトラフルオロエタン HCFC-124 HCFC-124 HCFC-124 HCFC-133 HCFC-134 HCFC-1				
1-106 クロロトリフルオロエタン HCFC - 133				
1-108 (RS) - 2-(4-クロローオルトートリルオキシ)プロピオン酸 メコブロップ 1-113 2-クロロー4, 6-ピス(エチルアミノ) - 1, 3, 5-トリアジン シマジン又はCAT 1-115 4-(2-クロロフェニル) - N - シクロヘキシル - N - エチルー4, 5 - ジヒドロー5 - オキソー1H - テアンールー1 - カルボキサミド トラゾールー1 - カルボキサミド (RS) - 1 - パラークロロフェニルー4, 4 - ジメチルー3 - (1H - 1, 2, 4 - トリアゾールー1 - イルメ チル)ペンタンー3 - オール				
1-113 2-クロロ-4, 6-ビス(エチルアミノ)-1, 3, 5-トリアジン シマジン又はCAT 1-115 4-(2-クロロフェニル)-N-シクロヘキシル-N-エチル-4, 5-ジヒドロ-5-オキソ-1H-テ フェントラザミドトラゾール-1-カルボキサミド (RS)-1-パラ-クロロフェニル-4, 4ージメチル-3-(1H-1, 2, 4-トリアゾール-1-イルメ デブコナゾール チル)ペンタン-3-オール				
1-115 4-(2-クロロフェニル) - N - シクロヘキシル - N - エチルー4, 5-ジヒドロー5-オキソー1Hーテ フェントラザミド トラゾール - 1 - カルボキサミド 1-117 (RS) - 1 - パラークロロフェニルー4, 4ージメチルー3ー(1Hー1, 2, 4ートリアゾールー1ーイルメ デブコナゾール チル) ペンタンー3ーオール				
トラゾール・1 ーカルボキサミド 1-117 (RS)-1 ーパラークロロフェニルー4, 4ージメチルー3ー(1Hー1, 2, 4ートリアゾールー1ーイルメーテブコナゾール チル)ペンタンー3ーオール				
1-117 (RS) - 1 - パラークロロフェニルー4, 4 - ジメチルー3 - (1H-1, 2, 4 - トリアゾールー1 - イルメ テブコナゾール チル) ペンタンー3 - オール	1-115		ノエントフザミト	
チル)ペンタンー3ーオール	1-117		テブコナゾール	
		チル)ペンタンー3ーオール		
	1-121			

1-123 3			
	3-クロロプロペン	塩化アリル	
	- (2-クロロベンジル) - 3 - (1 - メチル - 1 - フェニルエチル) ウレア	クミルロン	
	プロロベンゼン プロロペンタフルオロエタン	CFC-115	
	プロロホルム	GFC-115	
	プロングン	塩化メチル	
	コバルト及びその化合物		
1-133 酢	作酸2-エトキシエチル	エチレングリコールモノエチルエー	
1 104	trackピー u	テルアセテート	
	作酸ビニル 作酸2-メトキシエチル	エチレングリコールモノメチルエーテ	
I-133	ir版と一クトインエナル	ルアセテート	
1-141 <b> </b>	ランスー1ー(2ーシアノー2ーメトキシイミノアセチル)-3-エチルウレア	シモキサニル	
	1, 4' ージアミノジフェニルエーテル		
	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩を除く。)		
	O-2-ジエチルアミノー6-メチルピリミジンー4-イル=O, O-ジメチル=ホスホロチオアート	ピリミホスメチル	
	N, Nージエチルチオカルバミン酸Sー4ークロロベンジル N, Nージエチルー3ー(2, 4, 6ートリメチルフェニルスルホニル)−1H−1, 2, 4ートリアゾールー1	チオベンカルブ又はベンチオカーブ カフェンストロール	
	-カルボキサミド	カラエラストロール	
	四塩化炭素		
	1, 4ージオキサン		
	, 3ージカルバモイルチオー2ー(N, Nージメチルアミノ)ープロパン	カルタップ	
	ンクロヘキサー1ーエンー1, 2ージカルボキシイミドメチル=(1RS)ーシスートランスー2, 2ージメチ レー3ー(2ーメチルプロパー1ーエニル)シクロプロパンカルボキシラート	ナトラメトリン	
1-154 シ	シクロヘキシルアミン		
	ジクロロアニリン		
	, 2ージクロロエタン		
	, 1 ー ジクロロエチレン	塩化ビニリデン	
	ンスー1, 2ージクロロエチレン		
	3, 3' ージクロロー4, 4' ージアミノジフェニルメタン	CEC = 12	0
	ジクロロジフルオロメタン 3, 5ージクロローNー(1, 1ージメチルー2ープロビニル)ベンズアミド	CFC-12 プロピザミド	
	3, 5ーングロローNー(1, 1ーンメナルー2ープロピール/ベンスアミト ジクロロテトラフルオロエタン	CFC-114	
	2, 2ージクロロー1, 1, 1ートリフルオロエタン	HCFC-123	
	3-(3,5-ジクロロフェニル)-N-イソプロピル-2,4-ジオキソイミダゾリジン-1-カルボキサミ		
١	<u> </u>		
	3-(3, 4-ジクロロフェニル)-1, 1-ジメチル尿素	ジウロン又はDCMU	
	2RS, 4RS)-1-[2-(2, 4-ジクロロフェニル)-4-プロピル-1, 3-ジオキソラン-2-イル ゲチル]-1H-1, 2, 4-トリアゾール及び(2RS, 4SR)-1-[2-(2, 4-ジクロロフェニル)-4	プロピコナゾール	
	ープロピルー1, 3ージオキソランー2ーイルメチル]ー1H-1, 2, 4ートリアゾールの混合物		
	3-[1-(3,5-ジクロロフェニル)-1-メチルエチル]-3,4-ジヒドロー6-メチルー5-フェニル	オキサジクロメホン	
	-2H-1, 3-オキサジン-4-オン 3-(3, 4-ジクロロフェニル)-1-メトキシ-1-メチル尿素	リニュロン	
	2,4ージクロロフェノキシ酢酸	2, 4-D又は2, 4-PA	
	1,1-ジクロロー1ーフルオロエタン	HCFC-141b	
1-177 ジ	<sup>ジ</sup> クロロフルオロメタン	HCFC-21	
1-178 1	, 2ージクロロプロパン		0
	, 3ージクロロプロペン	D-D	
	<b>ジクロロベンゼン</b>		
	2-[4-(2, 4-ジクロロベンゾイル)-1, 3-ジメチル-5-ピラゾリルオキシ]アセトフェノン	ピラゾキシフェン	
	lー(2, 4ージクロロベンゾイル)−1, 3ージメチル−5ーピラゾリル=4ートルエンスルホナート 2, 6ージクロロベンゾニトリル	ピラゾレート ジクロベニル又はDBN	
	ジクロロペンタフルオロブロパン	HCFC-225	
	ジクロロメタン	塩化メチレン	
	2, 3ージシアノー1, 4ージチアアントラキノン	ジチアノン	
	N, Nージシクロヘキシルアミン		
1-190 ジ	<b>ジシクロペンタジエン</b>		
1-191 1	, 3ージチオランー2ーイリデンマロン酸ジイソプロピル	イソプロチオラン	
	ジチオりん酸O-2, 4-ジクロロフェニル-O-エチル-S-プロピル	プロチオホス	
	ジチオりん酸Sー(2, 3ージヒドロー5ーメトキシー2ーオキソー1, 3, 4ーチアジアゾールー3ーイル) パチルーO, Oージメチル	メチタチオン又はDMTP	
	・テル・ O, O ファイル ジチオりん酸O, OージメチルーSー1, 2ービス(エトキシカルボニル)エチル	マラソン又はマラチオン	
	ジチオりん酸O, OージメチルーSー[(Nーメチルカルバモイル)メチル]	ジ外エート	
	ジナトリウム=2, 2'ービニレンビス[5ー(4ーモルホリノー6ーアニリノー1, 3, 5ートリアジンー2ーイ	CIフルオレスセント260	
	レアミノ)ベンゼンスルホナート] ジニトロトルエン		
	ノートロトルエン 2, 4ージニトロフェノール		
	: ・・ フー・ロフェク ・ル プフェニルアミン	<del> </del>	
	NージブチルアミノチオーNーメチルカルバミン酸2,3ージヒドロー2,2ージメチルー7ーベンゾ[b]フ	カルボスルファン	
J	ラニル		
	2, 6ージーターシャリーブチルー4ークレゾール		
	プブロモクロロメタン 		
1-210 2	<b>り クージフロチークージアノアセトアミド</b>		
1-211	2, 2ージブロモー2ーシアノアセトアミド ジブロモテトラフルオロエタン	ハロン-2402	
	<b>ジブロモテトラフルオロエタン</b>	ハロンー2402 アセフェート	
1-212 (1		ハロン-2402 アセフェート	
1-212 (I 1-213 N	ジブロモテトラフルオロエタン RS) – O, S – ジメチル=アセチルホスホルアミドチオアート		
1-212 (I 1-213 N 1-217 5 1-218 S	ジブロモテトラフルオロエタン RS) -O, S -ジメチル=アセチルホスホルアミドチオアート I, N -ジメチルアセトアミド 5ジメチルアミノ -1, 2, 3トリチアン ジメチルアミン	アセフェート	
1-212 (I 1-213 N 1-217 5 1-218 5 1-219 5	ジブロモテトラフルオロエタン RS) -O, Sージメチル=アセチルホスホルアミドチオアート 4, Nージメチルアセトアミド 5-ジメチルアミノー1, 2, 3ートリチアン ジメチルアミン ジメチルジスルフィド	アセフェート チオシクラム	
1-212 (I 1-213 N 1-217 5 1-218 5 1-219 5 1-221 2	ジブロモテトラフルオロエタン RS) - O, S - ジメチル=アセチルホスホルアミドチオアート 4, N - ジメチルアセトアミド 5-ジメチルアミノ- 1, 2, 3 - トリチアン ジメチルアミン ジメチルアミン ジメチルフミン 2, 2 - ジメチルフィド 2, 2 - ジメチルー2, 3 - ジヒドロー1 - ベンゾフランー7 - イル=N - [N - (2 - エトキシカルボニルエ	アセフェート チオシクラム	
1-212 (II 1-213 N 1-217 5 1-218 5 1-219 5 1-221 2 7	ジブロモテトラフルオロエタン RS) -O, Sージメチル=アセチルホスホルアミドチオアート 4, Nージメチルアセトアミド 5-ジメチルアミノー1, 2, 3ートリチアン ジメチルアミン ジメチルジスルフィド	アセフェート チオシクラム	
1-212 ((1) 1-213 N 1-217 5 1-218 5 1-219 5 1-221 2 1-223 N	ジブロモテトラフルオロエタン RS) - O, S - ジメチル=アセチルホスホルアミドチオアート 4、N - ジメチルアセトアミド 5 - ジメチルアアミノ - 1、2、3 - トリチアン ジメチルアミン ジメチルアミン ジメチルアミン ジメチルアシン ジメチルアミン ジメチルアシン システルジスルフィド 2、2 - ジメチルー2、3 - ジヒドロー1 - ベンゾフラン - フ - イル=N - [N - (2 - エトキシカルボニルエ チル) - N - イソプロビルスルフェナモイル] - N - メチルカルバマート	アセフェート チオシクラム	
1-212 ((1) 1-213 N 1-217 5 1-218 5 1-219 5 1-221 2 1-223 N 1-224 N	ジブロモテトラフルオロエタン RS) - O、S - ジメチル=アセチルホスホルアミドチオアート 4、N - ジメチルアセトアミド 5 - ジメチルアフェア・フィー ジメチルアミン - 1、2、3 - トリチアン ジメチルアミン ジメチルアミン ジメチルアミン ジメチルアミン ジメチルジスルフィド 2、2 - ジメチル・2、3 - ジヒドロー1 - ベンゾフラン - フ - イル=N - [N - (2 - エトキシカルボニルエ チル) - N - インブロビルスルフェナモイル] - N - メチルカルバマート 4、N - ジメチルドデシルアミン	アセフェート チオシクラム	
1-212 ((1) 1-213 N 1-217 5 1-218 5 1-219 5 1-221 2 1-221 N 1-224 N 1-225 5 1-227 1	ジブロモデトラフルオロエタン RS) - O、S - ジメチル=アセチルホスホルアミドチオアート 4、N - ジメチルアセトアミド 5 - ジメチルアアミン - 1、2、3 - トリチアン ジメチルアミン ジメチルアミン ジメチルアス ジスチルアス ジスチルアス ジスチルアス ジスチルアス ジスチルアス ジスチルアス ジスチルフィ ジスチルアス ジスチルフス ジスチルフス ジスチルフス ジスチルフス ジスチルフス ジスチルフス ジスチルー2、3 - ジヒドロー1 - ベンゾフラン - フ - イル=N - [N - (2 - エトキシカルボニルエ チル) - N - イソブロビルスルフェナモイル   - N - メチルカルバマート 4、N - ジメチルドデシルアミン ジスチルとス ジスチルとス ジスチルとス ジスチルー2、2、2 - トリクロロー1 - ヒドロキシエチルホスホナート 1、1 ' - ジメチルー4、4' - ピピリジニウム=ジクロリド	アセフェート デオシクラム ベンフラカルブ トリクロルホン又はDEP パラコート又はパラコートジクロリド	
1-212 ((1) 1-213 N 1-217 5 1-218 5 1-219 5 1-221 2 1-223 N 1-224 N 1-225 5 1-227 1 1-229 5	ジブロモテトラフルオロエタン RS) - O、S - ジメチル=アセチルホスホルアミドチオアート 4、N - ジメチルアセトアミド 5 - ジメチルアフェース・ス・ス・アンジ ジメチルアシンジ ジメチルアシンジ ジメチルアシンジ ジメチルジスルフィド ジスチルジスルフィド 4、N - ジメテルー2、3 - ジヒドロー1ーペンゾフランー7ーイル=N - [N - (2 - エトキシカルボニルエチル) - N - ソブロビルスルフェナモイル] - N - メチルカルバマート 4、N - ジメチルドデシルアミン・ローオキシド ジメチル=2、2、2 - トリクロロー1ーとドロキシエチルホスホナート 1、1 * - ジメチルー4、4 * - ビビリジニウム=ジクロリド ジメチル=4、4 * - (オルトーフェニレン)ビス(3 - チオアロファナート)	アセフェート チオシクラム ベンフラカルブ トリクロルホン又はDEP	
1-212   (()   1-213   N   1-217   5   1-218   5   1-219   5   1-221   7   1-224   N   1-225   5   1-227   1-223   N   1-229   5   1-229   5   1-230   N	ジブロモデトラフルオロエタン RS) - O、S - ジメチル=アセチルホスホルアミドチオアート 4、N - ジメチルアセトアミド S - ジメチルアミンー1、2、3 - トリチアン ジメチルアミンー1、2、3 - トリチアン ジメチルアミン ジメチルアミン ジメチルアミン ジメチルアミン ジメチルアミン ジメチルアミン ジメチルアミン ジメチルアミン ジメチルー2、3 - ジセドロー1 - ベンゾフラン - 7 - イル=N - [N - (2 - エトキシカルボニルエ チル) - N - イソブロピルスルフェナモイル] - N - メチルカルバマート 4、N - ジメチルドデシルアミン A、N - ジメチルドデシルアミン=N - オキシド ジメチル=2、2、2 - トリクロロー1 - ヒドロキシエチルホスホナート 、	アセフェート デオシクラム ベンフラカルブ トリクロルホン又はDEP パラコート又はパラコートジクロリド	
1-212   (()   1-213   N   1-217   5   1-218   3   1-217   5   1-218   3   1-221   2   3   1-221   2   1-223   N   1-225   3   1-227   1   1-229   3   1-230   N   1-232   N   1-232   N   1-232   N   1-232   N	ジブロモデトラフルオロエタン RS) - O、S - ジメチル=アセチルホスホルアミドチオアート 4、N - ジメチルアマトアミド 5 - ジメチルアマトアミド 5 - ジメチルアミンー1、2、3 - トリチアン ジメチルアミンー1、2、3 - トリチアン ジメチルアミンー ジメチルフィド 2、2 - ジメチルー2、3 - ジヒドロー1 - ベンゾフランーフーイル=Nー[Nー(2ーエトキシカルボニルエ Fル) - N - イソプロピルスルフェナモイル] - N - メチルカルパマート 4、N - ジメチルドデシルアミン 4、N - ジメチルドデシルアミン=N - オキシド ジメチルとこ。2、2 - トリクロロー1 - ヒドロキシエチルホスホナート 1、1 * - ジメチル・イン・イーピピリジニウム=ジクロリド ジメチルー4、4 * - (オルトーフェニレン)ビス(3 - チオアロファナート) N - (1、3 - ジメチルドデル) - N * - フェニル・パラーフェニレンジアミン 4、N - ジメチルボルムアミド	アセフェート チオシクラム ベンフラカルブ ドリクロルホン又はDEP バラコート又はパラコートジクロリド チオファネートメチル	
1-212   (()   1-213   N   1-217   5   1-219   5   1-221   2   1-223   N   1-224   N   1-224   N   1-225   5   1-227   1-229   5   1-230   N   1-233   N   1-233   2   1-233   2   1-233   2   1-233   2   1-233   2   1-233   2   1-233   2   1-233   2   1-233   2   1-233   2   1-233   2   1-233   2   1-233   2   1-233   2   1-233   2   1-233   1-233   2   1-233   1-233   2   1-233	ジブロモテトラフルオロエタン RS) - O, S - ジメチル=アセチルホスホルアミドチオアート 4、N - ジメチルアセトアミド 5 - ジメチルアフェトアミト - 1、2、3 - トリチアン ジメチルアミン ジメチルアストアミン ジメチルアストアミン ジメチルアストア ジメチルアストア ジメチルアストア ジメチルアストア ジメチルアストア ジメチルアストア ジメチルアストア ジメチルアストア ジンチア ジンチア ジンチア ジンチア ジンチア ジンチア ジンチア ジンチ	アセフェート テオシクラム ベンフラカルブ トリクロルホン又はDEP パラコート又はパラコートジクロリド テオファネートメチル フェントエート又はPAP	
1-212   (()   1-213   N   1-217   5   1-219   5   1-221   7   2   1-221   7   1-221   7   1-224   N   1-225   5   1-227   1-229   1-230   N   1-232   N   1-233   N   1-233   N   1-236   3   1-236   3   1-236   3   1-236   3	ジブロモデトラフルオロエタン RS) - O、Sージメチル=アセチルホスホルアミドチオアート 4、Nージメチルアセトアミド 5ージメチルアミンー1、2、3ートリチアン ジメチルアシンー1、2、3ートリチアン ジメチルアシンー1、2、3ートリチアン ジメチルアシンフィド 2、2ージメチルー2、3ージヒドロー1ーペンゾフランー7ーイル=N-「N-(2ーエトキシカルボニルエ チル)・N-イソブロビルスルフェナモイル)ーN-メチルカルパマート 4、Nージメチルドデシルアミン 4、Nージメチルドデシルアミン=N-オキシド ジメチル=2、2、2ートリクロロー1ーヒドロキシエチルホスホナート 1、1、一ジメチルー4、4、一ピビリジニウム=ジクロリド ジメチル=4、4、一ピビリジニウム=ジクロリド ジメチル=4、4、一ピリンニウム=ジウロリド ジメチル=4、4、一ピリジニウム=ジウロリド ジメチルー4、4、一ピリジニウム=ジウロリド ンメチルカルカアミド 1、3ージメチルホルカアミド 2・「ジメチトルカルアミド 2・「ジメチトルキンボンブギー)・N・フェニルーパラーフェニレンジアミン 4、Nージメチルホルカアミド 2・「ジメチトシホスフィノチオイル)チオ] - 2ーフェニル酢酸エチル 3、5ージヨードー4ーオクタノイルオキシベンゾニトリル	アセフェート チオシクラム ベンフラカルブ ドリクロルホン又はDEP バラコート又はパラコートジクロリド チオファネートメチル	
1-212   (()   1-213   N   1-217   5   1-218   5   1-219   5   1-221   7   1-221   7   1-224   N   1-225   5   1-227   1   1-229   5   1-230   N   1-232   N   1-233   N   1-233   N   1-233   2   1-237   7   7   7   7   7   7   7   7   7	ジブロモデトラフルオロエタン RS) - O、S - ヴメチル=アセチルホスホルアミドチオアート 4、N - ヴメチルアセトアミド 3・ヴメチルアフトアミド 5・ヴメチルアミンー1、2、3 - トリチアン ジメチルアミンー1、2、3 - トリチアン ジメチルアミン フィア・フィア・フィア・フィア・フィア・フィア・フィア・フィア・フィア・フィア・	アセフェート テオシクラム ベンフラカルブ トリクロルホン又はDEP パラコート又はパラコートジクロリド テオファネートメチル フェントエート又はPAP	
1-212	ジブロモデトラフルオロエタン RS) - O、Sージメチル=アセチルホスホルアミドチオアート 4、Nージメチルアセトアミド 5ージメチルアミンー1、2、3ートリチアン ジメチルアシンー1、2、3ートリチアン ジメチルアシンー1、2、3ートリチアン ジメチルアシンフィド 2、2ージメチルー2、3ージヒドロー1ーペンゾフランー7ーイル=N-「N-(2ーエトキシカルボニルエ チル)・N-イソブロビルスルフェナモイル)ーN-メチルカルパマート 4、Nージメチルドデシルアミン 4、Nージメチルドデシルアミン=N-オキシド ジメチル=2、2、2ートリクロロー1ーヒドロキシエチルホスホナート 1、1、一ジメチルー4、4、一ピビリジニウム=ジクロリド ジメチル=4、4、一ピビリジニウム=ジクロリド ジメチル=4、4、一ピリンニウム=ジウロリド ジメチル=4、4、一ピリジニウム=ジウロリド ジメチルー4、4、一ピリジニウム=ジウロリド ンメチルカルカアミド 1、3ージメチルホルカアミド 2・「ジメチトルカルアミド 2・「ジメチトルキンボンブギー)・N・フェニルーパラーフェニレンジアミン 4、Nージメチルホルカアミド 2・「ジメチトシホスフィノチオイル)チオ] - 2ーフェニル酢酸エチル 3、5ージヨードー4ーオクタノイルオキシベンゾニトリル	アセフェート テオシクラム ベンフラカルブ トリクロルホン又はDEP パラコート又はパラコートジクロリド テオファネートメチル フェントエート又はPAP	O*1
1-212	ジブロモデトラフルオロエタン RS) - O、S - ジメチル=アセチルホスホルアミドチオアート 4、N - ジメチルアセトアミド 5 - ジメチルアフセトアミド 5 - ジメチルアヌンー1、2、3 - トリチアン ジメチルアミンー1、2、3 - トリチアン ジメチルアミン フィチルジスルフィド 2、2 - ジメチルー2、3 - ジセドロー1 - ベンゾフランー7 - イル=Nー[Nー(2ーエトキシカルボニルエ チル) - N - イソプロビルスルフェナモイル] - N - メチルカルバマート 4、N - ジメチルドデシルアミン 4、N - ジメチルドデシルアミン フィン・フィン・フィン・フィン・フィン・フィン・フィン・フィン・フィン・フィン・	アセフェート テオシクラム ベンフラカルブ トリクロルホン又はDEP パラコート又はパラコートジクロリド テオファネートメチル フェントエート又はPAP	O%1
1-212   (()   1-213   N   1-217   5   1-219   ジ   1-221   2   5   1-223   N   1-224   N   1-225   ジ   1-229   ジ   1-230   N   1-232   N   1-233   N   1-234   N   1-234   N   N   N   N   N   N   N   N   N	ジブロモデトラフルオロエタン RS) - O, S - ジメチル=アセチルホスホルアミドチオアート 4、N - ジメチルアセトアミド 5 - ジメチルアフセトアミド 5 - ジメチルアラン - 1、2、3 - トリチアン ジメチルアミン ジメチルアミン ジメチルアストフィド 2、2 - ジメチルフィド 2、2 - ジメチルフィド 2、2 - ジメチルフィド 2、2 - ジメチルフィド 2、2 - ジメチルアシーン 4、N - ジメチルドデシルアミン N、N - ジメチルドデシルアミン N、N - ジメチルドデシルアミン=N - オキシド ジメチルと2、2、2 - トリクロロー1 - ヒドロキシエチルホスホナート 1、1 ' - ジメチル・イン・ルース・ニーン・リビス(3 - チオアロファナート) N - (1、3 - ジメチルブチル) - N' - フェニルー・バラーフェニレンジアミン N、N - ジメチルボルムアミド 2 - [(ジメトキシホスフィノチオイル)チオ] - 2 - フェニル酢酸エチル 3、5 - ジョード - 4 - オクタノイルオキシベンゾニトリル k酸及びその化合物 ド素化テルフェニル	アセフェート テオシクラム ベンフラカルブ トリクロルホン又はDEP パラコート又はパラコートジクロリド テオファネートメチル フェントエート又はPAP	O%1
1-212   (1)     1-213   N     1-217   5     1-218   ジ     1-219   ジ     1-221   2     1-223   N     1-224   N     1-225   ジ     1-227   1     1-229   ジ     1-230   N     1-232   N     1-233   2     1-236   3     1-237   オ     1-238   オ     1-239   オ     1-239   オ     1-239   オ     1-242   セ	ジブロモデトラフルオロエタン RS) - O、Sージチル=アセチルホスホルアミドチオアート 4、Nージメチルアセトアミド 5ージメチルアミレー1、2、3ートリチアン ジメチルアミンー1、2、3ートリチアン ジメチルアミン ジメチルアミン ジメチルアミン ジメチルアミン ジメチルアミン ジメチルアミン ジメチルアミン ジメチルアミン リステルー2、3ージヒドロー1ーベンゾフラン-7-イル=N-[N-(2-エトキシカルボニルエ チル) - N-イソブロビルスルフェナモイル] - N-メチルカルバマート 4、Nージメチルドデシルアミン 4、Nージメチルドデシルアミン=N-オキシド ジメチル=2、2、2ートリクロロー1ーヒドロキシエチルホスホナート 、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	アセフェート テオシクラム ベンフラカルブ トリクロルホン又はDEP パラコート又はパラコートジクロリド テオファネートメチル フェントエート又はPAP	O 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
1-212   (()   1-213   N   1-217   5   1-219   ジ   1-221   2   1-223   N   1-224   N   1-225   ジ   1-225   ジ   1-229   ジ   1-230   N   1-232   N   1-233   1-236   3   1-237   ブ   1-239   ブ   1-239   ブ   1-239   ブ   1-239   ブ   1-239   ブ   1-239   ブ   1-240   ブ   1-242   ブ   1-244   ブ   1-245   ブ   1-244   ブ   1-245   ブ   1-25	ジブロモデトラフルオロエタン RS) - O、Sージメチル=アセチルホスホルアミドチオアート 4、Nージメチルアセトアミド 5ージメチルアミレー1、2、3ートリチアン ジメチルアミンー1、2、3ートリチアン ジメチルアミン ジメチルアミンフィド 2、2ージメチルア・2、3ージヒドロー1ーペンゾフランーフーイル=Nー [Nー(2ーエトキシカルボニルエ チル) - Nーイソブロビルスルフェナモイル] - Nーメチルカルパマート 4、Nージメチルドデシルアミン 4、Nージメチルドデシルアミン 4、Nージメチルドデシルアミン=Nーオキシド ジメチル=2、2、2ートリクロロー1ーヒドロキシエチルホスホナート 1、1 ー・ジメチルー4、4 ー・ビビリジニウム=ジクロリド ジメチル=4、4 ー・ビビリジニウム=ジクロリド ジメチル=4、4 ー・ビビリジニウム=ジクロリド ジメチルキルムアミド 2、1、Nージメチルカルルアミト 1、1、3ージメチルカルルアミト 4、Nージメチルオルルアミド 2・「ジメチトシホスフィノチオイル)チオ] - 2ーフェニルが酸エチル 8、8、銀及びその化合物 8、株素化チルフェール 自機スズ化合物 スチレン セレン及びその化合物 8、オナンン類 2・チオキソー3、5ージメチルテトラヒドロー2Hー1、3、5ーチアジアジン	アセフェート テオシクラム ベンフラカルブ トリクロルホン又はDEP パラコート又はパラコートジクロリド テオファネートメチル フェントエート又はPAP	
1-212   (1)     1-213   N     1-217   5     1-218   ジ     1-219   ジ     1-221   2     1-223   N     1-224   N     1-225   ジ     1-227   1     1-229   ジ     1-230   N     1-232   N     1-233   2     1-233   3     1-233   3     1-233   3     1-233   3     1-233   3     1-233   3     1-233   3     1-234   3     1-244   3     1-244   2     1-244   5     1-244   5     1-245   5	ジブロモデトラフルオロエタン RS) - O、S - ジメチル=アセチルホスホルアミドチオアート 4、N - ジメチルアセトアミド 3・ジメチルアミレフ・1、2、3 - トリチアン ジメチルアミンー1、2、3 - トリチアン ジメチルアミンフィド 2、2 - ジメチルフ・2、3 - ジセドロー1 - ベンゾフランー7 - イル=N - [N - (2 - エトキシカルボニルエ チル) - N - イソプロピルスルフェナモイル] - N - メチルカルバマート 4、N - ジメチルドデシルアミン 4、N - ジメチルドデシルアミン=N - オキシド ジメチル・ドデシルアミン=N - カキシド ジメチル・デン・ルアミン=N - カキシド ジメチル・2、2、2 - トリウロロー1 - ヒドロキシエチルホスホナート 1、1 - ジメチル・イ - イ - ビビリジニウム=ジクロリド ジメチル・4、4 ' - (オルトーフェニレン)ビス(3 - チオアロファナート) コー(1、3 - ジメチルガチル)- N ' - フェニルー・パラーフェニレンジアミン 4、N - ジメチルホルムアミド 2 - [(ジメトキシホスフィノチオイル)チオ] - 2 - フェニル酢酸エチル 3、5 - ジョード - 4 - オクタノイルオキシベンゾニトリル 株銀及びその化合物 ド素化テルフェニル 青機スズ化合物 スチレン 短レン及びその化合物 デオナキンフ類 2 - テオキソー3、5 - ジメチルテトラヒドロー2H - 1、3、5 - チアジアジン Fオ 尿素	アセフェート テオシクラム  ベンフラカルブ  トリクロルホン又はDEP バラコート又はパラコートジクロリド  テオファネートメチル  フェントエート又はPAP アイオキシニル	
1-212   (1)     1-213   N     1-217   5     1-219   ジ     1-221   2     1-223   N     1-224   N     1-225   ジ     1-227   1     1-227   1     1-229   ジ     1-230   N     1-230   N     1-231   N     1-233   N     1-233   N     1-233   N     1-233   N     1-234   N     1-235   N     1-236   N     1-237   N     1-238   N     1-239   本     1-240   X     1-243   ダ     1-244   1-243   ダ     1-245   デ	ジブロモデトラフルオロエタン RS) - O, S - ジメチル=アセチルホスホルアミドチオアート 4、N - ジメチルアアセトアミド 3 - ジメチルアヌンー1、2、3 - トリチアン ジメチルアミンー1、2、3 - トリチアン ジメチルアミンーフィアン・フィア・フィー・フ・グラフ・フ・イル=Nー[Nー(2ーエトキシカルボニルエ チル) - N - イソブロビルスルフェナモイル] - N - メチルカルバマート 4、N - ジメチルドデシルアミン 3、N - ジメチルドデシルアミン 5・メチルドアジルアミン 5・メチルー2、2、2 - トリクロロー1 - ヒドロキシエチルカルバマート 1、1 * 「・ジメチル・イン・アンシート・フェニレン ビス(3 - チオアロファナート) 1・(1、3 - ジメチルー4、4 * 「ビリジニウム=ジクロリド ジメチル=4、4 * 「イルトーフェニレン)ビス(3 - チオアロファナート) 1・(1、3 - ジメチルブチル)ーN * ー フェニルー・パラーフェニレンジアミン 1、N - ジメチルボスフィノチオイル)チオ] - 2 - フェニル酢酸エチル 3、5 - ジョード・4 - オカタノイルオキシベンゾニトリル K 銀 及びその化合物 K 素化テルフェニル 自機スズ化合物 スチレン セレン及びその化合物 ダイオキシン類 2 - テオアキア・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー・フィー	アセフェート デオシクラム  ベンフラカルブ  トリクロルホン又はDEP バラコート又はパラコートジクロリド  デオファネートメチル  フェントエート又はPAP アイオキシニル  ダゾメット  ダイアジノン	
1-212   (()   1-213   N   1-217   5   1-219   ジ   1-221   2   1-223   N   1-224   N   1-225   ジ   1-229   ジ   1-229   ジ   1-230   N   1-233   2   1-236   3   1-237   ブ   1-239   承   1-239   承   1-240   ズ   1-242   1-243   ブ   1-244   ブ   1-245   ブ   1-249   ブ   1-2	ジブロモデトラフルオロエタン RS) - O、S - ジメチル=アセチルホスホルアミドチオアート 4、N - ジメチルアセトアミド 3・ジメチルアミレフ・1、2、3 - トリチアン ジメチルアミンー1、2、3 - トリチアン ジメチルアミンフィド 2、2 - ジメチルフ・2、3 - ジセドロー1 - ベンゾフランー7 - イル=N - [N - (2 - エトキシカルボニルエ チル) - N - イソプロピルスルフェナモイル] - N - メチルカルバマート 4、N - ジメチルドデシルアミン 4、N - ジメチルドデシルアミン=N - オキシド ジメチル・ドデシルアミン=N - カキシド ジメチル・デン・ルアミン=N - カキシド ジメチル・2、2、2 - トリウロロー1 - ヒドロキシエチルホスホナート 1、1 - ジメチル・イ - イ - ビビリジニウム=ジクロリド ジメチル・4、4 ' - (オルトーフェニレン)ビス(3 - チオアロファナート) コー(1、3 - ジメチルガチル)- N ' - フェニルー・パラーフェニレンジアミン 4、N - ジメチルホルムアミド 2 - [(ジメトキシホスフィノチオイル)チオ] - 2 - フェニル酢酸エチル 3、5 - ジョード - 4 - オクタノイルオキシベンゾニトリル 株銀及びその化合物 ド素化テルフェニル 青機スズ化合物 スチレン 短レン及びその化合物 デオナキンフ類 2 - テオキソー3、5 - ジメチルテトラヒドロー2H - 1、3、5 - チアジアジン Fオ 尿素	アセフェート テオシクラム  ベンフラカルブ  トリクロルホン又はDEP バラコート又はパラコートジクロリド  テオファネートメチル  フェントエート又はPAP アイオキシニル	

19  1		<u>-</u>		
7941				
1839   「外方のビジンと、以上・中心   「デリア・アルー   「デリア・				
18.0			1プロペンホス又はIBP	
1938   1.1 s. 3 r. 7 * 〒975 PP 979 PP 970 2 3 1. 1 (a) 1) 下かって			デカノール	
1939   ドラジェドルデラシムスメアド				
48				
************************************	1-260	テトラクロロイソフタロニトリル	クロロタロニル又はTPN	
793.00 アチラのカロー - イチカル・クリー・ロー・コー・ロー・フロー・コ・コー・リフル・ロー・コー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー	1-261	4, 5, 6, 7ーテトラクロロイソベンゾフランー1(3H)ーオン	フサライド	
2.3 g. 6.1 キャランストロー・キャルペンジョン(ス・フロー・3、3 - トリンストロー 2.3 g. 6.1 キャランストロー・カー 2.3 g. 7 p. 1 ye	1-262			
1 1 1 1 1 1 1 1.				
3.7、0.119ーキシウチル-0.5 11-ウオキサッと 0.14-ウサラア・4.7.9、12-アナラアガリ デブルグス 12-19 12-アナラス 12-19 12-PP	1-266		テフルトリン	
・	1-267	1 - プロペール) - 2, 2 - ジメナルシグロプロバンガルホキシブート   3 7 9 13 - テトラメチル - 5 11 - ジオキサー2 8 14 - トリチアー4 7 9 12 - テトラアザペ	チオジカルブ	
プリアリル語   アレアル語   PVPの	1 207	ンタデカー3, 12ージエンー6, 10ージオン	, ,, , , , , , , ,	
1977   アンタル酸 27 FA			チウラム又はチラム	
2772				
1-175   1-				
1979			ノルフルードデシル マルコール	
1977   1.1   1			7/04/0-1-1/2/07/03-00	
13.1   1-19/901257-1   13.1   1-19/901257-1   13.1   1-19/901257-1   13.1   1-19/901257-1   13.1   1-19/901257-1   13.1   1-19/901257-1   13.1   1-19/901257-1   13.1   1-19/901257-1   13.2   1-19/901257-1   13.3   1-19/901257-1   13.3   1-19/901257-1   13.3   1-19/901257-1   13.3   1-19/901257-1   13.4   1-19/901257-1   13.5   1-19/901257				
1.1、2 = 1				
1938   1978日197JJK 742 259				
1935	1-281	トリクロロエチレン		0
1-280   3.8.6 m-hy/2007 2-e-ビリジルオキン解験	1-284	トリクロロトリフルオロエタン	CFC-113	
1-937   2.4 6-1-1/201271-1-1-1   1-938   1-9301271-1-1-1   1-938   1-9301271-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	1-285			
1-280 1 2.9 ペークリンター	1-286		トリクロピル	
1-289 1.2.3 キーリフロのプロン 1-290 1.2.3 キーリフラルス・ピー 1-290 7.2.7 アンファ アルファ アルファ アルファ アルファ アルファ アルファ アルファ アル				
1-998			CFC-11	
1-928				
1939   1.4 - 1.4   1.5   1				
1-286 1、2、4 ー トリメチルベンセン 1-297 1、3、5 トリメチルベンセン 1-298 1 トリングイグライトト 1-290 トルイン 1-290 トルイン 1-290 トルイン 1-290 トルイン 1-290 トルイン 1-290 トルイン 1-290 日に合物 1-290 日に合物 1-290 トルイン 1-290 日に合物 1-290 トルイン 1-290 日に合物 1-290 トルイン			KUZU.ZU.	
1-298   トリング・ファストー    1-298   トリング・ファストー    1-298   トリング・ファストー    1-290   トリング・ファストー    1-290   トリング・ファストー    1-291   トリング・ファストー    1-292   アング・ロック・ロック・ロック・ロック・ロック・ロック・ロック・ロック・ロック・ロック			1 1212772	
1-289				
1-290				
1-302				0
1-392				Ŭ
1-309   日かか				
1-309	1-304	鉛		0
1-300	1-305	鉛化合物		0
1-310	1-308	ニッケル		
1-1214				0
1-314				
1-318				
1-317   三トウメタン   1-318   三成化素   1-319   1-/ナ/-ル   1-320   / L-/ナ/-ル   1-320   / L-/ナ/-ル   1-320   / L-/ナ/-ル   1-320   / L-/ナ/-ル   1-321   / ナジウム化合物   1-321   / ナジウム化合物   1-323   2 - 4-ピス(エチルアミノ)-6-メチルチオー1、3、5ートリアジン   シメトリン   1-325   ビス(8-キノリプト)級   オキシン網又は有機級   アラム   1-329   ビス(N トージメチルジチオカル/名ン酸)   1-329   ビス(N トージメチルジチオカル/名ン酸)   1-329   ビス(N トージメチルジチオカル/名ン酸)   1-329   ビス(N トージメチルジチオカル/名ン酸)   1-329   ビス(N トージメチルジナオカル/名ン酸)   1-329   ビス(N トージメチルブログ) = 0 - エチル=木スホロジチオアト   1-331   S - ビス(1 - メチルブログ) = 0 - エチル=木スホロジチオアト   1-332   ドラジン   1-338   ビロネン   1-339   ビロネン   1-339   ビロネン   1-339   ビロネン   1-339   ビロネン   1-339   ビロネン   1-339   ビロネン   1-349   ビフェル   1-349   ビロガテール   1-349   エンデル   1-359   フル酸 / ルアループチル   1-359   アー・デール   1-369   アー・デール   1-370   1				
1-318   二元   一元   一元   一元   一元   一元   一元   一元				
1-1920				
1-320				
1-325			ノルマルーノニルアルコール	
1-325	1-319	1ーノナノール	ノルマルーノニルアルコール	
1-329	1-319 1-320	1ー/ナノール ノニルフェノール	ノルマルーノニルアルコール	
1-329   ZA(N, N-ジメチルグラナルハミン機)N、N' エチトンゼス(チオカルバモイルチオ重翰)   ボリカーバメート   1-331   S. E・ビス(1-メードルフロビル) = O - エチル=木木巾ジチオアート   カスサホス   O   1-333   出来放行を無機化名物   O   C   C   C   C   C   C   C   C   C	1-319 1-320 1-321	1-/ナノール /ニルフェノール /パナジウム化合物 2,4-ビス(エチルアミノ)ー6-メチルチオー1,3,5-トリアジン	シメトリン	
1-331	1-319 1-320 1-321 1-323	1-ノナノール ノニルフェノール パナジウム化合物 2、4-ビス(エチルアミノ) -6-メチルチオ-1、3、5-トリアジン ビス(8-キノリノラト)銅	シメトリンオキシン銅又は有機銅	
1-332	1-319 1-320 1-321 1-323 1-325 1-328	1-ノナノール ノニルフェノール パナジウム化合物 2、4-ビス(エチルアミノ) - 6-メチルチオー1、3、5-トリアジン ビス(8-キフリノラト)鋼 ビス(N、N-ジメチルジチオカルバミン酸)亜鉛	シメトリン オキシン銅又は有機銅 ジラム	
1-333	1-319 1-320 1-321 1-323 1-325 1-328 1-329	1-/ナ/ール /ニルフェノール パナジウム化合物 2、4ービス(エチルアミノ)ー6ーメチルチオー1、3、5ートリアジン ビス(8ーキノリ/ラト)銅 ビス(N、Nージメチルジチオカルパミン酸)亜鉛 ビス(N、Nージメチルジチオカルパミン酸)N、N'ーエチレンビス(チオカルパモイルチオ亜鉛)	シメトリン オキシン銅又は有機銅 ジラム ポリカーバメート	
1-336	1-319 1-320 1-321 1-323 1-325 1-328 1-329 1-331	1-ノナノール ノニルフェノール バナジウム化合物 2、4-ビス(エチルアミノ) - 6-メチルチオ-1、3、5-トリアジン ビス(8-キノリノラト)銅 ビス(N、N-ジメチルジテオカルバミン酸) 亜鉛 ビス(N、N-ジメチルジテオカルバミン酸) N、N'-エチレンピス(テオカルバモイルチオ亜鉛) S、S-ビス(1-メチルブロビル)=O-エチル=ホスホロジチオアート	シメトリン オキシン銅又は有機銅 ジラム ポリカーバメート	
1-337	1-319 1-320 1-321 1-323 1-325 1-328 1-329 1-331 1-332	1-ノナノール ノニルフェノール バナジウム化合物  2、4ーピス(エチルアミノ)ー6ーメチルチオー1、3、5ートリアジン ビス(8ーキノリノラト)銅 ビズ(N、Nージメチルジテオカルバミン酸)亜鉛 ビズ(N、Nージメチルジテオカルバミン酸)N、N'ーエチレンビス(チオカルバモイルチオ亜鉛) S、Sービス(1 メチルプロピル)=Oーエチル=ホスホロジチオアート 砒素及びその無機化合物	シメトリン オキシン銅又は有機銅 ジラム ポリカーバメート	0
1-340   ピフェニル   1-341   ピベラジン   1-342   ピバラジン   1-343   ピロカテコール   1-346   2ーフェールフェール   1-347   1-347   1-347   1-348   ピロカテコール   1-346   2ーフェールフェール   1-347   1-348   フェーレマレイミド   1-348   フェーレマレグアミン   1-349   フェーレンジアミン   1-350   フェーレンジアミン   1-350   フェール   1-350   フェーレンジアミン   1-351   1.3 - プラジェン   0   1-355   フラル酸ジスレマループチル   0   1-355   フラル酸ジスレマループチルー   1-356   フラル酸ブスレマループチルース・シンルー   1-356   フラル酸ブスレマループチルカル/モイル)   1-357   2-9->・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1-319 1-320 1-321 1-323 1-325 1-328 1-329 1-331 1-332 1-333	1-ノナノール ノニルフェノール バナジウム化合物 2、4ービス(エチルアミノ) - 6ーメチルチオー1、3、5ートリアジン ビス(8ーキノリノラト) 銅 ビス(N、Nージメチルジチオカルバミン酸) 亜鉛 ビス(N、Nージメチルジチオカルバミン酸) N、N'ーエチレンビス(チオカルバモイルチオ亜鉛) S、Sービス(1ーメチルプロビル) = Oーエチル=ホスホロジチオアート 砒素及びその無機化合物 ヒドラジン	シメトリン オキシン銅又は有機銅 ジラム ポリカーバメート	0
1-342   ビリジン	1-319 1-320 1-321 1-323 1-325 1-328 1-329 1-331 1-332 1-333 1-336	1-ノナノール ノニルフェノール ノニルフェノール ハナジウム化合物 2、4ービス(エチルアミノ)ー6ーメチルチオー1、3、5ートリアジン ビズ(8ーキノリノラト)・銅 ビズ(N、Nージメチルジテオカルバミン酸)・亜鉛 ビズ(N、Nージメチルジテオカルバミン酸)・亜鉛 ビズ(N、Nージメチルジテオカルバミン酸)・N、N'ーエチレンビス(テオカルバモイルチオ亜鉛) S、S・デス(1ーメチルプロビル)=Oーエチル=ホスホロジチオアート 砒素及びその無機化合物 ヒドラジン ヒドロキノン	シメトリン オキシン銅又は有機銅 ジラム ポリカーバメート	0
1-343   ビロカテュール   カテュール   カテュール   カテュール   1-346   2ーフェニルフェ/ール   1-347   Nーフェニルマレイミド   1-348   フェレンジアミン   1-348   フェレンジアミン   1-349   フェレル   1-350   3ーフェトキシベンジル=3ー(2,2ージクロロビニル)ー2,2ージメチルシクロプロパンカルボキシ   ブルール   7-351   1、3ーブがジェン   0   1・354   フタル酸ジー/ルマルーブチル   1・355   フタル酸ジー/ルマルーブチル   1・355   フタル酸ジー/ルマルーブチル   1・355   フタル酸ジー/ルマルーブチル   1・356   フタル酸ジー/ルマルーブチルース・ジルー   1・357   2・ターシャリーブチルペングイル)ー3、5ージメチルベングヒドラジド   ファン・サーブチルス・バース・ア・ファン・ジン・4・オン   1・360   Nー(1ー(Nー/ルマルーブチルカル/年イル)ー1Hー2ーペングイ表がゾリルカル/全スが   バスル	1-319 1-320 1-321 1-323 1-325 1-328 1-329 1-331 1-332 1-333 1-336 1-337	1-ノナノール ノニルフェノール バナジウム化合物 2、4ービス(エチルアミノ) - 6ーメチルチオー1、3、5ートリアジン ビス(8ーキノリノラト) 銅 ビス(N、Nージメチルジチオカルバミン酸) 亜鉛 ビス(N、Nージメチルジチオカルバミン酸) N、N' - エチレンピス(チオカルバモイルチオ亜鉛) S、S・ビス(1・メチルブロビル) = 0 - エチル=ホスホロジチオアート 砒素及びその無機化合物 ヒドラジン ヒドロキノン 4ービニルー1・シクロヘキセン	シメトリン オキシン銅又は有機銅 ジラム ポリカーバメート	0
1-346   2 - フェニルフェノール   1-347   N - フェニルマレイミド   1-348   フェーレンデアミン   1-349   フェール   1-347   N - フェニルマレイミド   1-349   フェール   1-350   3 - フェノキシベンジル=3 - (2, 2 - ジクロロビニル) - 2, 2 - ジメチルシクロプロパンカルボキシ   ベルメトリン   1-351   1, 3 - ブタジエン   0   1-355   79ル酸ビス(2 - エチル・キンル)   1-355   79ル酸ビス(2 - エチル・キンル)   1-356   フタル酸・ファル・ブチル・ス・ジルー   1-357   2 - ダー・ヤリーブチル・ス・ジル・ス・ジェル・ファル・ブチル・ス・ジェル・ファル・ブラル・ス・ジェル・ファル・ブラル・ス・ジェル・ファル・ブラル・ス・ジェル・ファル・ファル・ファル・ファル・ファル・ファル・ファル・ファル・ファル・ファ	1-319 1-320 1-321 1-323 1-325 1-328 1-329 1-331 1-332 1-333 1-336 1-337 1-340	1-ノナノール ノニルフェノール ノニルフェノール ハナジウム化合物  2、4ービス(エチルアミノ)-6ーメチルチオー1、3、5ートリアジン ビス(8ーキノリノラト) 銅 ビズ(N、Nージメチルジチオカルバミン酸) 亜鉛 ビズ(N、Nージメチルジチオカルバミン酸)N、N'ーエチレンビス(チオカルバモイルチオ亜鉛) S、Sービス(1・メチルブロビル)=Oーエチル=ホスホロジチオアート 砒素及びその無機化合物 ヒドラジン ヒドロキノン 4ーピニルー1ーシクロヘキセン ビフェニル	シメトリン オキシン銅又は有機銅 ジラム ポリカーバメート	0
1-347	1-319 1-320 1-321 1-323 1-325 1-328 1-329 1-331 1-332 1-333 1-336 1-337 1-340 1-341	1-ノナノール ノニルフェノール ノニルフェノール ハナジウム化合物 2、4ービス(エチルアミノ) - 6ーメチルチオ-1、3、5ートリアジン ビス(8ーキノリノラト)鋼 ビス(N、Nージメチルジテオカルバミン酸) 亜鉛 ビス(N、Nージメチルジテオカルバミン酸) 亜鉛 ビス(N、Nージメチルジテオカルバミン酸) N、N'ーエチレンビス(チオカルバモイルチオ亜鉛) S、Sービス(1ーメチルプロビル) = Oーエチル=ホスホロジチオアート 砒素及びその無機化合物 ヒドラジン ヒドロキノン 4ービニルー1ーシクロヘキセン ビフェニル ビペラジン ピリジン	シメトリン オキシン銅又は有機銅 ジラム ポリカーパメート カズサホス	0
1-348   フェーレンジアミン   1-349   フェール   1-350   3 - フェノキンペンジル=3 - (2, 2 - ジクロロビニル) - 2, 2 - ジメチルシクロプロパンカルボキシ   ベルメトリン   ファル   1-351   1, 3 - ブタジエン	1-319 1-320 1-321 1-323 1-325 1-328 1-329 1-331 1-332 1-333 1-336 1-337 1-340 1-341 1-342 1-343	1-ノナノール /ニルフェノール /ニルフェノール /ニルフェノール パナジウム化合物  2. 4ービス(エチルアミノ) - 6ーメチルチオー1, 3, 5ートリアジン ビス(8ーキノリノラト) 銅 ビス(N, Nージメチルジチオカルバミン酸) 亜鉛 ビス(N, Nージメチルジチオカルバミン酸) N, N'ーエチレンピス(チオカルバモイルチオ亜鉛) S, Sービス(1ーメチルブロビル) = Oーエチル=ホスホロジチオアート 砒素及びその無機化合物 ヒドラジン ヒドロキノン 4ービニルー1ーシクロヘキセン ビフェニル ピペラジン ピリジン ピロカテコール	シメトリン オキシン銅又は有機銅 ジラム ポリカーパメート カズサホス	0
1-349	1-319 1-320 1-321 1-323 1-325 1-328 1-329 1-339 1-331 1-332 1-336 1-340 1-341 1-342 1-346	1-ノナノール ノニルフェノール ノニルフェノール ノニルフェノール ハナジウム化合物  2、4ーピス(エチルアミノ) - 6ーメチルチオー1、3、5ートリアジン ピス(8ーキノリノラト) 銅 ピズ(N、Nージメチルジチオカルバミン酸) 亜鉛 ピズ(N、Nージメチルジチオカルバミン酸) N、N'ーエチレンピス(チオカルバモイルチオ亜鉛) S、Sーピズ(1ーメチルブロピル) = Oーエチル=ホスホロジチオアート 砒素及びその無機化合物 ヒドラジン ヒドロキノン 4ーピニルー1ーシクロヘキセン ピフェニル ピペラジン ピロカテコール 2ーフェニルフェノール	シメトリン オキシン銅又は有機銅 ジラム ポリカーパメート カズサホス	0
1-350   3-フェノキシベンジル=3-(2, 2-ジクロロビニル) - 2, 2-ジメチルシクロプロパンカルボキシ   ペルメトリン   ラート   1-351   1, 3-ブタジエン   ○   1-354   フタル酸ジーノルマルーブチル   ○   フタル酸ピス(2-エチルヘキシル)   ○   1-355   フタル酸ピス(2-エチルヘキシル)   ○   1-356   フタル酸ピス(2-エチルヘキシル)   ○   1-357   2-ターシャリーブチル=ベンジル   ○   1-358   N-ターシャリーブチルーN' - (4-エチルベンゾイル) - 3, 5-ジメチルベンゾヒドラジド   テブフェジン   ジン-4-オン   ○   1-361   ブチル=(R) - 2-[4-(4-ンアノー2-アンノイミダゾリル)カルバミン酸メチル   ベスル   1-361   ブチル=(R) - 2-[4-(4-ンアノー2-アノオロアエノキシフェエル)チオ尿素   ジアフェンチウロン   1-362   1-ターシャリーブチルー3-(2, 4-ジクロー4-アンノイニアンコル)チオ家素   ジアフェンチウロン   1-369   2-(4-ターシャリーブチルコー(2, 4-ジクロー5-イソブロボキシフェニル) - 1, 3, 4-オキサジア   ブロバルギット又はBPPS   1-374   ふっ化水素及びその水溶性塩   □   2-ブテナール   □   1-375   2-ブテナール   □   1-376   Nーブトキシメチルー2-クロロー2'、6'ージエチルアセトアニリド   ブロドラロンフルオロメタン   1-380   ブロモシウロスタン   ブロモシウロスタン   バロン-1211   1-381   ブロモジウロスタン   バロン-1301   ブロモジウロスタン   バロン-1301   1-382   ブロモリブルオロメタン   バロン-1301   ブロモジフロペン   1-384   1-ブロモブロバン   1-385   2-ブロモブロバン   2-ブロモブロバン   2-ブロモブロバン   1-386   ブロモメタン   0-Nーサーブ・ファース・ア・ア・ファース・ア・ア・ファース・ア・ア・ファース・ア・ア・ファース・ア・ファース・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア	1-319 1-320 1-321 1-323 1-325 1-328 1-329 1-339 1-331 1-332 1-333 1-336 1-337 1-340 1-341 1-342 1-343 1-343 1-343	1-ノナノール ノニルフェノール ノニルフェノール ノニルフェノール ハナジウム 化合物  2、4 ービス (エチルアミノ) - 6 - メチルチオ - 1、3、5 - トリアジン ビス (8 - キノリノラト) 銅 ビス (N、N ージメチルジチオカルバミン酸) 亜鉛 ビス (N、N ージメチルジチオカルバミン酸) N、N' - エチレンビス (チオカルバモイルチオ亜鉛) S、S ービス (1 - メチルブロビル) = O - エチル=ホスホロジチオアート 砒素及びその無機化合物 ヒドラジン ヒドロキノン 4 - ビニル - 1 - シクロヘキセン ビフェニル ビペラジン ピリジン ヒロカテコール 2 - フェニルフェノール N - フェニルマレイミド	シメトリン オキシン銅又は有機銅 ジラム ポリカーパメート カズサホス	0
フート	1-319 1-320 1-321 1-321 1-323 1-325 1-328 1-329 1-331 1-332 1-333 1-337 1-340 1-341 1-342 1-343 1-346 1-347 1-348	1-ノナノール ノニルフェノール ノニルフェノール ハナジウム化合物 2、4ービス(エチルアミノ) - 6ーメチルチオー1、3、5ートリアジン ビス(8ーキノリノラト)鋼 ビス(N、Nージメチルジテオカルバミン酸) 亜鉛 ビス(N、Nージメチルジテオカルバミン酸) N、N'ーエチレンピス(テオカルバモイルチオ亜鉛) S、S・ビス(1ーメチルブロピル) = Oーエチル=ホスホロジチオアート 砒素及びその無機化合物 ヒドラジン ヒドラジン ヒドコナン 4ーピニルー1ーシクロヘキセン ビフェニル ビペラジン ビリジン ビリジン ビロカテコール 2ーフェニルマレイミド フェニルマレイミド フェニルマレイミド フェニルマレイミド	シメトリン オキシン銅又は有機銅 ジラム ポリカーパメート カズサホス	0
1-351   1, 3-ブタジエン	1-319 1-320 1-321 1-323 1-325 1-328 1-329 1-331 1-332 1-333 1-333 1-333 1-337 1-340 1-341 1-344 1-344 1-345	1-ノナノール /ニルフェノール /ニルフェノール /ニルフェノール /ニルフェノール /ニルフェノール パナジウム化合物  2、4 ーピス(エチルアミノ) - 6 ーメチルチオ - 1、3、5 ートリアジン ピス(8 ーキノリノラト) 銅 ピス(N、Nージメチルジチオカルバミン酸) 亜鉛 ピス(N、Nージメチルジチオカルバミン酸) N、N' ーエチレンピス(チオカルバモイルチオ亜鉛) S、Sーピス(1 ーメチルブロピル) = 0 ーエチル=ホスホロジチオアート 砒素及びその無機化合物 ヒドラジン ヒドロキノン 4 ーピニルー 1 ーシクロヘキセン ピフェニル ピペラジン ピリジン ピロカテコール 2 ーフェニルフェノール Nーフェニルマレイミド フェニレンジアミン フェノール	シメトリン オキシン銅又は有機銅 ジラム ポリカーパメート カズサホス	0
-355   フタル酸ピス(2ーエチルヘキシル)   1-356   フタル酸アルマループチル=ベンジル   1-357   2-ターシャリープチルマループ・   1-357   2・ターシャリープチルーバー   1-357   2・ターシャリープチルーバー   1-357   2・ターシャリープチルーバー   1-358   NーターシャリープチルーN'ー (4ーエチルベンゾイル)ー3、5ージメチルベンゾドドラジド   デプェノジド   1-358   NーターシャリープチルーN'ー (4ーエチルベンゾイル)ー3、5ージメチルベンゾドドラジド   デフェノジド   1-361   ブチル=(R)ー2ー[4ー(4ーシアノー2ーフルオロフェノキシ)フェノキシ]プロピオナート   2・ハロホップブチル   1-362   1-ターシャリーブチルー3ー(2、6ージイソプロピルー4ーフェノキシフェニル)チオ尿素   ジアフェンチウロン   1-369   2・ターシャリーブチルー3ー(2、4ージクロロー5ーイソプロポキシフェニル)ー1、3、4ーオキサジア   オキサジアゾン	1-319 1-320 1-321 1-323 1-325 1-328 1-329 1-331 1-332 1-333 1-333 1-333 1-337 1-340 1-341 1-344 1-344 1-345	1ーノナノール ノニルフェノール ノニルフェノール ハナジウム化合物 2、4ーピス(エチルアミノ)ー6ーメチルチオー1、3、5ートリアジン ピス(8ーキノリノラト)銅 ピス(N、Nージメチルジチオカルバミン酸)亜鉛 ピス(N、Nージメチルジチオカルバミン酸)N、N'ーエチレンピス(チオカルバモイルチオ亜鉛) S、S・ピス(1ーメチルブロピル)=O・エチル=ホスホロジチオアート 砒素及びその無機化合物 ヒドラジン ヒドラジン セドラシン セニルー1ーシクロヘキセン ピフェニル ピペラジン ピリジン ピロカテコール Nーフェニルフェノール Nーフェニルマレイに アコニール スープエールマレイミド フェニレンジアミン フェノール 3ーフェノトル 4ーピース・ロージャミル・ロージ・ロージ・ロージ・ロージ・ロージ・ロージ・ロージ・ロージ・ロージ・ロージ	シメトリン オキシン銅又は有機銅 ジラム ポリカーパメート カズサホス	0
1-356   フタル酸ノルマルーブチル=ベンジル   1-357   2-ターシャリーブチルイミノー3ーイソブロビルー5ーフェニルテトラヒドロー4Hー1, 3, 5ーチアジア   ブブロフェジン   1-358   Nーターシャリーブチルイミノー3ーイソブロビルー5ーフェニルテトラヒドロー4Hー1, 3, 5ーチアジア   ブブロフェジン   1-358   Nーターシャリーブチルカルバモイル) ー 1Hー2ーペンゾイミダゾリルJカルバミン酸メチル   ベラル	1-319 1-320 1-321 1-323 1-325 1-328 1-329 1-331 1-332 1-333 1-333 1-333 1-334 1-346 1-341 1-344 1-345 1-349 1-349 1-349	1-ノナノール /ニルフェノール /ニルフェノール /ニルフェノール /ニルフェノール /ニルフェノール パナジウム化合物 2、4 ーピス(エチルアミノ) - 6 ーメチルチオ - 1、3、5 ートリアジン ピス(8 ーキノリノラト) 銅 ピス(N、Nージメチルジチオカルバミン酸) 亜鉛 ピズ(N、Nージメチルジチオカルバミン酸) N、N' ーエチレンピス(チオカルバモイルチオ亜鉛) S、S・ピス(1 ーメチルブロピル) = 0 ー エチル=ホスホロジチオアート 砒素及びその無機化合物 ヒドラジン ヒドロキノン 4 ーピニルー 1 ーシクロヘキセン ピフェニル ピペラジン ピリジン ピロカテコール 2 ー フェニルフェノール Nーフェニルマレイミド フェニルフェノール Nーフェニルマレイミド フェニルフェノール 3 ー フェニルフェノール 3 ー フェノキシベンジル=3 ー (2、2 ー ジクロロピニル) ー 2、2 ー ジメチルシクロプロバンカルボキシラート 1、3 ー ブタジエン	シメトリン オキシン銅又は有機銅 ジラム ポリカーパメート カズサホス	
-357	1-319 1-320 1-321 1-323 1-325 1-328 1-329 1-331 1-332 1-333 1-336 1-337 1-340 1-341 1-342 1-346 1-347 1-348 1-346 1-347 1-348 1-350	1ーノナノール ノニルフェノール ノニルフェノール ノニルフェノール ハナジウム化合物  2、4ービス(エチルアミノ)ー6ーメチルチオー1、3、5ーリアジン ビズ(8ーキノリノラト)銅 ビズ(N、Nージメチルジテオカルバミン酸)亜鉛 ビズ(N、Nージメチルジテオカルバミン酸)・亜鉛 ビズ(N、Nージメチルジテオカルバミン酸)・N、N'ーエチレンビス(チオカルバモイルチオ亜鉛) S、S・ビス(1ーメチルプロピル)=Oーエチル=ホスホロジチオアート 砒素及びその無機化合物 ヒドラジン ヒドロキノン 4ービニルー1ーシクロヘキセン ビフェニル ビベスラン ピリジン ピロカテコール 2ーフェニルフレイミド フェニルフレイミド フェニルフレイミド フェニルフレイミド フェニルフレイシアミン フェノトル 3ーフェノキシベンジル=3ー(2、2ージクロロビニル)ー2、2ージメチルシクロプロパンカルボキシラート 1、3ーブタジエン フタル酸ジーノルマルーブチル	シメトリン オキシン銅又は有機銅 ジラム ポリカーパメート カズサホス	
ジン-4-オン	1-319 1-320 1-321 1-323 1-325 1-328 1-328 1-331 1-332 1-333 1-336 1-337 1-340 1-341 1-342 1-344 1-344 1-345 1-345 1-345 1-345 1-347 1-348 1-349 1-355	1-ノナノール ノニルフェノール ノニルフェノール ハナジウム化合物 2、4ービス(エチルアミノ)ー6ーメチルチオー1、3、5ートリアジン ビス(8ーキノリノラト)鋼 ビス(N、Nージメチルジテオカルバミン酸)亜鉛 ビス(N、Nージメチルジテオカルバミン酸)・亜鉛 ビス(N、Nージメチルジテオカルバミン酸)・N、N'ーエチレンビス(チオカルバモイルチオ亜鉛) S、S・ビス(1ーメチルブロビル)=O・エチル=ホスホロジチオアート 砒素及びその無機化合物 ヒドラジン ヒドロキノン 4ービニルー1ーシクロヘキセン ビフェニル ビペラジン ビリジン ビロカテコール 2ーフェニルマレイミド フェニルマレイミド フェニレンジアミン フェノール Nーフェニルマレイミド フェニレンジアミン フェノール 3ーフェノキシベンジル=3ー(2、2ージクロロビニル)ー2、2ージメチルシクロブロバンカルボキシラート 1、3ーブタジエン フタル酸ビス(2ーエチルヘキシル)	シメトリン オキシン銅又は有機銅 ジラム ポリカーパメート カズサホス	
1-358   N-ターン・バーブチルーN' - (4-エチルベンゾイル) - 3, 5-ジメチルベンゾ上ドラジド   テブフェノジド   1-360   N-[1-(N-ノルマループチルカルバモイル) - 1H-2ーベンゾイミダゾリル]カルバミン酸メチル   ベ/ミル   1-361   ブチル=(R) - 2 - [4-(4-シアノ-2ーフルオロフェノキシ)フェノキシ]プロピオート   シハロホップブチル   1-362   1-ターシャリーブチルカル・バモル   1-362   1-ターシャリーブチルー3 - (2, 6-ジイソプロピルー4ーフェノキシフェニル)チオ尿素   ジアフェンチウロン   1-363   5-ターシャリーブチルー3 - (2, 4-ジクロロー5ーイソプロポキシフェニル)ー1, 3, 4ーオキサジア   オキサジアソン   ゾールー2(3H) - オン   ブールー2(3H) - オン   ブロベルギット又はBPPS   1-374   ふっ化水素及びその水溶性塩   ブロイナーターロー2', 6'ージエチルアセトアニリド   ブタクロール   1-376   N-ブトキシメチルー2ークロロー2', 6'ージエチルアセトアニリド   ブタクロール   ブロビオブ   1-380   ブロモクロロジフルオロメタン   バロンー1211   1-381   ブロモジクロロメタン   バロンー1211   1-381   ブロモジクロロメタン   バロンー1301   1-382   ブロモリフルオロメタン   バロンー1301   ブロモジカロバシ   1-384   1-ブロモプロバン   0   1-385   2-ブロモブロバン   Q   Q   Q   Q   Q   Q   Q   Q   Q	1-319 1-320 1-321 1-321 1-323 1-325 1-328 1-328 1-332 1-333 1-332 1-333 1-334 1-340 1-341 1-342 1-343 1-346 1-347 1-349 1-350 1-351 1-356	1-ノナノール ノニルフェノール ノニルフェノール ノニルフェノール ハナジウム化合物 2、4 ーピス(エチルアミノ) - 6 ーメチルチオー1、3、5 ートリアジン ピス(8 ーキノリノラト) 銅 ピス(N、Nージメチルジチオカルバミン酸) 亜鉛 ピス(N、Nージメチルジチオカルバミン酸) N、N'ーエチレンピス(チオカルバモイルチオ亜鉛) S、S ーピス(1 ーメチルブロピル) = 0 ー エチル=ホスホロジチオアート 砒素及びその無機化合物 ヒドラジン ヒドロキノン 4 ーピニルー1 ーシケロヘキセン ピフェニル ピペラジン ピリジン ピロカテコール 2 ー フェニルフェノール Nーフェニルマレイミド フェニレンジアミン フェノール 3 ー フェニルマングアミン フェノール 1、3 ー ブタジエン フタル酸ジーノルマルーブチル フタル酸・フィルーブチル フタル酸・フィルーブチルーラルト フタル酸・フィルーブチルーマンジル	シメトリン オキシン銅又は有機銅 ジラム ボリカーパメート カズサホス カテコール	
1-360   N-[1-(N-)ルマルーブチルカルパモイル)-1H-2-ベンゾイミダゾリル]カルパミン酸メチル   ベノミル   1-361   ブチル=(R)-2-(14-(4-シアノ-2-ブルオロフェノキシ)プロピオナート   シハロホップブチル   1-362   1-ターシャリーブチルー3-(2, 6ージイソプロピルー4ーフェノキシフェニル)チオ尿素   ジアフェンチウロン   1-363   ブールー2(3H)-オン   1-369   2-(4-ターシャリーブチルフェノキシ)シクロヘキシル=2ープロピニル=スルフィット   ブロパルギット又はBPPS   1-374   ふっ化水素及びその水溶性塩   ジアフェンル)・カール   ブロペルギットスはBPPS   1-375   2ーブテナール   ブロペルギットンード・ファール   ブロペルギットンード・ファール   ブロペルギットスはBPPS   1-376   Nーブトキシメチルー2ークロロー2', 6'ージェチルアセトアニリド   ブタクロール   ブロピンとどス(ジチオカルバミン酸)と亜鉛の重合物   ブロピカー ブロピカブ   ブロモクロロジフルオロメタン   バロンー1211   1-381   ブロモジクロロメタン   バロンー1211   1-383   ブロモリフルオロメタン   バロンー1301   ブロマシル   ブロマシル   ブロマシル   ブロマシル   ブロマシル   ブロマシル   ブロマシル   ブロマシル   ブロマシル   ブロモグロパシ   1-384   1ーブロモブロパン   0   1-385   2ープロモブロパン   0   1-386   ブロモメタン   泉化メチル   0   0   0   0   0   0   0   0   0	1-319 1-320 1-321 1-321 1-323 1-325 1-328 1-328 1-332 1-333 1-332 1-333 1-334 1-340 1-341 1-342 1-343 1-346 1-347 1-349 1-350 1-351 1-356	1-ノナノール /ニルフェノール /ニルフェノール /ニルフェノール /ニルフェノール /ニルフェノール /ニルフェノール 2、4ーピス(エチルアミノ)ー6ーメチルチオー1、3、5ートリアジン ピス(8ーキノリノラト)鎖 ピズ(N、Nージメチルジチオカルバミン酸) 亜鉛 ピズ(N、Nージメチルジチオカルバミン酸) N、N'ーエチレンピス(チオカルバモイルチオ亜鉛) S、Sーピス(1ーメチルプロピル)=Oーエチル=ホスホロジチオアート 砒素及びその無機化合物 ヒドラジン ヒドロキノン 4ーピニルー1ーシクロヘキセン ピフェニル ピペラジン ピロカテコール 2ーフェニルフェノール Nーフェニルマレイミド フェニレンジアミン フェノール 3ーフェニルマレイミド フェノール 3ーフェニルマレイミド フェノール 3ーフェノキシベンジル=3ー(2、2ージクロロピニル)ー2、2ージメチルシクロブロバンカルボキシラート 1、3ーブタジエン フタル酸ご・ノルマルーブチル フタル酸ビス(2ーエチルヘキシル) フタル酸ブルマルーブチル=ペンジル 2ーターシャリーブチルにメー3ーイソブロピルー5ーフェニルテトラヒドロー4Hー1、3、5ーチアジア	シメトリン オキシン銅又は有機銅 ジラム ボリカーパメート カズサホス カテコール	
1-361   ブチル=(R) - 2 - [4 - (4 - シアノ-2 - フルオロフェノキシ)フェノキシ]プロピオナート	1-319 1-320 1-321 1-323 1-325 1-328 1-328 1-329 1-331 1-332 1-333 1-332 1-333 1-334 1-340 1-341 1-344 1-344 1-345 1-345 1-345 1-355 1-356 1-357	1-ノナノール /ニルフェノール /ニルフェノール /ニルフェノール /ニルフェノール パナジウム化合物 2、4ーピス(エチルアミノ)ー6ーメチルチオー1、3、5ートリアジン ピス(8ーキノリノラト)鋼 ピス(N、Nージメチルジチオカルバミン酸)亜鉛 ピス(N、Nージメチルジチオカルバミン酸))亜鉛 ヒズ(N、Nージメチルジチオカルバミン酸)、N、N'ーエチレンピス(チオカルバモイルチオ亜鉛) S、Sーピス(1ーメチルブロピル)=Oーエチル=ホスホロジチオアート 砒素及びその無機化合物 ヒドラジン ヒドロキノン 4ーピニルー1ーシクロヘキセン ピフェニル ピニルー1ーシクロヘキセン ピフェニル ピスラジン ピリジン ヒロカテコール Nーフェニルマレイミド フェニルマレイミド フェニレンジアミン フェノール Nーフェニルマレイミド フェニレンジアミン フェノール 3ーフェノキシベンジル=3ー(2、2ージクロロビニル)ー2、2ージメチルシクロプロパンカルボキシラート 1、3ーブタジエン フタル酸ご・ノルマルーブチル フタル酸ご、ノルマルーブチル フタル酸ご、ノルマルーブチルースシジル 2ーターシャリーブチルミノー3ーイソブロピルー5ーフェニルテトラヒドロー4Hー1、3、5ーチアジア ジンー4ーオン	シメトリン オキシン飼又は有機飼 ジラム ポリカーパメート カズサホス カテコール ベルメトリン	
1-363   5-ターシャリーブチルー3-(2, 4-ジクロロー5-イソプロポキシフェニル)ー1, 3, 4-オキサジア   オキサジアゾン   ゾールー2(3H)ーオン   1-369   2-(4-ターシャリーブチルフェノキシ)シクロヘキシル=2ープロピニル=スルフィット   ブロパルギット又はBPPS   1-374   ふっ化水素及びその水溶性塩	1-319 1-320 1-321 1-323 1-325 1-328 1-328 1-331 1-332 1-336 1-337 1-340 1-341 1-342 1-344 1-344 1-345 1-345 1-355 1-356 1-356 1-356 1-356 1-356	1-ノナノール /ニルフェノール /ニルフェノール /ニルフェノール /ニルフェノール /ニルフェノール /ニルフェノール パナジウム化合物 2、4 ーピス(エチルアミノ) - 6 ーメチルチオー1、3、5 ートリアジン ピス(8 ーキノリノラト) 銅 ピス(N、Nージメチルジチオカルバミン酸) 亜鉛 ピス(N、Nージメチルジチオカルバミン酸) N、N' ーエチレンピス(チオカルバモイルチオ亜鉛) S、Sーピス(1 ーメチルブロピル) = 0 ー エチル=ホスホロジチオアート 砒素及びその無機化合物 ヒドラジン ヒドロキノン 4 ーピニルー1 ーシクロヘキセン ピフェニル ピペラジン ピリジン ピロカテコール 2 ー フェニルフェノール Nーフェニルマレイミド フェニレンジアミン フェノール 3 ー フェニルマンイール 3 ー フェニルマングアミン フェノール 3 ー フェニルマングアミン フェノトル フタル酸ピス(2 ー エチルヘキシル) フタル酸ピス(2 ー エチルヘキシル) フタル酸ピス(2 ー エチルヘキシル) フタル酸ピス(2 ー エチルヘキシル) フタル酸パルマルーブチルースシンル 2 - ター・シャリーブチルースシット Nーター・シャリーブチルース'・フィーオン ジン-4 ーオン Nーター・シャリーブチルーN' ー (4 ー エチルペンゾイル) - 3、5 ージメチルベンゾヒドラジド	シメトリン オキシン銅又は有機銅 ジラム ポリカーパメート カズサホス カテコール ベルメトリン ブブロフェジン テブフェノジド	
ゾールー2(3H)ーオン	1-319 1-320 1-321 1-323 1-325 1-328 1-328 1-331 1-332 1-336 1-337 1-340 1-341 1-342 1-344 1-344 1-345 1-345 1-355 1-356 1-356 1-356 1-356 1-356	1-ノナノール ノニルフェノール ノニルフェノール ノニルフェノール ノニルフェノール ハナジウム 化合物 2、4 ービス (エチルアミノ) - 6 ーメチルチオー1、3、5 ートリアジン ビス(8 ーキノリノラト) 銅 ビス(N、Nージメチルジチオカルバミン酸) 亜鉛 ビス(N、Nージメチルジチオカルバミン酸) 亜鉛 ビス(N、Nージメチルジテオカルバミン酸) N、N'ーエチレンビス(チオカルバモイルチオ亜鉛) S、S・ビス(1 ーメチルブロビル) = 0 ーエチル=ホスホロジチオアート 砒素及びその無機化合物 ヒドラジン ヒドロキノン 4 ービニルー1 ーシクロヘキセン ビフェニル セペラジン ビリジン ヒロカテコール Nーフェニルマレイミド フェニルマレイミド フェニレンジアミン フェノール 3 ーフェノキシベンジル=3 ー (2、2 ージクロロビニル) ー 2、2 ージメチルシクロブロバンカルボキシラート 1、3 ーブダジエン フタル酸ノルマルーブチル フタル酸ノルマルーブチルースラル カータル酸ノルマルーブチルースシル フタル酸ノルマルーブチルースシンル 2 ー ターシャリーブチルイミングル Nーターシャリーブチルイミング・1Hー2 ーペンゾイミゲゾルリカルバミト酸メチル ブチル=(R) - 2 ー [4 ー (4 ー シアノー 2 ー フェノキシ) フェノキシが	シメトリン オキシン銅又は有機銅 ジラム ポリカーバメート カズサホス カテコール  ベルメトリン  ブプロフェジン  デブフェノジド ベノミル シハロホップブチル	
1-389   2-(4-ターシャリーブチルフェノキシ)シクロヘキシル=2ープロピニル=スルフィット   プロパルギット又はBPPS   1-374   ふっ化水素及びその水溶性塩	1-319 1-320 1-321 1-323 1-325 1-328 1-328 1-329 1-331 1-332 1-333 1-332 1-333 1-334 1-341 1-344 1-344 1-345 1-345 1-356 1-357 1-356 1-357 1-358 1-356 1-361 1-362	1ーノナノール ノニルフェノール ノニルフェノール ノニルフェノール ハナジウム化合物 2、4ーピス(エチルアミノ)ー6ーメチルチオー1、3、5ートリアジン ピス(8ーキノリノラト)銅 ピス(N、Nージメチルジチオカルバミン酸)亜鉛 ピス(N、Nージメチルジチオカルバミン酸)外、N'ーエチレンピス(チオカルバモイルチオ亜鉛) S、S・ピス(1ーメチルブロピル)=O・エチル=ホスホロジチオアート 砒素及びその無機化合物 ヒドラジン ヒドロキノン 4ーピニルー1ーシクロヘキセン ピフェニル ピベラジン ピリジン ピロカテコール 2ーフェニルフェノール Nーフェニルマレイにド フェニレンジアミン フェノール 3ーフェノキシベンジル=3ー(2、2ージクロロピニル)ー2、2ージメチルシクロプロパンカルボキシラー 1、3ープタジエン フタル酸ジーノルマルーブチル フタル酸ジーノルマルーブチル フタル酸ノルマルーブチル フタル酸ノルマルーブチル ストのトのビス(2・エチルヘキンル) フタル酸ノルマルーブチルキシル) フタル酸ノルマルーブチルキシル) フタル酸ノルマルーブチルキシル Nーターシャリーブチルイン(4・エチルベンゾイル)ー3、5ーデメチルベンゾヒドラジド Nー[1ー(Nーノルマルーブチルト)・(4・エチルベンゾイル)ー3、5ージメチルベンゾヒドラジド Nー[1ー(Nーノルマルーブチルカルバモイル)・1Hロ-2ーベンゾイミダゾリル コルバミン酸メチル ブチル=(R)ー2ー[4ー(4ーシアノー2ーフルオロアノキシフェノキシブコエル・チオ尿素	シメトリン オキシン銅又は有機銅 ジラム ポリカーバメート カズサホス カテコール ペルメトリン ブブロフェジン テブフェノジド ベノミル シハロホップブチル ジアフェンチウロン	
1-374   ふっ化水素及びその水溶性塩   1-375   2 ープテナール   79タロール   79タロール   79タロール   70円と	1-319 1-320 1-321 1-323 1-325 1-328 1-328 1-329 1-331 1-332 1-333 1-332 1-333 1-334 1-341 1-344 1-344 1-345 1-345 1-356 1-357 1-356 1-357 1-358 1-356 1-361 1-362	1-ノナノール /ニルフェノール /ニルフェノール /ニルフェノール /ニルフェノール /ニルフェノール /ニルフェノール /デジウム化合物 2、4 ーピス(エチルアミノ) - 6 ーメチルチオー1、3、5 ートリアジン ピス(8 ーキノリノラト) 銅 ピス(N、Nージメチルジチオカルバミン酸) 亜鉛 ピズ(N、Nージメチルジチオカルバミン酸) N、N'ーエチレンピス(チオカルバモイルチオ亜鉛) S、Sーピス(1 ーメチルブロピル) = 0 ー エチル=ホスホロジチオアート 砒素及びその無機化合物 ヒドラジン ヒドロキノン 4 ーピニルー1ーシクロヘキセン ピフェニル ピペラジン ピリジン ピロカテコール 2 ー フェニルフェノール Nーフェニルマェノール Nーフェニルマレイミド フェニレンジアミン フェノール 3 ー フェニルマンジアミン フェノール 1、3 ー ブタジエン フタル酸ピス(2 ーエチル・キンル) フタル酸ピス(2 ーエチル・キンル) フタル酸ピス(2 ーエチル・キンル) フタル酸ピス(2 ーエチル・キンル) フタル酸ピス(2 ーエチル・ス・ジル 2 ー チャリーブチル=ス・ジー・インブロピルー5 ーフェニルテトラヒドロー4Hー1、3、5 ーチアジアジン 4 ー オン NーターンャリーブチルーN'ー (4 ーエチルペンゾイル) - 3、5 ージメチルベンゾヒドラジド Nー[1 ー (Nーノルマルーブチルカルバモイル) ー 1 Hー2 ーペンゾイミが ブリル ブカル (3・4 ーキン) アート (1 ー (Nーノルマルーブチルカルバモイル) ー 1 Hー2 ーペンゾイミが ブリル ブカル (3・4 ーキー) ブチルー(R) - 2 「チルー3、(4 ー ジクロロー5 ー インプロピオナファニル) チナオド末 5 ーターシャリーブチルー3 - (2、4 ー ジクロロー5 ー インプロポキンフェニル) ティオキサジア	シメトリン オキシン銅又は有機銅 ジラム ポリカーバメート カズサホス カテコール ペルメトリン ブブロフェジン テブフェノジド ベノミル シハロホップブチル ジアフェンチウロン	
1-375   2 ープテナール	1-319 1-320 1-321 1-323 1-325 1-328 1-329 1-331 1-332 1-333 1-333 1-333 1-334 1-340 1-341 1-344 1-345 1-346 1-350 1-351 1-356 1-357 1-356 1-357	1-ノナノール ノニルフェノール ハデジウム化合物 2、4ービス(エチルアミノ)ー6ーメチルチオー1、3、5ートリアジン ビス(8ーキノリノラト)鋼 ビス(N、Nージメチルジテオカルバミン酸)亜鉛 ビス(N、Nージメチルジテオカルバミン酸)・亜鉛 ビス(N、Nージメチルジテオカルバミン酸)・亜鉛 ヒズ(N、Nージメチルジテオカルバミン酸)・N、N'ーエチレンビス(チオカルバモイルチオ亜鉛) S、S・ビス(1ーメチルブロビル)=O・エチル=ホスホロジチオアート 砒素及びその無機化合物 ヒドラジン ヒドロキノン 4ービニルー1ーシクロヘキセン ビフェニル ビベラジン ビリジン ビロカテコール 2ーフェニルマレイミド フェニルマレイミド フェニルマレイミド フェニレンジアミン フェノール 3・フェノキシベンジル=3ー(2、2ージクロロビニル)ー2、2ージメチルシクロブロバンカルボキシラート 1、3ーブタジエン フタル酸ジーノルマルーブチル=ベンジル フタル酸ブ・ノルマルーブチル=スクリの ログリン・ローオン Nーターシャリーブチル=ベンジル NーターシャリーブチルーN'ー(4ーエチルベンゾイル)ー3、5ージメチルベンビドラジド Nー「1・(Nーノルマル・ブチルトー)・(4ーエチルベンゾイル)・3、5ージメチルベンビドラジド Nー「1・(Nーノルマル・ブチルトー)・(4ーエチルベンゾイル)・3、5ージメチルベンビドラジド Nー「1・(Nーノルマル・ブチルカルバモイル)・1 Hー2・ベンゾイミダゾリルブカルバミン酸メチル ブチル=(R)・2ー(4ー(4ーシアノ・2ーフルオロフェノキシ)フェノキシブロビオナート 1・ターシャリーブチルー3ー(2、6ージグリプロビルー4ーフェノキシフェニル)・ナ1、3、4ーオキサジア ゾールー2(3H)・オン	シメトリン オキシン飼又は有機飼 ジラム ポリカーバメート カズサホス  カテコール  ベルメトリン  ブプロフェジン テブフェノジド ベノミル シハロホップブチル ジアフェンチウロン オキサジアゾン	
1-376 N-ブトキシメチル-2-クロロ-2', 6' - ジェチルアセトアニリド ブタクロール 1-378 N, N' - ブロピンビス(ジチオカルバミン酸)と亜鉛の重合物 ブロビネブ 1-380 ブロモクロロジフルオロメタン ハロンー1211 1-381 ブロモジクロロダタン 1-382 ブロモリフルオロメタン ハロンー1301 1-383 5-ブロモー3- セカンダリーブチルー6-メチルー1, 2, 3, 4ーテトラヒドロピリミジンー2, 4ージオ ブロマシル 1-384 1-ブロモブロパン 1-385 2-ブロモブロパン 9 東化メチル 1-386 ブロモメタン 東化メチル 1-386 ブロモメタン 1-388 ブロモメタン 1-389 6, 7, 8, 9, 10, 10, 10-ヘキサクロロー1, 5, 5a, 6, 9, 9a-ヘキサヒドロ-6, 9-メタノー2, 4, 3 エンドスルファン又はベンゾエピン ーベンゾジオキサチエピン=3-オキシド	1-319   1-320   1-321   1-322   1-323   1-325   1-328   1-329   1-331   1-332   1-333   1-334   1-340   1-341   1-342   1-343   1-346   1-355   1-356   1-356   1-357   1-356   1-356   1-357   1-368   1-363   1-369   1-36	1-ノナノール ノニルフェノール ノニルフェノール ノニルフェノール ハナジウム化合物 2、4 ーピス(エチルアミノ) - 6 ーメチルチオー1、3、5 ートリアジン ピス(8 ーキノリノラト) 銅 ピス(N、Nージメチルジチオカルバミン酸) 亜鉛 ピス(N、Nージメチルジチオカルバミン酸) N、N'ーエチレンピス(チオカルバモイルチオ亜鉛) S、S・ピス(1 ーメチルプロピル) = O・エチル=ホスホロジチオアート 砒素及びその無機化合物 ヒドラジン ヒドラジン セドラジン セピュルー1ーシクロヘキセン ピフェニル ピペラジン ピリジン ピロカテコール 2 ーフェニルフェノール N・フェニルマレイト ハーフェニルマレイト 1、3 ーブタジエン フェノール フェールマレイミド フェニレンジアミン フェノール フタル酸ジーノルマルーブチル フタル酸ジーノルマルーブチル フタル酸ジーノルマルーブチル フタル酸ジーフルーブラート 1、3 ーブタジエン N・ターシャリーブチルイシノム N・ターシャリーブチル・N'ー(4 ーエチルペンゾイル) ー3、5 ージメチルペンゾヒドラジド Nー[1 ー (N・ノルマルーブチルカルバモイル) ー1 トー2・インディをグリルフルール・ア・ローガール・ア・ローガール・ア・ローガール・ア・ローガール・ア・ファル・ア・ファンボール・ア・ア・ファンボール・ア・ア・ファンボール・ア・ア・ファンボール・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア	シメトリン オキシン飼又は有機飼 ジラム ポリカーバメート カズサホス  カテコール  ベルメトリン  ブプロフェジン テブフェノジド ベノミル シハロホップブチル ジアフェンチウロン オキサジアゾン	
1-378 N, N' - プロピレンビス(ジチオカルバミン酸)と亜鉛の重合物	1-319   1-320   1-321   1-322   1-323   1-325   1-328   1-329   1-331   1-332   1-333   1-333   1-333   1-340   1-341   1-344   1-344   1-345   1-346   1-347   1-346   1-355   1-356   1-357   1-356   1-357   1-358   1-360   1-361   1-363   1-363   1-363   1-369   1-374   1-374   1-37	1-ノナノール ノニルフェノール ノニルフェノール ノニルフェノール ハナジウム化合物  2、4ービス(エチルアミノ)ー6ーメチルチオー1、3、5ートリアジン ビズ(8ーキノリノラト)・銅 ビズ(N、Nージメチルジテオカルバミン酸) 亜鉛 ビズ(N、Nージメチルジテオカルバミン酸) 亜鉛 ビズ(N、Nージメチルジテオカルバミン酸) N、N'ーエチレンビス(チオカルバモイルチオ亜鉛) S、S・ビズ(1ーメチルプロピル)=Oーエチル=ホスホロジチオアート 砒素及びその無機化合物 ヒドラジン ヒドロキノン 4ーピニルー1ーシクロヘキセン ピフェニル ビベスジン ピリジン ピロカテコール 2ーフェニルフェノール Nーフェニルマレイミド フェニレンジアミン フェノール 3ーフェノキシベンジル=3ー(2、2ージクロロビニル)ー2、2ージメチルシクロプロパンカルボキシラート 1、3 ーブタジエン フタル酸ブ・フルマルーブチルースシーの フタル酸ブ・フルマルーブチルーズンジル 2ーターシャリーブチルイミノー3ーイソプロピルー5ーフェニルテトラヒドロー4Hー1、3、5ーチアジアジン・4ーオン Nー[1ー(Nーノルマルーブチルカバ・モイル)ー1Hー2ーペンゾイミダブリル]カルバミン酸メチル ブチル=(R)・2=[4ー(4ーシアノ2ーフルオロフェノキシ)フェノキン Nー「1ー(Nーノルマルーブチルカルバモイル)ー1Hー2ーペンゾイミダブリル]カルバミン酸メチル ブチル=(R)・2=[4ー(4ーシアノ2ーフルオロフェノキシ)フェノキンブロピオナート 1ーターシャリーブチルー3ー(2、6ージイソプロピルー4ーフェノキシフェニル)チオ尿素 5ーターシャリーブチルー3ー(2、6ージイソプロピルー4ーフェノキシフェニル)・1、3、4ーオキサジアゾールー2(3H)ーオン 2ー(4ーターシャリーブチルフェノキシ)シクロヘキシル=2ープロピニル=スルフィット ふっ化水素及びその水溶性塩	シメトリン オキシン飼又は有機飼 ジラム ポリカーバメート カズサホス  カテコール  ベルメトリン  ブプロフェジン テブフェノジド ベノミル シハロホップブチル ジアフェンチウロン オキサジアゾン	
1-381   プロモジクロロメタン   1-382   プロモリフルオロメタン   1-383   プロモーリフルオロメタン   1-383   プロモーリフルオロメタン   1-383   プロモーター セカンダリーブチルー6ーメチルー1, 2, 3, 4ーテトラヒドロピリミジンー2, 4ージオ   プロマシル   1-384   1ープロモプロパン   1-385   2ープロモプロパン   0	1-319 1-320 1-321 1-323 1-325 1-328 1-328 1-331 1-332 1-333 1-333 1-333 1-334 1-341 1-342 1-344 1-345 1-346 1-347 1-348 1-349 1-355 1-356 1-357 1-360 1-361 1-362 1-361 1-362 1-363 1-369	1-ノナノール ノニルフェノール ノニルフェノール ノニルフェノール ハナジウム 化合物 2、4 ービス (エチルアミノ) - 6 ーメチルチオー1、3、5 ートリアジン ビス (8 ーキノリノラト) 銅 ビス (N、Nージメチルジチオカルバミン酸) 亜鉛 ビス (N、Nージメチルジチオカルバミン酸) 亜鉛 ビス (N、Nージメチルジテオカルバミン酸) M、N'ーエチレンビス (チオカルバモイルチオ亜鉛) S、S・ビス (1 ーメチルプロビル) = 0 ーエチル=ホスホロジチオアート 砒素及びその無機化合物 ヒドラジン ヒドロキノン 4 ーピニルー1 ーシクロヘキセン ビフェニル ビベラジン ビリジン ヒロカテコール Nーフェニルマレイミド フェニルマレイミド フェニレンジアミン フェノール Nーフェニルマレイミド フェニレンジアミン フェノール フタル酸 アンドルマルーブチルー フタル酸 アンドルマルーブチルー フタル酸 アンドルマルーブチルー フタル酸 アンドルマルーブチルースタル (2、2 ージクロロビニル) ー2、2 ージメチルシクロブロバンカルボキシラート 1、3 ーブダジエン フタル酸 アンドーグールース・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア	シメトリン オキシン銅又は有機銅 ジラム ポリカーバメート カズサホス カテコール  ベルメトリン  ブブロフェジン テブフェノジド ベノミル シハロホップブチル ジアフェンチウロン オキサジアゾン プロパルギット又はBPPS	
1-382   プロモトリフルオロメタン	1-319 1-320 1-321 1-323 1-325 1-328 1-329 1-331 1-332 1-333 1-336 1-337 1-340 1-341 1-342 1-343 1-346 1-347 1-348 1-349 1-350 1-351 1-356 1-357 1-360 1-361 1-362 1-363	1-ノナノール ノニルフェノール ハニルフェノール ハデジウム化合物 2、4ーピス(エチルアミノ)ー6ーメチルチオー1、3、5ートリアジン ピス(8ーキノリノラト)鋼 ピス(N、Nージメチルジテオカルバミン酸)亜鉛 ピス(N、Nージメチルジテオカルバミン酸)亜鉛 ピス(N、Nージメチルジテオカルバミン酸)M、N'ーエチレンピス(チオカルバモイルチオ亜鉛) S、Sーピス(1ーメチルブロピル)=Oーエチル=ホスホロジチオアート 砒素及びその無機化合物 ヒドロキノン 4ーピニルー1ーシクロヘキセン ピフェニル ピスーン ビフェニル ピスーン ピフェニル ピスージン ピロカテコール 2ーフェニルマレイミド フェニルマレイミド フェニレンジアミン フェノール Nーフェニルマレーブチルースシジル フタル酸シーノルマーブール フタル酸シーノルマーブラルースリカージで、カージンスール フタル酸シーノルマーブラルースリカーが、フェールンブイル アクルーグコース・ローブール Nー「ローバース・ローブールース・ローブール アクルーグラート 1、3ープタジェン フタル酸シーノルマルーブチルースンジル フタル酸シーノルマーブチルースンジル フタル酸シーノルマーブチルースンジル フタル酸シーフルマルーブチルースンジル フタル酸フークエーブ・カート コースー・フェール アーシャリーブチルースンジル アーシャリーブチルース・ローバー	シメトリン オキシン銅又は有機銅 ジラム ボリカーパメート カズサホス  カテコール  ペルメトリン  ブプロフェジン テブフェノジド ベノミル シハロホップブチル ジアフェンチウロン オキサジアゾン プロパルギット又はBPPS	
1-383 5-ブロモ-3-セカンダリーブチルー6-メチルー1, 2, 3, 4ーテトラヒドロビリミジンー2, 4ージオ ブロマシル 1-384 1ープロモブロパン 1-385 2ーブロモブロパン	1-319 1-320 1-321 1-323 1-325 1-328 1-329 1-331 1-332 1-333 1-334 1-340 1-341 1-342 1-343 1-344 1-345 1-345 1-345 1-356 1-357 1-356 1-357 1-358 1-360 1-361 1-362 1-363 1-369 1-374 1-375	1-ノナノール ノニルフェノール ノニルフェノール ノニルフェノール ハナジウム化合物 2、4ービス(エチルアミノ)ー6ーメチルチオー1、3、5ートリアジン ビス(8ーキノリノラト)・銅 ビス(N、Nージメチルジチオカルバミン酸)・亜鉛 ビス(N、Nージメチルジチオカルバミン酸)・M、N・コーエールバモイルチオ亜鉛) S、Sービス(1ーメチルプロビル)=Oーエチル=ホスホロジチオアート 観素及びその無機化合物 ヒドラジン ヒドロキノン 4ーピニルー1ーシクロヘキセン ビフェニル ピペラジン・ピリジン ピロカテコール 2ーフェニルフェノール Nーフェニルマレイミド フェニレンジアミン フェノール 3ーフェノキシベンジル=3ー(2、2ージクロロビニル)ー2、2ージメチルシクロプロパンカルボキシラート 1、3ーブタジエン フタル酸ビス(2ーエチルヘキシル) フタル酸ノルマルーブチルースシブル フタル酸ノルマルーブチルースシブル 2ーターシャリーブチルイミノー3ーイソプロピルー5ーフェニルテトラヒドロー4Hー1、3、5ーチアジアシー4ーオン NーターシャリーブチルーN・(4ーエチルベンゾイル) - 3、5ージメチルベンゾヒドラジド Nー[1-(Nーノルマルーブチルカルバモイル)ー1Hー2ーベンゾイミダブリル]カルバミン酸メチルブチルー(R)ー2ー[4ー(4ーシアノー2ーフルオロフェノキシ)フェノル・ジチルーターシャリーブチルカルバモイル) コチル=(R)ー2ー[4ー(4ーシアノー2ーフルオロフェノキシフェニル)・チオ尿素 5ーターシャリーブチルー3ー(2、6ージイソプロピルー4ーフェ/キシフェニル)・チオ尿素 5ーターシャリーブチルー3ー(2、6ージイソプロピルー4ーフェ/キシフェニル)・1、3、4ーオキサジアゾールー2(3H)ーオン 2ー(4ーターンャリーブチルフェノキシ)シクロヘキシル=2ープロピニル=スルフィット ふっ化水素及びその水溶性塩 2ープテナール Nープトキシメチルー2ークロロー2'、6'ージェチルアセトアニリド N、N'ープロピレンピス(ジチオカルバミン酸)と亜鉛の重合物 プロモクロロジフルオロメタン	シメトリン オキシン銅又は有機銅 ジラム ポリカーパメート カズサホス カテコール カテコール ブブロフェジン テブフェノジド ベノミル シハロホップブチル ジアフェンチウロン オキサジアゾン プロパルギット又はBPPS	
2   1-384   1-プロモプロパン   1-385   2-プロモプロパン   0   1-386   プロモメタン   臭化メチル   1-388   6, 7, 8, 9, 10, 10-ヘキサクロロー1, 5, 5a, 6, 9, 9aーヘキサヒドロー6, 9ーメタノー2, 4, 3   エンドスルファン又はペンゾエピン   ペンゾジオキサチエピン=3ーオキシド	1-319 1-320 1-321 1-323 1-325 1-328 1-329 1-331 1-332 1-333 1-336 1-337 1-340 1-341 1-342 1-344 1-345 1-346 1-355 1-356 1-357 1-360 1-361 1-362 1-363 1-369 1-361 1-362 1-363 1-369 1-376 1-376 1-376 1-376 1-376	1-ノナノール ノニルフェノール ハニルフェノール ハデジウム化合物 2、4ービス(エチルアミノ)ー6ーメチルチオー1、3、5ートリアジン ビス(8ーキノリノラト)網 ビス(N、Nージメチルジテオカルバミン酸)亜鉛 ビス(N、Nージメチルジテオカルバミン酸)・亜鉛 ビス(N、Nージメチルジテオカルバミン酸)・エポーロジチルドライカルバモイルチオ亜鉛) S、S・ビス(1ーメチルブロビル)=O・エチル=ホスホロジチオアート 破素及びその無機化合物 ヒドラジン ヒドロキノン 4ービニルー1ーシクロヘキセン ビフェニル ピペラジン ビリジン ヒロカテコール 2ーフェニルマレイミド フェニルマレイミド フェニルマレイミド フェニルマレイミド フェニルマルール N・フェニルマングル 3ーカングラン カート 1、3ーブタジェン フタル酸ジーノルマルーブチル フタル酸ジーノルマルーブチル フタル酸ブーノルマーブチルーズシジル フタル酸ブーノルマーブチルーズシジル N・ターシャリーブチルニベンジル N・デーシャリーブチルースリープ・カート コース・ローブ・カート コース・ローブ・カーア・ファート フース・コース・ローブ・カート コース・ローブ・カーア・ファート コース・ローブ・カーア・ファート コース・ローブ・カーア・ファート フース・ローブ・カーア・ファート フース・ローブ・カーア・ファート フース・ローブ・カーア・ファート フース・ローブ・カーア・ファート フース・ファート フース・ローブ・カーア・ファート フース・ローブ・カース・ファート フース・ローブ・カース・ローブ・カーア・ファート フース・ローブ・カース・ファート フース・ローブ・カース・ローブ・カート フース・ローブ・カース・ローブ・カート フース・ローブ・カース・ローブ・カート フース・ローブ・カース・ローブ・カース・ローブ・カース・ファート フース・ローブ・カース・ロース・ロース・ローブ・カース・ロース・ローブ・カース・ロース・ロース・ロース・ロース・ロース・ロース・ロース・ロース・ロース・ロ	シメトリン オキシン銅又は有機銅 ジラム ポリカーパメート カズサホス  カテコール  ベルメトリン  ブプロフェジン テブフェノジド ベノミル シハロホップブチル ジアフェンチウロン オキサジアゾン ブロパルギット又はBPPS  ブタウロール ブロピネブ ハロシー1211	
1-385 2-ブロモプロパン O 1-386 ブロモメタン 臭化メチル 1-388 6, 7, 8, 9, 10, 10ーヘキサクロロー1, 5, 5a, 6, 9, 9aーヘキサヒドロー6, 9ーメタノー2, 4, 3 エンドスルファン又はベンゾエピン ーペンゾジオキサチエピン=3ーオキシド	1-319	1-ノナノール ノニルフェノール ノニルフェノール ハナジウム化合物 2、4ーピス(エチルアミノ)ー6ーメチルチオー1、3、5ートリアジン ピス(8ーキノリノラト)銅 ピス(N、Nージメチルジチオカルバミン酸)亜鉛 ピス(N、Nージメチルジチオカルバミン酸)外、N'ーエチレンピス(チオカルバモイルチオ亜鉛) S、S・ピス(1ーメチルプロピル)=O・エチル=ホスホロジチオアート 砒素及びその無機化合物 ヒドラジン ヒドロキノン 4ーピニルー1ーシクロへキセン ピフェニル ピベスラジン ピリジン ピロカテコール 2ーフェニルフェノール Nーフェニルマレイミド フェニレンジアミン フェノール 3ーフェノキシベンジル=3ー(2、2ージクロロピニル)ー2、2ージメチルシクロプロパンカルボキシラー 1、3・ブタジエン フタル酸ノーノルマルーブチル フタル酸ノーノルマルーブチル フタル酸ノルマルーブチル スラル酸ノーフェルスシール Nーターシャリーブチルイミノー3ーイソプロピルー5ーフェニルテトラヒドロー4Hー1、3、5ーチアジアジン・4ーナン Nー(1ー(Nーノルマルーブチルカルバモイル)・3、5ージメチルベンゾヒドラジド Nー[1ー(Nーノルマルーブチルカルバモイル)・3、5ージメチルベンゾヒドラジド Nー[1ー(Nーノルマルーブチルカルバモイル)・1Hー2ーベンゾイミダゾリル]カルバミン酸メチル ブチル=(R)ー2ー[4ー(4ーシアノ-2ーフルオロフェノキシ)フェール・1、3、4ーオキサジア ゾールー2(1914)ーオン 1ーターシャリーブチルー3ー(2、6ージイソプロピルー4ーフェノキシフェニル)・1、3、4ーオキサジア ゾールー2(1914)ーオン 2ー(4ーターシャリーブチルフェノキシ)シクロへキシル=2ープロピニル=スルフィット ふっ代水素及びその水溶性塩 2ープテナール N・アトキシメチルー2ークロロー2'、6'ージエチルアセトアニリド N、N'ープロピンレビス(ジチオカルバミン酸)と亜鉛の重合物 プロモクロロジフルオロメタン プロモドリフルオロメタン	シメトリン オキシン銅又は有機銅 ジラム ボリカーパメート カズサホス  カテコール  ペルメトリン  ブブロフェジン テブフェノジド ベノミル シハロホップブチル ジアフェンチウロン オキサジアゾン プロパルギット又はBPPS  ブタクロール ブロビネブ ハロンー1301	
1-385 2-ブロモプロパン O 1-386 ブロモメタン 臭化メチル 1-388 6, 7, 8, 9, 10, 10ーヘキサクロロー1, 5, 5a, 6, 9, 9aーヘキサヒドロー6, 9ーメタノー2, 4, 3 エンドスルファン又はベンゾエピン ーペンゾジオキサチエピン=3ーオキシド	1-319	1-ノナノール ノニルフェノール ノニルフェノール ハナジウム化合物 2、4ーピス(エチルアミノ)ー6ーメチルチオー1、3、5ートリアジン ピス(8ーキノリノラト)銅 ピス(N、Nージメチルジチオカルバミン酸)亜鉛 ピス(N、Nージメチルジチオカルバミン酸)外、N'ーエチレンピス(チオカルバモイルチオ亜鉛) S、S・ピス(1ーメチルプロピル)=O・エチル=ホスホロジチオアート 砒素及びその無機化合物 ヒドラジン ヒドロキノン 4ーピニルー1ーシクロへキセン ピフェニル ピベスラジン ピリジン ピロカテコール 2ーフェニルフェノール Nーフェニルマレイミド フェニレンジアミン フェノール 3ーフェノキシベンジル=3ー(2、2ージクロロピニル)ー2、2ージメチルシクロプロパンカルボキシラー 1、3・ブタジエン フタル酸ノーノルマルーブチル フタル酸ノーノルマルーブチル フタル酸ノルマルーブチル スラル酸ノーフェルスシール Nーターシャリーブチルイミノー3ーイソプロピルー5ーフェニルテトラヒドロー4Hー1、3、5ーチアジアジン・4ーナン Nー(1ー(Nーノルマルーブチルカルバモイル)・3、5ージメチルベンゾヒドラジド Nー[1ー(Nーノルマルーブチルカルバモイル)・3、5ージメチルベンゾヒドラジド Nー[1ー(Nーノルマルーブチルカルバモイル)・1Hー2ーベンゾイミダゾリル]カルバミン酸メチル ブチル=(R)ー2ー[4ー(4ーシアノ-2ーフルオロフェノキシ)フェール・1、3、4ーオキサジア ゾールー2(19H)ーオン 2ー(4ーターシャリーブチルー3ー(2、4ージクロー5ーイソプロポキシフェニル)・1、3、4ーオキサジア ゾールー2(19H)ーオン 2ー(4ーターシャリーブチルフェノキシ)シクロへキシル=2ープロピニル=スルフィット ふっ代水素及びその水溶性塩 2ープテナール N・アトキシメチルー2ークロロー2'、6'ージエチルアセトアニリド N、N'ープロピンレビス(ジチオカルバミン酸)と亜鉛の重合物 プロモクロロジフルオロメタン プロモドリフルオロメタン プロモドリフルオロメタン	シメトリン オキシン銅又は有機銅 ジラム ボリカーパメート カズサホス  カテコール  ペルメトリン  ブブロフェジン テブフェノジド ベノミル シハロホップブチル ジアフェンチウロン オキサジアゾン プロパルギット又はBPPS  ブタクロール ブロビネブ ハロンー1301	
1-386 プロモメタン 臭化メチル 1-388 6, 7, 8, 9, 10, 10-ヘキサクロロー1, 5, 5a, 6, 9, 9a-ヘキサヒドロー6, 9-メタノー2, 4, 3 エンドスルファン又はペンゾエピン ーベンゾジオキサチエピン=3-オキシド	1-319 1-320 1-321 1-323 1-325 1-328 1-329 1-331 1-332 1-333 1-332 1-333 1-334 1-340 1-341 1-342 1-343 1-346 1-347 1-348 1-349 1-355 1-356 1-357 1-356 1-357 1-363 1-363 1-363 1-363 1-369 1-374 1-376 1-376 1-376 1-376 1-376 1-378	1ー/ナノール /ニルフェノール /ニルフェノール /ニルフェノール /ニルフェノール /ニルフェノール /ドナジウム 化合物  2、4ービス(エチルアミノ)ー6ーメチルチオー1、3、5ートリアジン ビズ(8、キオリノラト)・銅 ビズ(N、Nージメチルジチオカルバミン酸) 亜鉛 ビズ(N、Nージメチルジチオカルバミン酸) 亜鉛 ビズ(N、Nージメチルブロピル)=Oーエチル=ホスホロジチオアート 砒素及びその無機化合物 ヒドラジン ヒドロキノン 4ービニルー 1ーシクロへキセン ピフェニル ピペラジン ピリジン ピリガン レビカテコール 2ーフェニルフェノール Nーフェニルマレイミド フェニレンジアミン フェノール 3ーフェノキシベンジル=3ー(2、2ージクロロビニル)ー2、2ージメチルシクロブロバンカルボキシラート フォール フタル酸ピス(2ーエチルヘキシル) フタル酸ピス(2ーエチルヘキシル) フタル酸ピス(2ーエチルヘキシル) フタル酸ピス(2ーエチルヘキシル) フタル酸ピス(2ーエチルヘキシル) アタル酸ピス(2ーエチルヘキンル) バン・4ー・オン Nーターシャリーブチル=ペンジル Nーターシャリーブチルーペーンアノークニカイソプロピルー5ーフェニルテトラヒドロー4Hー1、3、5ーチアジア ジンー4ーオン NーターシャリーブチルーN'ー(4ーエチルペンゾイル)ー3、5ージメチルベンゾヒドラジド Nー[1ー(Nーノルマルーブチルカルバモイル)ー1Hー2ーペンゾイミゲソリル]カルバミン酸メチル ブチル=(R)ー2ー[4ー(4ーシアノー2ーフルオロフェノキシ)フェノキシブコピオナート 1ーターシャリーブチルー3ー(2、6ージインプロピルー4ーフェノキシフェニル)チオ原素 5ーターシャリーブチルー3ー(2、6ージインプロピルー4ーフェノキシフェニル)チオ原素 5ーターシャリーブチルコー(2、6ージインプロピルー4ーフェノキシフェニル)チオ原素 5ーターシャリーブチルコー(2、6ージインプロピルー4ーフェノキンフェニル)・1、3、4ーオキサジア ゾールー2(3)リーオン 2ー(4ーターシャリーブチルフェノキシ)シクロヘキシル=2ープロピニル=スルフィット ふっ代水素及びその水溶性塩 2ープテナール Nーブトキシメチルー2ークロロー2'、6'ージエチルアセトアニリド N、N'ープロピンフルオロメタン プロモジフロエフルオロメタン プロモジフロコフルオロメタン プロモジフロコフルオロメタン プロモジフロコフルオロメタン プロモジフロコフルオロメタン プロモジフロコフルオロメタン プロモジフロコフルオロメタン プロモジフロコフルオロメタン プロモジフロコフルオロメタン プロモジフロコー3ーセカンダリーブチルー6ーメチルー1、2、3、4ーテトラヒドロピリミジンー2、4ージオ	シメトリン オキシン銅又は有機銅 ジラム ボリカーパメート カズサホス  カテコール  ペルメトリン  ブブロフェジン テブフェノジド ベノミル シハロホップブチル ジアフェンチウロン オキサジアゾン プロパルギット又はBPPS  ブタクロール ブロビネブ ハロンー1301	
1-388 6, 7, 8, 9, 10, 10-ヘキサクロロー1, 5, 5a, 6, 9, 9a-ヘキサヒドロー6, 9-メタノー2, 4, 3 エンドスルファン又はベンゾエピン ーベンゾジオキサチエピン=3ーオキシド	1-319	1ー/ナノール /ニルフェノール /ニルフェノール /ニルフェノール /ニルフェノール /ニルフェノール /ドナジカム 化合物  2、4ービス(エチルアミノ)ー6ーメチルチオー1、3、5ートリアジン ビズ(8、キュノリノラト)・銅 ビズ(N、Nージメチルジチオカルバミン酸) 亜鉛 ビズ(N、Nージメチルジチオカルバミン酸) 亜鉛 ビズ(N、Nージメチルブロピル)=Oーエチル=ホスホロジチオアート 砒素及びその無機化合物 ヒドラジン ヒドロキノン 4ービニルー1ーシクロヘキセン ピフェニル ビベラジン ピリジン ピロカテコール 2ーフェニルフェノール Nーフェニルマレイミド フェニレンジアミン フェノール 3ーフェノキシベンジル=3ー(2、2ージクロロピニル)ー2、2ージメチルシクロプロパンカルボキシラート 1、3 ープタンエンリークリーのキャンシル フタル酸ジーノルマルーブチル フタル酸ジーノルマルーブチル フタル酸ジーグルマルーブチルとベンジル 2ーターシャリーブチルイミングル 2ーターシャリーブチルイミノー3ーイソブロピルー5ーフェニルテトラヒドロー4Hー1、3、5ーチアジアシン4ーオーカン Nーターシャリーブチルス・フールカロフェノキシ)フェノキンブラート Nーター・マリーブチルーN'ー(4ーエチルベンゾイル)ー3、5ージメチルベンゾヒドラジド Nー[1-(Nーノルマルーブチルカルバモイル)ー1Hー2ーベンゾイミダゾリル]カルバミン酸メチルブチル=(R)ー2ー[4-(4ーシアノ-2ーフルオロフェノキシ)フェルドチロアナトアトアード 1ーターシャリーブチルー3ー(2、6ージイフロピルー4ーフェノキシフェニル)チオ尿素 5ーターシャリーブチルー3ー(2、4ージクロロー5ーイソブロボキシフェニル)ー1、3、4ーオキサジアソールー2(3H)ーオン 2ー(4ーターンマリーブチルフェノキシ)シクロヘキシル=2ーブロピニル=スルフィット ふっ化水素及びその水溶性塩 2ーブテナール N・アナキシメチルー2ークロロー2'、6'ージェチルアセトアニリド N・N・プトキシメチルー2ークロロー2'、6'ージェチルアセトアニリド N・N・プトキシメチルー2ークロロー2'、6'ージェチルアセトアニリド N・N・プトキシメチルカー2・フロロー2'、6'ージェチルアセトアニリド N・N・プトキシメチルカー2・フロロー2'、6'ージェチルアセトアニリド N・N・プトキシメチルカロシン プロモドリフルオロメタン プロモドリフルオロメタン プロモドリフルオロメタン プロモドリフルオロメタン プロモドリフルオロメタン プロモドリフルオロメタン プロモドリフルオロメタン プロモドリフルオロメタン プロモデリフルオロメタン	シメトリン オキシン銅又は有機銅 ジラム ボリカーパメート カズサホス  カテコール  ペルメトリン  ブブロフェジン テブフェノジド ベノミル シハロホップブチル ジアフェンチウロン オキサジアゾン プロパルギット又はBPPS  ブタクロール ブロビネブ ハロンー1301	0
	1-319   1-320   1-320   1-320   1-321   1-323   1-325   1-328   1-331   1-332   1-333   1-336   1-337   1-340   1-341   1-342   1-344   1-345   1-346   1-347   1-348   1-349   1-355   1-356   1-356   1-357   1-356   1-357   1-358   1-356   1-357   1-357   1-358   1-360   1-361   1-362   1-363   1-363   1-363   1-363   1-363   1-363   1-363   1-363   1-363   1-376   1-376   1-376   1-376   1-376   1-376   1-376   1-376   1-3776   1-378   1-383   1-383   1-383   1-384   1-385   1-384   1-385   1-384   1-385   1-384   1-385   1-384   1-385   1-384   1-385   1-384   1-385   1-384   1-385   1-3	1-ノナノール / ニルフェノール / ニルフェノール / パナジウムに合物 2、4 ービス(エチルアミノ) - 6 ーメチルチオー1、3、5 ートリアジン ビス(8 ー キノリノラト) 銅 ビス(N、Nージメチルジチオカルバミン酸) 亜鉛 ビス(N、Nージメチルジチオカルバミン酸) N、N・エチレンビス(チオカルバモイルチオ亜鉛) S、S・ビス(1 ーメチルプロビル) = 0 ーエチル=ホスホロジチオアート 地素及びその無機化合物 ヒドラジン ヒドロキン 4ービニルー1ーシクロへキセン ピフェニル ピペラジン ピリジン とロカテコール 2 ーフェニルフェノール Nーフェニルマレイミド フェニレンジアミン フェノル 3 ーフェノキンペンジル=3 ー (2、2 ージクロロビニル) ー 2、2 ージメチルシクロブロバンカルボキシラート 1、3 ー フェノキンペンジル=3 ー (2、2 ージクロロビニル) ー 2、2 ージメチルシクロブロバンカルボキシラート 1、3 ー フェノキンペンジル=3 ー (2、2 ージクロロビニル) ー 2、5 ージメチルシクロブロバンカルボキシラート 1、3 ー ブタル酸ジーノルマルーブチル フタル酸ジーノルマルーブチル フタル酸ジーノルマルーブチルイミンジル 2 ー ターシャリーブチルイミノー3 ー インブロビル ー 5 ー フェニルテンドドロー 4 H ー 1、3、5 ー チアジアジン・4 ー オン N ー ターシャリーブチルート 「 - (4 ー エチルベンゾイル) ー 3、5 ー ジャメチル ブチルー(8) ー 2 ー (4 ー シアノー 2 ー フルオロフェノキシ)プロビオート 1 ー ターシャリーブチルー3 ー (2、6 ー ジイソプロビル ー 4 ー フェノキシフェニル)チオ尿素 5 ー ターシャリーブチルー3 ー (2、6 ー ジイソプロビル ー 4 ー フェノキシフェニル)チオ尿素 5 ー ターシャリーブチルー3 ー (2、6 ー ジイソプロビル ー 4 ー フェノキシフェニル)ー1、3、4 ー オキサジアノー2 ー (4 ー ターシャリーブチルフェノキシ)シクロへキシル=2 ー ブロビーンビス(ジチオカルバミン酸)と亜鉛の重合物 プロモクロロジフルオロメタン プロモジクロロメタン プロモジクロロメタン プロモジロロンダソ プロモジロロンダソ プロモブロバン 2 ー ブロモブロバン 2 ー ブロモブロバン 2 ー ブロモブロバン 2 ー ブロモブロバン	シメトリン オキシン銅又は有機銅 ジラム ポリカーパメート カズサホス カテコール ブプロフェジン テブフェノジド ベノミル シハロホップブチル ジアフェンチウロン オキサジアソン ブロパルギット又はBPPS ブタウロール ブロビネブ ハロシー1211 ハロシー1301 ブロマシル	0
	1-319   1-320   1-321   1-322   1-323   1-325   1-328   1-328   1-331   1-332   1-333   1-332   1-333   1-334   1-344   1-342   1-344   1-345   1-346   1-355   1-356   1-357   1-356   1-357   1-356   1-357   1-356   1-357   1-358   1-360   1-361   1-362   1-363   1-362   1-363   1-362   1-363   1-362   1-363   1-363   1-363   1-364   1-376   1-37	1-ノナノール / ニルフェノール / ニルフェノール / ボナジウムに合物 2、4 ーピス(エチルアミノ) - 6 ーメチルチオー1、3、5 ートリアジン ビス(8 ーネフリフラト) 銅 ビス(N、Nージメチルジチオカルバミン酸) 亜鉛 ビス(N、Nージメチルジチオカルバミン酸) N、N'ーエチレンビス(チオカルバモイルチオ亜鉛) S、S・ビス(1 ーメチルブロビル) = 0 ーエチル=ホスホロジチオアート 世来及びその無機化合物 ヒドラジン ヒドロキン 4 ーピニルー1 ーシクロへキセン ピフェール ピスラジン ピリジン ピリジン ピリジン ピリジン アェールフェノール Nーフェールマレイミド フェールフェノール Nーフェールマレイミド フェールフェノール ファールフェール フタル酸ジーノルマルーブチル フタル酸ジーノルマルーブチル フタル酸シーノルマルーブチルース・ス・ジャール・ファール フタル酸シーノルマルーブチルース・ス・ジャール・ファール アカルマルーブラルース・ファール アカルマルーブラルース・ス・グブロビル - 5 ーフェールテラヒドロー4 ー ー 1、3、5 ーチアジアジン ー 4 ー ナン アート・ファール ー ファール ー 1 ー ターシャリーブチルース・ス・グブール・ス・グール・ス・グール・ス・グール・ス・グール・ス・グール・ス・グール・ス・グール・ス・グール・ス・グール・ス・グール・ス・グール・ス・グール・ス・グール・ス・グール・ス・グール・ス・グール・ス・グール・アーンドリーブチルース・(4 ー エチルペンゾイル) - 3、5 ージメチルペンゾヒドラジド Nーター・ヤリーブチルース・(4 ー エチルペンゾイル) - 3、5 ージメチルペンゾヒドラジド アート・ファルー - 1 ー 2 ー 3 ー 4 ー カール・アート・アーリー アート・ファー・コース・ス・グールース・グールース・グールース・グールース・グールース・グールース・グールース・グートン・グートン・グートン・グートン・グートン・グートン・グートン・グートン	シメトリン オキシン銅又は有機銅 ジラム ポリカーバメート カズサホス カテコール  ベルメトリン  ブプロフェジン テブフェノジド ベノミル シハロホップブチル ジアフェンチウロン オキサジアゾン ブロパルギット又はBPPS  ブタウロール ブロビネブ ハロンー 1301 ブロマシル  臭化メチル	0

I-390	ヘキサメチレンジアミン		
-391 -392	ヘキサメチレン=ジイソシアネート   ノルマルーヘキサン		
-393	ベタナフトール		
-394	ベリリウム及びその化合物		0
395	ペルオキソニ硫酸の水溶性塩	DEGG	
396 397	ペルフルオロ(オクタン-1-スルホン酸) ベンジリジン=トリクロリド	PFOS	0
-398	ベンジル=クロリド	塩化ベンジル	0
399	ベンズアルデヒド		
400	ベンゼン		0
401	1, 2, 4ーベンゼントリカルボン酸1, 2ー無水物	/3-+ bl	
402	2-(2-ベンゾチアゾリルオキシ)-N-メチルアセトアニリド ベンゾフェノン	メフェナセット	
404	ペンタクロロフェノール		0
405	ほう素化合物		
406	ポリ塩化ビフェニル	PCB	0
407	ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。)		
408	ポリ(オキシエチレン) =オクチルフェニルエーテル		
409	ポリ(オキシエチレン)=ドデシルエーテル硫酸エステルナトリウム		
410 411	ポリ(オキシエチレン) = ノニルフェニルエーテル ホルムアルデヒド		0
112	マンガン及びその化合物		0
113	無水フタル酸		
15	メタクリル酸		
20	メタクリル酸メチル		
22	(Z)-2'-メチルアセトフェノン=4, 6-ジメチル-2-ピリミジニルヒドラゾン メチルニイソチオシアネート	フェリムゾン	1
24	メチル=イソチオシアネート  N-メチルカルバミン酸2, 3-ジヒドロ-2, 2-ジメチル-7-ベンゾ[b]フラニル	カルボフラン	1
427	Nーメチルカルバミン酸1ーナフチル	カルバリル又はNAC	1
428	Nーメチルカルバミン酸2-sec-ブチルフェニル	フェノブカルブ又はBPMC	
131	メチル=(E) -2-[2-[6-(2-シアノフェノキシ)ピリミジン-4-イルオキシ]フェニル] -3-メトキシスクリニュト	アゾキシストロビン	
133	シアクリラート   N - メチルジチオカルバミン酸	カーバム	
436	アルファーメチルスチレン		
438	メチルナフタレン		
39	3ーメチルピリジン	J=2n = 11	
42	2ーメチルーNー[3ー(1ーメチルエトキシ)フェニル]ベンズアミド SーメチルーNー(メチルカルバモイルオキシ)チオアセトイミダート	メプロニル メソミル	
144		トリフロキシストロビン	
	ミノ)オキシ]メチル]フェニル)アセタート		
145	メチル=(E)ーメトキシイミノ[2ー(オルトートリルオキシメチル)フェニル]アセタート	クレソキシムメチル	
146 148	4, 4' - メチレンジアニリン   メチレンビス(4, 1 - フェニレン) = ジイソシアネート		
149	3-メトキシカルボニルアミノフェニル=3'-メチルカルバニラート	フェンメディファム	
150	N-(6-メトキシ-2-ピリジル)-N-メチルチオカルバミン酸O-3-ターシャリーブチルフェニル	ピリブチカルブ	
453	モリブデン及びその化合物		
456	りん化アルミニウム		
457	りん酸ジメチル=2, 2-ジクロロビニル	ジクロルボス又はDDVP	
458	りん酸トリス(2-エチルヘキシル)		
459 460	りん酸トリス(2ークロロエチル) りん酸トリトリル		
461	りん酸トリフェニル		
462	りん酸トリーノルマルーブチル		
	亜鉛=ビスメタクリラート		
	アクリル酸2ーエチルヘキシル		
	アクリル酸重合物  アジピン酸・N-(2-アミノエチル)(又はN, N'-ビス(2-アミノエチル))エタン-1, 2-ジアミン・2		
	一(クロロメチル)オキシラン重縮合物		
	アジピン酸ジ(2-エチルヘキシル)		
	アジピン酸ジヒドラジド   アセチルアセトン		
	1ーアセチルー6ー(1, 1, 1, 2, 3, 3, 3ーヘプタフルオロプロパンー2ーイル) ー3ー[(ピリジンー3	ピリフルキナゾン	
	ーイルメチル)アミノ]ー3、4ージヒドロキナゾリンー2(1H)ーオン		
	o-アミノフェノール		1
1	3-アリルオキシー1, 2-ベンゾイソチアゾール=1, 1-ジオキシド 4-アリルー1, 2-ジ外キシベンゼン	プロベナゾール	1
2	アリル=ヘキサノアート		1
}	アリル=ヘプタノアート		
4	アルカン-1-アミン(C=8, 10, 12, 14, 16, 18、直鎖型)、(Z)-オクタデカー9-エン-1-アミンスは(27, 107)、ナカカデナ・0, 10, 277、ナカカデナ・0, 277、ナカル・カカデナ・0, 277、ナカル・カカデナ・0, 277、ナカル・カカナ・カカテ・カカテ・カカテ・カカテ・カカテ・カカテ・カカテ・カカテ・カカテ		
5	ン又は(9Z, 12Z)-オクタデカー9, 12-ジェンー1-アミン  [(3-アルカンアミド(C=8, 10, 12, 14, 16, 18、直鎖型)プロピル)(ジメチル)アンモニオ]アセ		1
	タート又は(Z)ー[[3ー(オクタデカー9ーエンアミド)プロピル](ジメチル)アンモニオ]アセタート		
6	$\alpha$ $ \pi$ $  \pi$ $         -$		
7	$[\alpha - (P \mu + \mu (C = 16 \sim 18)) - \omega - E \mu + \nu \pi (T + \nu \pi) (T + \nu \pi) - 1, 2 - \nu \pi)$ 又は $\alpha - (P \mu \pi)$		1
8	O未満のものに限る。)  アルキル(C=12~16)(ベンジル)(ジメチル)アンモニウムの塩		1
9	アルケン(C=7~9、C=8を高含有、分枝型)		1
	安息香酸ベンジル		
0			
1	アントラキノン	( - , L L + ) · · · ·	1
2	1, 1'-(アンモニウムジイルジオクタン-8, 1-ジイル)ジグアニジニウム=トリアセタート	イミノクタジン酢酸塩	
1 2 3	1, 1' $-$ (アンモニウムジイルジオクタン $-$ 8, 1 $-$ ジイル)ジグアニジニウム=トリアセタート $\alpha$ $-$ (イソシアナトベンジル) $ \omega$ $-$ (イソシアナトフェニル)ポリ[(イソシアナトフェニレン)メチレン]	イミノクタジン酢酸塩	
3	1, 1' $-$ (アンモニウムジイルジオクタン $-$ 8, $1$ $-$ ジイル)ジグアニジニウム $=$ トリアセタ $-$ ト $\alpha$ $-$ (イソシアナトベンジル) $ \omega$ $-$ (イソシアナトフェニル)ポリ $[$ (イソシアナトフェニレン)メチレン $]$ 4 $-$ イソプロピル $-$ 3 $-$ メチルフェノ $-$ ル	イミノクタジン酢酸塩	
1 2 3 5	1, 1' $-$ (アンモニウムジイルジオクタン $-$ 8, 1 $-$ ジイル)ジグアニジニウム=トリアセタート $\alpha$ $-$ (イソシアナトベンジル) $ \omega$ $-$ (イソシアナトフェニル)ポリ[(イソシアナトフェニレン)メチレン]	イミノクタジン酢酸塩	
1 2 3 5 6	1, $1' - (アンモニウムジイルジオクタン-8, 1-ジイル)ジグアニジニウム=トリアセタート                                    $	イミノクタジン酢酸塩	
1 2 3 5 6 7 8	1, $1' - (アンモニウムジイルジオクタン - 8$ , $1 - ジイル)ジグアニジニウム=トリアセタート$ $\alpha - (イソシアナトベンジル) - \omega - (イソシアナトフェニル)ポリ[(イソシアナトフェニレン)メチレン]                                    $		
1 2 3 5 6 7 8 8 9	1, $1' - (アンモニウムジイルジオクタン-8, 1-ジイル)ジグアニジニウム=トリアセタート \alpha - (イソシアナトベンジル) - \omega - (イソシアナトフェニル)ポリ[(イソシアナトフェニレン)メチレン] 4 - イソプロピルー3 - メチルフェノール \alpha - (1) - イソメチルヨノン イマゾスルフロン (1) - ステリデン-2 - ノルボルネン (1) - エチルシクルへキサン (1) - ステルー5, (1) - 8 - オキソー1, (1) - 3 - ジオキソロ[4, (1) - 5 - エチルウカー (1) - 7 - カルボン酸$		
21 22 23 35 56 66 27 88 99 60	1, $1' - (アンモニウムジイルジオクタン-8, 1-ジイル)ジグアニジニウム=トリアセタート \alpha - (イソシアナトベンジル) - \omega - (イソシアナトフェニル)ポリ[(イソシアナトフェニレン)メチレン]                                    $		
21 22 23 25 26 27 28 29 30 31	1, $1' - (アンモニウムジイルジオクタン-8, 1-ジイル)ジグアニジニウム=トリアセタート \alpha - (イソシアナトペンジル) - \omega - (イソシアナトフェニル)ポリ[(イソシアナトフェニレン)メチレン] 4 - イソプロピル - 3 - メチルフェノール \alpha - (7)メチルコノン イマゾスルフロン 5 - エチリデン - 2 - ノルボルネン エチルンクロヘキサン 5 - エチルー5, 8 - ジヒドロ - 8 - オキソー1, 3 - ジオキソロ[4, 5 - g] - キノリン - 7 - カルボン酸 N - エチルーN, N - ジメチルテトラデカン - 1 - アミニウムの塩 エトキシ化プロボキシ化アルコール(C=9~11, C=10を高含有、イソ分枝型)$	オキソリニック酸	
1 2 3 3 5 5 6 6 7 7 8 8 9 9 0 0 1 1 3 3 4 4	1, $1' - (アンモニウムジイルジオクタン-8, 1-ジイル)ジグアニジニウム=トリアセタート \alpha - (イソシアナトベンジル) - \omega - (イソシアナトフェニル)ポリ[(イソシアナトフェニレン)メチレン]                                    $		
1 2 3 5 6 7 8 9 0 1 3 4	1, $1' - (アンモニウムジイルジオクタン - 8$ , $1 - ジイル)ジグアニジニウム=トリアセタート$ $\alpha - (イソシアナトベンジル) - \omega - (イソシアナトフェニル)ポリ[(イソシアナトフェニレン)メチレン] 4 - イソプロピルー3 - メチルフェノール \alpha - (1) - ステリアンタート \alpha - (1) - ステリアンター \alpha$	オキソリニック酸	
200 211 222 223 225 226 227 228 229 330 331 333 333 334 335 336	1, $1' - (アンモニウムジイルジオクタン-8, 1-ジイル)ジグアニジニウム=トリアセタート \alpha - ( イソシアナトペンジル) - \omega - ( イソシアナトフェニル) ポリ[( イソシアナトフェニレン)メチレン] 4 - イソプロピルー3 - メチルフェノール \alpha - ( \gamma / \gamma$	オキソリニック酸	
21 22 22 23 25 26 27 27 28 8 29 30 31 33 34 34 35 36 37	1, $1' - (アンモニウムジイルジオクタン-8, 1-ジイル)ジグアニジニウム=トリアセタート \alpha - (イソシアナトペンジル) - \omega - (イソシアナトフェニル)ポリ[(イソシアナトフェニレン)メチレン] 4 - イソプロピルー3 - メチルフェノール \alpha - (1) タテナトフェニルン \alpha - (1) タテナトフェニルン \alpha - (1) タテナトフェニルン \alpha - (1) タテナトフェニルン \alpha - (1) タテナトフェール \alpha - (1) タテナー \alpha - (1) クラー \alpha - (1) タテナー \alpha - (1) クラー \alpha - (1) タテナー \alpha - (1) タテナ$	オキソリニック酸	
1 2 3 5 6 7 8 9 9 0 1 1 3 4 5 6	1, $1' - (アンモニウムジイルジオクタン-8, 1-ジイル)ジグアニジニウム=トリアセタート \alpha - ( イソシアナトベンジル) - \omega - ( イソシアナトフェニル)ポリ[( イソシアナトフェニレン)メチレン] 4 - イソプロピルー3 - メチルフェノール \alpha - ( 7) \vee F + N = N = N = N = N = N = N = N = N = N$	オキソリニック酸	
1 2 3 3 5 6 7 8 9 9 0 1 1 3 4 4 5 6 6 7 8 8 8 9 8 8 8 8 9 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	1, $1' - (アンモニウムジイルジオクタン-8, 1-ジイル)ジグアニジニウム=トリアセタート \alpha - (イソシアナトペンジル) - \omega - (イソシアナトフェニル)ポリ[(イソシアナトフェニレン)メチレン] 4 - イソプロピルー3 - メチルフェノール \alpha - (1) タテナトフェニルン \alpha - (1) タテナトフェニルン \alpha - (1) タテナトフェニルン \alpha - (1) タテナトフェニルン \alpha - (1) タテナトフェール \alpha - (1) タテナー \alpha - (1) クラー \alpha - (1) タテナー \alpha - (1) クラー \alpha - (1) タテナー \alpha - (1) タテナ$	オキソリニック酸	

2. 2. 4. 4. 6. 8. 8. 8. 8. 8. 8. 8. 8. 479949-V2019-900499  2. 2. 4. 4. 6. 8. 8. 8. 8. 479949-V2019-900499  2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2				1
63		2, 2, 4, 4, 6, 6, 8, 8ーオクタメチルシクロテトラシロキサン		
ABR				
### 1972年27年から、中国の		1.111		
### 15/7222    7973/73727/2726   7973/73726				
### 79/##9***  ### 79/##9**  ### 79/###  ### 79/###  ### 79/###  ### 79/###  ### 79/##  ### 79/##  ### 79/##  ### 79/##  ### 79/##  ### 79/#				
### 1075-X-7-1770-16	P47	クラリスロマイシン		
2 - 700				
1			0.41=60.11	
19	P50		S-メトラクロール	
Tel. Fig. 2011	P51		トリクロサン	
20	P52		ジメテナミドP	
ファン・リー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー	DE2		チアメトキサ /.	
100   1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	P33		7721494	
****    ***  ***  ***  ***  ***  ***	P54		クロチアニジン	
(2) 「				
りか。				
2-12-70日-4-1(チャスルーニー)-3-1(オャソシュニーイルトキン)チェルング(ル) ラブ/hA(メン)イル ラブ/hA(X)イル ラブ/h	P3/		アセダミングト	
シワルスキャンー 3 - ジオン   3 - ジャン・フェーム - ジャン・ファーム - ジャン・フ	P58	N-(3-クロロフェニル)カルバミン酸イソプロピル	クロルプロファム又はIPC	
3-12 - 70日 - 4- (7年)以外によい。	P59		テフリルトリオン	
1	P60	シクロヘキサンー1, 3ーシオン  3ー「2ークロロー4ー(メチルスルホニル)ベンゾイル]ー4ー(フェニルスルファニル)ビシクロ[3-2	ベンゾビシクロン	
報酬サラル		1]オクター3ーエンー2ーオン		
88年ペギルト 963			チアジニル	
34 プリアロビルナアシレー   14 - シオキサンウロベラタデカン - 6, 17 - ジオル   18 - ジオル				
18				
1.4-ブメキザンクロヘブタデカン-6.17-ジオン				
27D ペキシリテン(フェニル) 7セトニドリル				
29日へキシリアロスエルン   7セトンリア   7セトリル   7eトリル   7				
29日へキセン				
3. 4 - ジフロロ - N ( - ジアナアンニン・リーナン・リー・カルボキャド				
2 2 - 4 - 29 Palo - a a a - H y Du オロー 4 - コ- k D - m - h ルエンス L オンプロー ファイト ファイン ファイン ファイン ファイン ファイン ファイン ファイン ファイン	P70	4, 5ージクロロー2ーオクチルイソチアゾールー3(2H)ーオン		
2 - ( a - ( 2 a - 2 y 2 y 2 y 2 - y - y 2 y 2 y 3 - y 2 y 2 y 2 y 2 y 2 y 2 y 2 y 2 y 2 y				
アセトフェンク				
1 - (2、4 - グウロフェニル) - N - (2、4 - グフルナロフェニル) - N - (2、4 - グフルナロンニル) - N - (3、5 - グワロフェニル) - N - (3、5 - グワロフェニル) - 1、2 - グサルプロフログン - 1、2 - グサルボキャイミド フロンボー 1、2 - グサルボキャイミド フロンボー 1、2 - グサルボウロフログン - 1、2 - グサルボキャイミド フロンボー 1、3 - グランボー 2 - グリフロフェンル - 1、2 - グリンボー 2 - グリンボー 3 - グリンボー 4 - (2、2 - グリルボーン 2 - グリンボー 3 - グリンボー 3 - グリンボー 3 - グリンボー 3 - グリンボー 4 - (2、2 - グリンボー 3 - グリンボー 4 - (2、2 - グリンボー 4 - (2 - グリンボー 4	P73		ペンソフェナッフ	
N-(3, 5-ジクロコメニル) - 1, 2-ジグチルンクロプロバンー1, 2-ジカルボキシイミド	P74		イプフェンカルバゾン	
13-ウプロロ・ファール				
2-(2、4ージクロー3ーメチルフェルキンーNーフェニルプロバンアミド			プロシミトン	
ジデンル(ジチャル)アンモニウムの信   1			クロメプロップ	
55-ジフェニル-24-イミダソリジンオン   フェーイン   ファーグ   ファー			7077077	
日本			フェニトイン	
12-ジプロモエタン				
アメンジルエーテル	200			
P85			「(ベ、バルナキシ) イエル]ベ、ボ、	
P88				
P87			>>>\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	
アリステンド				
P90				
1. 2 ージメキシエタン   1. 2 ージメキシビリミシー2 ー イル)カルバモイル   1. 1 ー メチルー4 - (5 ー メチリスルプロー Nー (4, 6 ージ ** メキンビリミシー2 ー イル)カルバモイル   1. 1 ー メチルー4 - (5 ー メチリスルプロン	P89	4-(1, 2, ジメチルプロピルアミノ)-2-エチルアミノ-6-メチルチオ-1, 3, 5-トリアジン	ジメタメトリン	
3-クロローN=[(4, 6-ジメトキンピリミシン-2-イル)カルバモイル] - 1 - メチルー4-(5-メチ メタソスルフロン	P90			
ルー5、6ージにドロー1、4、2ージオキサジン-3ーイル)-1Hービラゾールー5ースルホンアミド   P33				
P93	P92		メタソスルフロン	
P94	P93		Dーストレプタミン又はアグリマイシ	
中の			ン	
P96				
ー5ーイル)ビニル=2、2ージメチルプロバンアート   P97			シェノピニコーン	
P97   2-tent - ブチルアミノーム - シクロプロビルアミノ-6 - メチルチオー1, 3, 5 - トリアジン   P98   2-tent - ブチルアシーム - シクロプロビルアミノー6 - メチルチオー1, 3, 5 - トリアジン   P99   p-tent - サルリウーネシル - アセクート   P90   D-tent - ブチルフエニル) - 2 - メチルプロバナール   P101   2-tent - ブトキシエタノール   P102   タリウム及びその化合物   P103   炭化ケイ素   P105   炭酸リチウム   P106   デオシアン酸鋼(1)   P107   F7ルザミド   P108   1 - デカナール   P109   1,1,22 - デトラプロロエタン   P110   Fトラブルオロエチレン   P110   Fトラブルオロエチレン   P111   Fトラフルオロエチレン   P111   Fトラフルオロエチレン   P112   2, 2, 3, 3 - Fトラブルカロブロビオン酸ナリウム   P113   Fトラメチルアンモニウム=ヒドロキシド   P114   1 - (2, 3, 8, 8 - Fトラメチルー1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 8 - オクタヒドロ - 2 - ナフチルンタンの混合物を主成分(80%以上)とする、3 - メチルペンター3 - エン - 2 - オンと3 - メチリデン - 7 - メチルオ タター1, 6 - ジェンの反反性 定物   P115   1 - [(3R, 3aR, 7R, 8aS) - 3, 6, 8, 8 - テトラメチルー1, 2, 3, 4, 7, 8, 8 - ヘキサヒドロ - 1 H	1 30		/ <del>-</del> / - // - /	
P99		2-tert-ブチルアミノ-4-シクロプロピルアミノ-6-メチルチオ-1, 3, 5-トリアジン		
P100 3 - (4 - tert - ブチルフェニル) - 2 - メチルプロパナール P101 2 - tert - ブトキンエタノール P102 タリウム及びその化合物 P103 炭化ケイ素 P105 炭酸リチウム P106 チオシアン酸銅() P107 チフルザミド P108 1 - デカナール P109 1.1,22 - デトラフロエタン P110 テトラナトリウム - 2, 2', 2', 2', 2', 2', 2', 2', 2', 2',				
P101         2ーtert ー ブトキシエタノール           P102         タリウム及びその化合物           P103         炭化ケイ素           P105         炭酸リチウム           P106         チオシアン酸銅(1)           P107         チフルザミド           P108         1 ーデカナール           P109         1,1,2,2ートラクロロエタン           P110         テトラナリウム=2, 2', 2', 2'' ー (エチレンジニトリロ)テトラアセタート           P111         テトラフルオロエチレン           P112         2, 2, 3, 3ーテトラフルオロプロピオン酸ナトリウム           P113         テトラメチルアンモニウム=ヒドロキシド           P114         1 ー (2, 3, 8, 8ーテトラメチルー1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 8aーオクタヒドロー2ーナフチル)エタノン、1ー(2, 3, 8, 8ーテトラメチルー1, 2, 3, 4, 6, 7, 8, 8aーオクタヒドロー2ーナフチル)エタノン及協会物を主成分(80%以上)とする、3ーメチルペンター3ーエンー2ーオンと3ーメチリデンーア・メチルオクター1、6ージエンの反応生成物           P115         3 ー (3, 8, 8ーデトラメチルー1, 2, 3, 4, 6, 7, 8, 8aーオウタヒドロー2ーナフチル)エタノンの反応生成物           P116         テルル及びその化合物           P117         ドデシルース、ア・メタノアメレンー5ーイル]エタノン           P118         2 ー (NードデシルーN、N・ジメチルアンモニオ)アセタート           P119         テトラビドロフラン           P119         テトラビドロフラン           P120         トランスー1、2 ー ジウロロエチレン           P121         トリナウドルアミン           トンクトアルアン         トンクトア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・				
P102         夕りウム及びその化合物           P103         炭化ケイ素           P106         デオシアン酸銅(1)           P107         チフルザミド           P108         1ーデカナール           P109         1.1.22-テトラクロロエタン           P110         テトラナトリウム=2、2'、2''、2''' - (エチレンジニトリロ)テトラアセタート           P111         テトラフルオロエチレン           P112         2、2、3、3 -テトラフルオロプロピオン酸ナトリウム           P113         テトラメチルアンモニウム=ヒドロキシド           P114         1 - (2、3、8、8 - テトラメチルー1、2、3、4、5、6、7、8 - オクタヒドロー2ーナフチル)エタノン及び1ー(2、3、8、8 - テトラメチルー1、2、3、5、6、7、8、8a - オクタヒドロー2ーナフチル)エタノンの混合物を主成分(8の%以上)とする、3 - メチルペンター3 - エンー2ーオンと3 - メチリデンー7 - メチルオクター1、6 - ジエンの反応生成物           P115         1 - (13R、3aR、7R、8aS) - 3,6、8、8 - テトラメチルペンター3 - エンー2 - オンと3 - メチリデンー7 - メチルオクター1、6 - ジエンの反応生成物           P116         テルル及びその化合物           P117         ドアカンー1 - テオ - ル           P118         2 - (NードデシルーN、Nージメチルアンモニオ)アセタート           P119         テトラヒドロフラン           P119         テトラヒドロフラン           P120         トランスー1、2 - ジウロロエチレン           P121         トリナウルアミン           P122         トルクロホスメチル				
P103         炭化ケイ素           P105         炭酸リテウム           P106         チオシアン酸鋼(1)           P107         チフルザミド           P108         1ーデカナール           P109         1.1.22-デトラウロロエタン           P110         テトラナトリウム=2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、				
P105         炭酸リチウム           P106         チオシアン酸銅(1)           P107         チフルザミド           P108         1 ーデカナール           P109         11.22-〒トラクロロエタン           P110         テトラナドリウム=2, 2', 2'', 2''' - (エチレンジニトリロ)テトラアセタート           P111         テトラフルオロエチレン           P112         2, 2, 3, 3 - テトラフルオロプロピオン酸ナトリウム         フルプロパネートナリウム塩又はテトラピオン           P113         テトラメチルアンモニウム=ヒドロキシド         フルプロパネートナリカム塩又はテトラピオン           P114         1 - (2, 3, 8, 8 - テトラメチルー1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8 - オクタヒドロー2 - ナフチル)エタノン、1 - (2, 3, 8, 8 - テトラメチルー1, 2, 3, 5, 6, 7, 8, 8a - オクタヒドロー2 - ナフチル)エタノン及び1 - (2, 3, 8, 8 - テトラメチルー1, 2, 3, 5, 6, 7, 8, 8a - オクタヒドロー2 - ナフチル)エタノンの服合物を主成分(80%以上)とする、3 - メチルペンター3 - エンー2 - オンと3 - メチリデン - ア・メチルオクター1, 6 - ジェンの反応生成物           P115         1 - [(3R, 3aR, 7R, 8aS) - 3, 6, 8, 8 - テトラメチルー2, 3, 4, 7, 8, 8a - ヘキサヒドロー1H - 3a, 7 - メタノアズレンー5 - イルレヌケン - イルレヌケン - イルレヌケン - イルレヌびその化合物           P117         デトラヒドロフラン           P118         2 - (NードデシルーN, Nージメチルアンモニオ)アセタート - テトラヒドロフラン           P119         テトラヒドロフラン           P120         トランスー1, 2 - ジクロロエチレン           P121         トルゲウエスメチル           P122         トルグロホスメチル				
P106				
P107         チフルザミド           P108         1 ーデカナール           P109         1.1.22-アトラクロロエタン           P110         テトラナトリウム=2、2′、2′′、2′′′ ー (エチレンジニトリロ)テトラアセタート           P111         テトラフルオロエチレン           P112         2、2、3、3 ーテトラフルオロプロピオン酸ナトリウム           アトラメチルアンモニウム=ヒドロキシド           P113         テトラメチルーフ・2、3、4、5、6、7、8 ーオウタヒドロー2ーナフチル)エタン、1ー(2、3、8、8 ーテトラメチルー1、2、3、4、6、7、8、8aーオクタヒドロー2ーナフチル)エタノン及び1ー(2、3、8、8 ーテトラメチルー1、2、3、5、6、7、8、8aーオクタヒドロー2ーナフチル)エタノンの混合物を主成分(80%以上)とする、3 ーメチルペンター3 ーエンー2ーオンと3 ーメチリデンー7 ーメチルオクター1、6 ージエンの反応生成物           P115         1 ー((3R、3aR、7R、8aS)ー3、6、8、8 ーテトラメチルー2、3、4、7、8、8aーヘキサヒドロー1Hー3a、7・アカシイアズレンー5ーイル)エタノン           P116         テルル及びその化合物           P117         ドデカンー1 ー チオール           P118         2 ー((NードデシルーN、Nージメチルアンモニオ)アセタート           P119         テトラヒドロフラン           P119         テトラヒドロフラン           P120         トランスー1、2 ージウロロエチレン           P121         トルクロホスメチル				
P109         1,1,2,2-テトラクロロエタン           P110         テトラナトリウム=2, 2*, 2*, 2*, 2*, 2*, 2*, 2*, 2*, 2*, 2		チフルザミド		
P110         テトラナトリウム=2、2′、2′′、2′′′ー(エチレンジニトリロ)テトラアセタート           P111         テトラフルオロエチレン           P112         2、2、3、3ーテトラフルオロプロピオン酸ナトリウム         フルプロパネートナトリウム塩又はテトラピオン           P113         テトラメチルアンモニウム=ヒドロキンド           P114         1ー(2、3、8、8ーテトラメチルー1、2、3、4、6、7、8、8aーオクタヒドロー2ーナフチル)エタノン、1ー(2、3、8、8ーテトラメチルー1、2、3、5、6、7、8、8aーオクタヒドロー2ーナフチル)エタノン及び1ー(2、3、8、8ーテトラメチルー1、2、3、5、6、7、8、8aーオクタヒドロー2ーナフチル)エタノンの混合物を主成分(80%以上)とする、3ーメチルベンター3ーエンー2ーオンと3ーメチリデンー7ーメチルオクター1、6ージエンの反応生成物           P115         1ー[(3R、3aR、7R、8aS)ー3、6、8、8ーテトラメチルー2、3、4、7、8、8aーへキサヒドロー1Hー3a、7ーメタ/アズレンー5ーイル]エタノンP116         テルル及びその化合物           P117         ドデカンー1ーチェールP118         2ー(NードデシルーN、Nージメチルアンモニオ)アセタートP119         テトラヒドロフランP1920           P120         トランスー1、2ージウロロエチレンP121         トリオクチルアミンP122         トルクロホスメチル				
P111         テトラフルオロエチレン           P112         2, 2, 3, 3 - テトラフルオロプロピオン酸ナトリウム         フルプロパネートナトリウム塩又はテトラピオン           P113         テトラメチルアンモニウム=ヒドロキシド         アトラピオン           P114         1 - (2, 3, 8, 8 - テトラメチル - 1, 2, 3, 4, 6, 7, 8, 8a - オクタヒドロー2 - ナフチル)エタノン。1 - (2, 3, 8, 8 - デトラメチル - 1, 2, 3, 4, 6, 7, 8, 8a - オクタヒドロー2 - ナフチル)エタノンの混合物を主成分(80%以上)とする。3 - メチルペンタ - 3 - エンー2 - オフと3 - メチリデンー 7 - メチルオクター1, 6 - ジェンの反応生成物           P115         1 - ((3R, 3aR, 7R, 8aS) - 3, 6, 8, 8 - デトラメチルー2, 3, 4, 7, 8, 8a - ヘキサヒドロー1H - 3a, 7 - メダアズレン - 5 - イル]エタノン           P116         デルル及びその化合物           P117         ドデンレー 1 - チオール           P118         2 - ((NードデンルーN, Nージメチルアンモニオ)アセタート           P119         テトラヒドロフラン           P120         トランスー1, 2 - ジウロロエチレン           P121         トリオウチルアミン           P122         トルクロホスメチル				
P112         2, 2, 3, 3 - テトラフルオロプロピオン酸ナトリウム         フルプロパネートナトリウム塩又は テトラピオン           P113         テトラメチルアンモニウム=ヒドロキシド         1 - (2, 3, 8, 8 - テトラメチル - 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8 - オクタヒドロー2ーナフチル)エタノン、1 - (2, 3, 8, 8 - テトラメチル - 1, 2, 3, 5, 6, 7, 8, 8a - オクタヒドロー2ーナフチル)エタノン及び1 - (2, 3, 8, 8 - テトラメチル - 1, 2, 3, 5, 6, 7, 8, 8a - オクタヒドロー2ーナフチル)エタノン及び1 - (2, 3, 8, 8 - テトラメチル - 1, 2, 3, 5, 6, 7, 8, 8a - オクタヒドロー2ーナフチル)エタノン及び1 - (2, 3, 3, 3 - メチルペンター3 - エンー2ーオンと3 - メチリデンーフーメチルオクター1, 6 - ジェンの反応生成物           P115         1 - ((3, 3a, 7, R, 8as) - 3, 6, 8, 8 - テトラメチルー2, 3, 4, 7, 8, 8a - ヘキサヒドロー1H - 3a, 7 - メタノアズレンー5ーイル]エタノン アルスびその化合物 アルル及びその化合物 アルルスびその化合物 アルフトナーナール アトランドウンフト アウス・1, 2 - ジクロエチレン P119         テトラとドロフラン トランス - 1, 2 - ジクロロエチレン P120           P119         トランス - 1, 2 - ジクロロエチレン P121         トリオクチルアミン トルクロホスメチル				
アトラビオン   アトラビオン   アトラビオン   アトラビオン   アトラビオン   アトラビオン   アトラジチルアンモニウム=ヒドロキシド   1 ー (2, 3, 8, 8 ー テトラメチルー1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8 ー オクタヒドロー2 ー ナフチル)エタノン、1 ー (2, 3, 8, 8 ー テトラメチルー1, 2, 3, 4, 6, 7, 8, 8aーオクタヒドロー2 ー ナフチル)エタノンの混合物を主成分(80%以上)とする、3 ー メチルペンター3 ー エンー2 ー オンと3 ー メチリデンー アーメチルオクター1, 6 ー ジエンの反応生成物   アトラジェンの反応生成物   アトランス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・			フルプロパネートナトロウ / 佐豆/土	
P113	r 112			
(2, 3, 8, 8ーテトラメチルー1, 2, 3, 4, 6, 7, 8, 8aーオクタヒドロー2ーナフチル) エタノン及び1ー(2, 3, 8, 8ーテトラメチルー1, 2, 3, 5, 6, 7, 8, 8aーオクタヒドロー2ーナフチル) エタノンの混合物を主成分(80%以上) とする、3ーメチルペンター3ーエンー2ーオンと3ーメチリデンー7ーメチルオクター1, 6ージエンの反応生成物  P115 1ー[(3R, 3aR, 7R, 8aS)ー3, 6, 8, 8ーテトラメチルー2, 3, 4, 7, 8, 8aーヘキサヒドロー1Hー3a, 7ーメタ/アズレンー5ーイル コタノン ラーイル コタノン ラーイル コタノン ドプレル及びその化合物  P117 ドデカンー1ーチオール  P118 2ー(NードデシルーN, Nージメチルアンモニオ) アセタート  P119 テトラヒドロフラン  P120 トランスー1, 2ージクロロエチレン  P121 トリオクチルアミン				
クター1、6ージエンの反応生成物       P115     1-[(3R, 3aR, 7R, 8aS)-3, 6, 8, 8-テトラメチルー2, 3, 4, 7, 8, 8a-ヘキサヒドロー1H-3a, 7-メタ/アズレンー5ーイル]エタ/ン       P116     テルル及びその化合物       P117     ドデカンー1ーチェール       P118     2-(NードデシルーN, Nージメチルアンモニオ)アセタート       P119     テトラヒドロフラン       P120     トランスー1、2ージクロロエチレン       P121     トリオクチルアミン       P122     トルクロホスメチル	P114	(2, 3, 8, 8ーテトラメチルー1, 2, 3, 4, 6, 7, 8, 8aーオクタヒドロー2ーナフチル)エタノン及び1ー(2, 3, 8, 8ーテトラメチルー1, 2, 3, 5, 6, 7, 8, 8aーオクタヒドロー2ーナフチル)エタノンの混合		
3a, 7 - メタ/アズレン - 5 - イル]エタノン	1			
3a, 7-メタ/アズレン-5-イル]エタノン       P116     テルル及びその化合物       P117     ドデカン-1-チオール       P118     2-(N-ドデシルーN, N-ジメチルアンモニオ) アセタート       P119     テトラヒドロフラン       P120     トランス-1, 2-ジクロエチレン       P121     トリオクチルアミン       P122     トルクロホスメチル	P115	1-[(3R, 3aR, 7R, 8aS)-3, 6, 8, 8-テトラメチル-2, 3, 4, 7, 8, 8a-ヘキサヒドロー1H-		
P117         ドデカン-1-チオール           P118         2 - (N-ドデシル-N, N-ジメチルアンモニオ) アセタート           P119         テトラヒドロフラン           P120         トランス-1, 2-ジクロロエチレン           P121         トリオクチルアミン           P122         トルクロホスメチル				
P118       2-(N-ドデシル-N, N-ジメチルアンモニオ)アセタート         P119       テトラヒドロフラン         P120       トランス-1, 2-ジクロロエチレン         P121       トリオクチルアミン         P122       トルクロホスメチル				
P119 テトラヒドロフラン P120 トランス - 1, 2 - ジクロロエチレン P121 トリオクチルアミン P122 トルクロホスメチル				
P120     トランス - 1, 2 - ジクロロエチレン       P121     トリオクチルアミン       P122     トルクロホスメチル				
P121 トリオクチルアミン P122 トルクロホスメチル				
P123 N-トリクロロメチルチオー4ーシクロヘキセンー1, 2ージカルボキシイミド キャプタン キャプタン				
	P123	Nートリクロロメチルチオー4ーシクロヘキセンー1, 2ージカルボキシイミド	キャプタン	

POSE   POSE POSE POSE POSE POSE   POSE POSE POSE POSE POSE POSE POSE POSE	P124	トリシクロ[5, 2, 1, 02, 6]デカー4ーエンー3ーイル=プロピオナート		1
### 1970年979 20 1975年979 20			トロクノプロパノ リマン・	
1977年のアグリアのアグリアのアグリアのアグリアのアグリアのアグリアのアグリアのアグリ			1-54 75 11 15 - 767 35	
1979				
E a - [2 - 6 - 1 + 1 + 1 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 +				
18.1 N - N - N - N - N - N - N - N - N - N				
1931				
2-1(1-1)**/ 1975 -				
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##				
144-18	P133			
### 17/15 A 17 **********************************		=14~16)		
国家学が2年、6 年で入口を表があるが、1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	P134			
***********************************				
対けの大きに対す。	P136			
1938   2.2   2.7   2.7   1.2   1	P137			
PRIST				
2.4 -				
日本日			プロメトリン	
2代(C-A)ルクドビリン・1-47+1数    1	P141			
1-4) - ビス   アーダー アンス   アーダー アーダー アンス   ア				
144	P143			
N N-ビス(2-E) E10 Pi シェルド   アルドス(2-E) Pi N N-E X   Pi N				
N, N-ピス(2〜EVE 10キングアから、2ケックアカーの・エンアド文は(02、122) ーN, N-ピス(2〜EVE 10キングアから、2ケックアカー ロー・フェンアドス 10キングアカー ロー・ファルンフェル 10キングラール 10キングラー	P145			
2-1(2-アキシエキシフェチンストラント)   1-101		N, Nービス(2ーヒドロキシエチル)オクタデカー9ーエンアミド又は(9Z, 12Z)ーN, Nービス(2ーヒド		
11 - Lich Ry 12 Pu - 1 - 1 - 1 Pu		ロキシエチル)オクタデカー9、12ージエンアミド		
1948   1979   1978   1979	P146	2ー(2ーブトキシエトキシ)エタノール		
1915   1929年  1915   1915	P147	(1ーヒドロキシエタンー1, 1ージイル)ジホスホン酸又はそのカリウム塩若しくはナトリウム塩		
79.18世	P148			
1915   1	P149			
1912	P150			
1913   1-tent-プチルングロハキサンー   - t/ル=アビタート   1	P151			
1-(5-tan-ブチルフ-1, 3, 4-アシアブール-2-イル) - 1, 3-ジメチルウレア	P152		カルブチレート	
Pisto   P-T-P-F-Y-T-P-III	P153			
Pipis   Proposition amine ethique coids addact. Tallow amine, ethocylated   Pipis   Proposition amine ethocylated   Pipis   Proposition amine ethocylated   Pipis   Proposition   Prop	P154		テブチウロン	
Pinary Lallow amine ethylene code adduct. Tallow amine, ethocylated   Pinary Lallow Amine, ethocylated   Pinary Lallo	P155			
1918	P156			
5-フルオロー1、3 - ジメチルート   2- (4 - メチルベクシー2 - イル)フェニル   ー 1 + ー ヒラソー   ペンフルフェン   ルー(4 - フルオロフェニル) - 2 - 3 - ジクロロマレイミド   フルボルイミド   フルボルイミド   フルボルイミド   フルボルイミド   フルブルイミド   フルブルイミド   フルブルイミド   フルブルイミド   フルブルイミド   フルブルイミド   フルブルイミド   フルブルイミド   フルブルインド	P157	Primary tallow amine ethylene oxide adduct; Tallow amine, ethoxylated; Tallow amine, ethoxylated		
ルー4ーカルボキャミミ	P158			
N-(4'-フルオロフエニル)-2、3-グワロロマレイS    1916	P159		ペンフルフェン	
Pis   カルプラール	D160	ルー4ールルホキサミト  Nー(4'ーフルオロフェニル)ー2 3ージクロロマレイミド	フルオルイミド	
1912			77777 121	
カルポニシリル P183 3 - 3 - プロモ - 6 - フルオロ - 2 - メチルインド・ル - 1 - イルスルホニル) - N、N - ジメチル - 1、 P184 へキャレアシール - 1 - スルルンマド P185 へキャレアシール - 1 - スルルンマド P185 へも・トリアシール - 1 - スルルンマド P185 へも・フェル・オーンスル・オーンスト P186 へキンル・コー、3 - 4、6、7、8 - ヘキサドロンクロペンタ[a]イソウロメン P185 へも・フェル・オーンスト P187 1 - ヘキサンチル・1、3、4、6、7、8 - ヘキサドロンクロペンタ[a]イソウロメン P187 1 - ヘキセン P188 ○ - 1 - スキセン P188 ○ - 1 - スキセン P189 N - [4 - 4、1、1、1、2、3、3、3 - ペイタフルオロブロパン - 2 - イル) - 2 - メチルフェニル ] - 3 - スルペンジアド P189 N - [4 - 4、1、1、1、2、3、3、3 - ペイタフルオロブロパン - 2 - イル) - 2 - メチルフェニル ] - 3 - アルペンジアネン P190 1 - ペータ・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス			クロルフェナピル	
2. 4 トリアリール-1 スルホンアド   Pile   A - キャドドロー 1. 8 - E - Pily (2 - Է FE Pily			,	
Pi84	P163		アミスルブロム	
9165   4.6.6.7.8.8  ヘキサメチルー1.3.4.6.7.8  ヘキサセドロシウロベンダ(g) / イソウロメン   1916   トーヘキセン	D104	2,4-トリアソールー1ースルホンアミド   a,+#-トピロ1_2_E_  LIZ/2_  -  E  2++		
トキンル=2 — ドドロキシベングアート				
1 - ハキセン				
1988				
N=(4-(1, 1, 1, 2, 3, 3, 3-ヘブタフルオログロパン-2-イル)-2-メチルフェニル]-3-コト・N-12-メチルコー(メチルスルホニル)プロパン-2-イル]フタルでド   N-(N-12-メチルコー(メチルスルホニル)プロパン-2-イル]フタルでド   N-(N-79-メート・N-12-メールー)   N-(N-79-メールー)   N-(N-79-X-メールー)   N-(N-79-X-X-X-X-X-X-X-X-X-X-X-X-X-X-X-X-X-X-				
コード・N' -   2 - メチル・   - (メチルスルホニル) プロパシー2 - イル) フタルアド   1710			コルベンジマンド	
P170   ハーペブタン   P171   Nーペブチルオキ/ラン・2ーオン   P172   ペルブルカロオウタン酸及びその塩   P173   ペルジルカロオウタン酸及びその塩   P174   Sーペンジルニエチル(3ーメチルブタン・2ーイル)カルバモチオアート   エスプロカルブ   プロズルボカルブ   プロズルボール   プロズルボカルブ   プロズルブカルルブ   プロズルブロバルブ   プロズルブロバルブトル   プロズルブルルボルブ   プロズルブルルボルブルルボルブルルボルブルルボルブルルボルブルルボルブルルボルブル	P109		ブルペンジ アミト	
PI71   S-ヘブチルバキソウン・2-オン   PI72   N-ルンポロオウタン施設では   PI73   2-ペンジリデンオウタナール   II	P170			
PIT2				
PI14	P172	ペルフルオロオクタン酸及びその塩		
PI14				
P176   3-(1,3-ペン)ジオキソール-5-イル)-2-メチルプロバナール	P174	Sーベンジル=エチル(3ーメチルブタンー2ーイル)カルバモチオアート	エスプロカルブ	
P177	P175	Sーベンジル=ジプロピルカルバモチオアート	プロスルホカルブ	
2018	P176	3-(1,3-ベンゾジオキソール-5-イル)-2-メチルブロパナール		
ウム塩         ウム塩           P179         始和脂肪酸(C=8~18、直鎖型)のカリウム塩又は不飽和脂肪酸(C=18、直鎖型)のカリウム塩           P180         ホセチル           P181         ポリ(オキンメチレン)           P182         無水酢酸           P183         3 ーメシチルー2ーオキサスピロ[4、4]/ナー3ーエンー4ーイル=3、3ージメチルブタノスピロメシフェンアート           P184         メチルイソブチルケトン           P185         2 ーメチルー3ー(pーインプロピルフェニル)プロピオンアルデヒド           P186         メチルー[2ークロロー5ー((E) 1ー[([6ーメチルー2ービリジル)メキシ]イミノ]エチル)ペンジル]           P187         Nーメチルジデカンー1ーイルアミン           P188         メチルニ[2ープロー3ー[(3ーイトランドロフィル)ウレイド]スルホニル メチル)ペンゾアート         ベンスルフロンメチルトトトトトトトトトトトトトトトトトトトトトトトトトトトトトトトトトトトト	P177	ペントキサゾン		
P179	P178	飽和脂肪酸(C=8~18、直鎖型)のナトリウム塩又は不飽和脂肪酸(C=16~18、直鎖型)のナトリ		
PI80 ホセチル PI81 ポリ(オキシメチレン) PI82 無水酢酸 PI83 3-メンチルー2ーオキツン1ーオキサスピロ[4.4]/ナー3ーエンー4ーイル=3、3ージメチルブタ/ アート PI84 メチルイソブチルケトン PI85 2ーメチルー3ー(pーイ)プロピルフェニル)プロピオンアルデヒド PI86 メチル=[2ークロロー5ー((E)ー1ー[[(6ーメチルー2ーピリジル)メトキシ]イミノリエチル)ペンジル] ピリペンカルブ カルバマート PI87 Nーメチルグラカンー1ーイルアミン PI88 メチル=[2ークロロー5ー((E)ー1ー[[(6ーメチルー2ーピリジル)メトキシ]イミノリエチル)ペンゾアー ペンスルフロンメチルト・ト ト				
P181				
P182 無水酢酸 P183 3-メンデルー2ーオキソー1ーオキサスピロ[4. 4]/ナー3ーエンー4ーイル=3, 3ージメチルブタ/アト アト P184 メチルー7/ブチルケトン P185 2ーメチルー3ー(pーイ)プロピルフェニル)プロピオンアルデヒド P186 メチル=[2-クロロー5ー((E)ー1ー[(Gーメチルー2ービリジル)メトキシ]イミ/]エチル)ペンジル プルバマート P187 Nーメチルグラカンー1ーイルアミン P188 メチル=2 - (([3-(4, 6ージメトキシピリミジンー2ーイル)ウレイド]スルホニル メチル)ペンゾアー ト メチル=2 - (([3-(4, 6ージメトキシピリミジンー2ーイル)ウレイド]スルホニル メチル)ペンゾアー ト ト メチル=2 - (([3-(4, 6ージメトキシピリミジンー2ーイル)ウレイド]スルホニル メチル)ペンゾアー ト ト メチル=2 - (エロー3ー ((3-テトラヒドロフリル)メチル)グアニジン P190 1ーメチル=2 - ニトロー3ー ((3-テトラヒドロフリル)メチル]グアニジン P191 メチル=2 - ニトロー3ー ((3-テトラヒドロフリル)メチル]グアニジン P192 Nーメチル=2 - ビロリドン P193 2ーメチルプロペン=2ーチオール P194 メチル=2ービロリドン P195 メチル(2ーペンチルー3ーオキソーシクロペンチル)アセテート P196 1ーメチル=Nー[2-(4ーメチルペンタンー2ーイル) - 3ーチェニル]ー3ー(トリフルオロメチル)ー1 トニデリールー4ーカルボキサミド P197 3ーメトキンアニリン P198 2ーメトキンアニリン P199 2ー(2ーメトキンア・リンアール P199 2ー(2ーメトキンア・リンアール P199 2ー(2ーメトキンア・リンアール P190 3トメトンエール]プロペソアート P190 3トメトンエール]プロペリアート P190 3トメース・エール]プロペリアート P190 3トメース・エール   スール・エール   ス				
P183				<b></b>
アート         P184         メチルイソブチルケトン           P185         2ーメチルー3ー(pーイソブロピルフェニル)プロピオンアルデヒド			フピロ メ゚・¬=ヾ.	<b> </b>
PI84	F183		ヘレログシノエン	
P185	P184			
P186         メチル=[2-クロロ-5-((E)-1-[[(6-メチル-2-ピリジル)メトキシ]イミノ]エチル)ペンジル] カルパマート アート アート アート アート アート アート アート アート アート ア				
カルバマート P187 Nーメチルジデカンー1 - イルアミン P188 メチル=2-([[3-(4, 6ージメトキシピリミジンー2ーイル)ウレイド]スルホニル]メチル)ペンブアー ト P190 1-メチルー2ーニトロー3ー[(3ーテトラヒドロフリル)メチル]グアニジン P191 メチル=2ーヒドロキシペンゾアート P192 Nーメチルー2ーピロリドン P193 2ーメチルプロパンー2ーボカルパマート P194 メチルーベンゾイミダゾールー2・イルカルパマート P195 メチル(2ーペンチルー3ーオキソーシクロペンチル)アセテート P196 1ーメチルー0ー[2・(4ーメチルペンタンー2ーイル)カルパマート P197 3ーメキンアニリン P198 2ーメキ・シアニリン P199 2ー(メーメキ・シアエリン P199 2ー(メーメキ・シアメール P200 1ーメトキシェトキシ)エタノール P200 1ーメトキシー2ー(2ーメトキシェトキシ)エタン P201 メトミノストロビン P201 メトミノストロビン P202 メラミン R204 モノメチルジテナカルバミン酸ナトリウム P205 硫化(2、4、4ートリメチルペンテン) P206 硫酸ジメテル P207 切ん酸ジーnーブチルーフェニル P207 りん酸ジーnーブチルーフェニル P207 切ん酸ジーnーブチルーフェニル P207 切ん酸ジーnーブチルーフェニル P207 切ん酸ジーnーブチルーフェニル			ピリベンカルブ	
P188       メチル=2~([[3 - (4, 6 - ジメトキシピリミジンー2 - イル) ウレイド]スルホニル]メチル)ペンゾアート       ペンスルフロンメチル         P189       メチル=ドデカノアート       メチル=ミートロー3~[(3 - テトラヒドロフリル) メチル] グアニジン       ジノテフラン         P190       1 - メチルー2 - ニトロー3~[(3 - テトラヒドロフリル) メチル] グアニジン       サリチル酸メチル         P191       メチル=2 - ヒドロトシペンブアート       サリチル酸メチル         P192       N - メチル・2 - ヒロリドン       N - メチル・2 - ヒロリドン         P193       2 - メチルブロパンー2 - チオール       サリチル・ス・メール・2 - (4 カル・2 - イルカルバマート)         P195       メチル(2 - ペンチルー3 - オキソーシクロペンチル) アセテート       アリタ・オーノー・ス・カー・オーノー・ス・オーノー・ス・オーノー・ス・オーノー・ス・オーノー・ス・オーノー・ス・オーノー・ス・フェー・ス・ファー		カルバマート		ļ
P189	P187		*****	
P190       1 - メチル - 2 - 二 トロ - 3 - [(3 - テトラヒドロフリル)メチル] グアニジン       ジノテフラン         P191       メチル - 2 - 二 ヒ ロ リン       サリチル酸メチル         P192       N - メチル - 2 - ピ ロ リン       サリチル酸メチル         P193       2 - メチル - 2 - ピ ロ リン       アリカン         P194       メチルニペンソイミダゾール・2 - イ ルカルパマート       アリタン・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス	P188	メナル=2ー({[3ー(4, 6ーシメトキシビリミジンー2ーイル)ウレイド]スルホニル]メチル)ベンゾアー	ヘンスルフロンメチル	
P190       1 - メチル - 2 - 二 トロ - 3 - [(3 - テトラヒドロフリル)メチル] グアニジン       ジノテフラン         P191       メチル - 2 - 二 ヒ ロ リン       サリチル酸メチル         P192       N - メチル - 2 - ピ ロ リン       サリチル酸メチル         P193       2 - メチル - 2 - ピ ロ リン       アリカン         P194       メチルニペンソイミダゾール・2 - イ ルカルパマート       アリタン・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス	P189	u <sup>-</sup> メチル=ドデカノアート		
P191       メチル=2-ヒドロキシベンゾアート       サリチル酸メチル         P192       N-メチルー2-ピロリドン       アリス・メチル・フェーロリドン         P193       2-メチルプロパンー2-チオール       アリタ・ス・ア・フェール         P194       メチル・ベンゾイミダゾール・2-イルカルパマート       アリラ・ファール         P195       メチル(2-ベンチルー3-オキソーシクロペンチル)アセテート       アリウ・ファール・ファール・ファール・ファール・ファール・ファール・ファール・ファール			ジノテフラン	
P192       Nーメチルー2ーピロパン         P193       2ーメデルプロパンー2ーチオール         P194       メチルーベンゾイミダゾールー2ーイルカルパマート         P195       メチル(2ーペンチルー3ーオキソーシクロペンチル)アセテート         P196       1ーメチルーNー[2ー(4ーメチルペンタンー2ーイル)ー3ーチエニル]ー3ー(トリフルオロメチル)ー1 Hーピラゾールー4ーカルボキサミド         P197       3・メキ・ジアコリン         P198       2ーメトキシエチル=2ー[4ー(tertーブチル)フェニル]ー2ーシアノー3ーオキソー3ー[2ー(トリフル オロメチル)フェニル]プロパノアート         P199       2ー(2ーメトキシエトキシ)エタノール         P200       1ーメトキシー2ー(2ーメトキシエトキシ)エタンール         P201       メトラスストロピン         ア202       メラミン         P203       モノ(又はポリ)クロロアルカン(C=14~17、直鎖型)         P204       モノメチルジテオカルバミン酸ナトリウム         P205       硫酸ジメテル         P206       硫酸ジメテル         P207       りん酸ジーーブチルーフェニル				
P193 2ーメチルプロパンー2ーチオール P194 メチルーベンソイミダゾール・2ーイルカルパマート P195 メチル(2ーベンチルー3ーオキソーシクロペンチル)アセテート P196 1ーメチル・Nー[2ー(4ーメチルペンタンー2ーイル)ー3ーチエニル]ー3ー(トリフルオロメチル)ー1 Hービラゾールー4ーカルボキサミド P197 3・メキシアニリン P198 2ーメトキシエチル=2ー[4ー(tertーブチル)フェニル]ー2ーシアノー3ーオキソー3ー[2ー(トリフル オロメチル)フェニル1ブロパノアート P199 2ー(2ーメトキシエトシーンエタノール P200 1ーメトキシニトセン・エケール P200 オトミノストロピン メラミン P201 メトミノストロピン P202 メラミン P203 モノ(ヌはポリ)クロロアルカン(G=14~17、直鎖型) P204 モノメチルジチオカルパミン酸ナトリウム P205 硫化(2、4、4ートリメチルペンテン) P206 硫酸ジメテル P207 りん酸ジーnーブチルーフェニル	P192			
P194       メチルペンゾイミダゾールー2ーイルカルバマート         P195       メチル(2ーペンチルー3ーオキソーシクロペンチル)アセテート         P196       1ーメチルーNー[2ー(4ーメチルペンタンー2ーイル)ー3ーチェニル]ー3ー(トリフルオロメチル)ー1 Hービラゾールー4ーカルボキサミド         P197       3ーメトキシアニリン         P198       2ーメトキシェテルー2ー[4ー(tertーブチル)フェニル]ー2ーシアノー3ーオキソー3ー[2ー(トリフル オロメチル)フェニル]フロパノアート         P199       2ー(2ーメトキシェトキシ)エタノール         P200       1ーメトキシー2ー(2ーメトキシエトキシ)エタン         P201       メトラストロビン         P202       メラミン         P203       モノ(ヌはポリ)クロロアルカン(C=14~17、直鎖型)         P204       モノメチルジチオカルバミン酸ナトリウム         P205       硫化(2、4、4・アルメチルペンテン)         P206       硫酸ジメテル         P207       りん酸ジーーブチルーフェニル				
P195       メチル(2ーペンチルー3ーオキソーシクロペンチル)アセテート         P196       1ーメチルーNー(2ー(4ーメチルペンタシー2ーイル)ー3ーチェニル]ー3ー(トリフルオロメチル)ー1 Hーピラゾールー4ーカルボキサミド         P197       3ーメトキシアニリン         P198       2ーメトキシェチル=2ー[4ー(tertーブチル)フェニル]ー2ーシアノー3ーオキソー3ー[2ー(トリフル オロメチル)フェール]プロパノアート         P199       2ー(2ーメトキシェトキシ)エタノール         P200       1ーメトキシー2ー(2ーメトキシェトキン)エタン         P201       メトラノストロピン         P202       メラミン         P203       モノ(又はポリ)クロロアルカン(C=14~17、直鎖型)         P204       モノメチルジテオカルバミン酸ナトリウム         P205       硫化(2、4、4ート)メチルペンテン)         6       硫酸ジメテル         P207       りん酸ジーーブチルーフェニル				
P196       1ーメチルーN-[2-(4ーメチルペンタン-2-イル)-3ーチェニル]-3-(トリフルオロメチル)-1 Hービラゾールー4ーカルボキサミド       ペンチオピラド         P197       3・メトキシアフーソン       シフルメキシエチルコー2ー[4ー(tertーブチル)フェニル]ー2ーシアノー3ーオキソー3ー[2ー(トリフルオロメチル)フェニル]プロパゾアート       シフルメトフェン         P199       2ー(2ーメトキシエキシ)エタノール       シフルメトフェン         P200       1ーメトキシー2ー(2ーメトキシエトキシ)エタン       ア2の1         P201       メトミノストロピン       ア2の2         P202       メラミン       ア2の2         P203       モノ(又はポリ)クロロアルカン(C=14~17、直鎖型)         P204       モノメチルジテオカルバミン酸ナトリウム       ア2の5         R205       硫化(2、4、4ートリメチルペンテン)       協設メチル         P207       りん酸ジーア・ブチルーフェニル       ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
Hーピラゾールー4ーカルボキサミド	P196		ペンチオピラド	
P198       2 - メトキシエチル=2 - [4 - (tert - ブチル)フェニル] - 2 - シアノ-3 - オキソ-3 - [2 - (トリフル オロメチル)フェニル]プロパノアート         P199       2 - (2 - メトキシエトキン)エタノール         P200       1 - メトキシース - (2 - メトキシエトキシ)エタン         P201       メトミノストロピン         P202       メラミン         P203       モノ(又はポリ)クロロアルカン(C=14~17、直鎖型)         P204       モノメチルジテオカルバミン酸ナトリウム         P205       硫化(2, 4, 4 - トリメチルベンテン)         R206       硫酸ジメテル         P207       りん酸ジ-n-ブチル=フェニル		Hーピラゾールー4ーカルボキサミド	,	
オロメチル/フェニル]プロパノアート       P199     2ー(2ーメトキシエキシ)エタノール       P200     1ーメトキシー2ー(2ーメトキシエトキシ)エタン       P201     メトミノストロピン       P202     メラミン       P203     モノ(又はポリ)クロロアルカン(C=14~17、直鎖型)       P204     モノメチルジデオカルバミン酸ナトリウム       P205     硫化(2、4、4ートリメチルペシテン)       P206     硫酸ジメテル       P207     りん酸ジーnープチル=フェニル	P197			
P199 2-(2-メトキシエトキシ)エタノール P200 1-メトキシー2-(2-メトキシエトキシ)エタン P201 メトミノストロピン P202 メラミン P203 モノ(又はポリ)クロロアルカン(C=14~17、直鎖型) P204 モノメチルジテオカルバミン酸ナトリウム P205 硫化(2, 4, 4-トリメチルペンテン) R206 硫酸ジメテル P207 りん酸ジーnープチル=フェニル	P198		シフルメトフェン	
P200     1 - メトキシ-2 - (2 - メトキシエトキシ)エタン       P201     メトミノストロピン       P202     メラミン       P203     モノ(又はポリ)クロロアルカン(C=14~17、直鎖型)       P204     モノメチルジテオカルバミン酸ナトリウム       P205     硫化(2, 4, 4 - トリメチルペンテン)       P206     硫酸ジメテル       P207     りん酸ジ-n-ブチル=フェニル	D100			<del>                                     </del>
P201     メトミノストロピン       P202     メラミン       P203     モノ(又はポリ)クロロアルカン(C=14~17、直鎖型)       P204     モノメチルジチオカルバミン酸ナトリウム       P205     硫化(2、4、4~トリメチルペンテン)       P206     硫酸ジメテル       P207     りん酸ジーnープチル=フェニル				<b> </b>
P202     メラミン       P203     モノ(又はポリ)クロロアルカン(C=14~17、直鎖型)       P204     モノメチルジデオカルバミン酸ナトリウム       P205     硫化(2、4、4 ートリメチルペンテン)       P206     硫酸ジメテル       P207     りん酸ジーnープチル=フェニル				
P203     モノ(又はポリ) クロロアルカン(C=14~17、直鎖型)       P204     モノメデルジデオカルバミン酸ナトリウム       P205     硫化(2, 4, 4ートリメチルペンテン)       P206     硫酸ジメテル       P207     りん酸ジーnーブチルーフェニル				<del>                                     </del>
P204     モノメチルジチオカルバミン酸ナトリウム       P205     硫化(2, 4, 4 – トリメチルペンテン)       P206     硫酸ジメチル       P207     りん酸ジーnープチルーフェニル				<del>                                     </del>
P205     硫化(2, 4, 4 - トリメチルペンテン)       P206     硫酸ジメチル       P207     りん酸ジーnープチル=フェニル				
P206     硫酸ジメチル       P207     りん酸ジーn-ブチル=フェニル				<del>                                     </del>
P207 りん酸ジ-n-ブチル=フェニル				
	P207			
			_ 特定第一種指定化学物質の要件に	 核当している。

### 第二種指定化学物質の候補リスト

番号	物質名称	別名
1-6		
1-19	1-アミノ-9, 10-アントラキノン	
1-42	2ーイミダゾリジンチオン	
1-43	1, 1'ー[イミノジ(オクタメチレン)]ジグアニジン	
1-67	2. 3ーエポキシー1ープロパノール	
1-70	エマメクチン安息香酸塩	
1-109	オルトークロロトルエン	
1-110	パラークロロトルエン (DS) - 2 - [2 - (2 - 40007-5 - 1) - 2 - 2 - エポナシプロピルコー2 - エチルク・ダン・1 - 2 - ジナン	/ \ / だ /フッ \ .
1-114 1-116	(RS)-2-[2-(3-クロロフェニル)-2, 3-エポキシプロピル]-2-エチルインダン-1, 3-ジオン (4RS, 5RS)-5-(4-クロロフェニル)-N-シクロヘキシル-4-メチル-2-オキソー1, 3-チアゾリジン	インダノファン ヘキシチアゾクス
1 110	-3-カルボキサミド	14277777
1-118	2-(4-クロロフェニル)-2-(1H-1, 2, 4-トリアゾール-1-イルメチル)へキサンニトリル	ミクロブタニル
1-119	(RS)-4-(4-クロロフェニル)-2-フェニル-2-(1H-1, 2, 4-トリアゾール-1-イルメチル)ブチロニト	
	リル	
1-131	3ークロロー2ーメチルー1ープロペン	
1-137	シアナミド	
1-138	(RS) -2-シアノ-N-[(R)-1-(2, 4-ジクロロフェニル)エチル]-3, 3-ジメチルブチラミド	ジクロシメット
1-139	(S) - アルファーシアノー3 - フェノキシベンジル=(1R, 3S) - 2, 2 - ジメチルー3 - (1, 2, 2, 2 - テトラブロモ	トプロメトリン
1-140	エチル)シクロブロパンカルボキシラート  (RS)  -アルファーシアノー3  フェノキシベンジル  =2, 2, 3, 3	フェンプロパトリン
1-155	N-(シクロヘキシルチオ)フタルイミド	)±2347 (1×32
1-170	(RS) -2-(2, 4-ジクロロフェニル) -3-(1H-1, 2, 4-トリアゾール-1-イル) プロピル=1, 1, 2, 2-	テトラコナゾール
	テトラフルオロエチル=エーテル	
1-189	N, Nージシクロヘキシルー2ーベンゾチアゾールスルフェンアミド	
1-193	ジチオりん酸O, OージエチルーSー(2ーエチルチオエチル)	
1-204	ジフェニルエーテル	
1-205	1, 3ージフェニルグアニジン	
1-216	N, Nージメチルアニリン 臭素	
1-234 1-235	吴系  臭素酸の水溶性塩	
1-253	关系版の水溶性塩   手才りん酸0-4-ブロモー2-クロロフェニル-O-エチル-S-プロピル	プロフェノホス
1-276	3, 6, 9ートリアザウンデカンー1, 11ージアミン	7 1 7 1 7 1 7 1
1-278	トリエチレンテトラミン	
1-291	1, 3, 5ートリス(2, 3ーエポキシプロピル)ー1, 3, 5ートリアジンー2, 4, 6(1H, 3H, 5H)ートリオン	
1-294	2, 4, 6ートリブロモフェノール	
1-295	3, 5, 5ートリメチルー1ーヘキサノール	
1-301	トルエンジアミン	
1-306	ニアクリル酸ヘキサメチレン	
1-315	オルトーニトロトルエン  ビス / 1 _ メチリ _ 1 _ ファーリ エチリ ) _ ペリ ナヤミバ	
1-330 1-334	ビス(1ーメチルー1ーフェニルエチル)=ペルオキシド  4ーヒドロキシ安息香酸メチル	
1-338	2ービニルピリジン	
1-352	フタル酸ジアリル	
1-353	フタル酸ジェチル	
1-359	フルマルーブチルー2, 3ーエポキシプロピルエーテル	
1-364	ターシャリーブチル=4ー([[(1,3ージメチルー5ーフェノキシー4ーピラゾリル)メチリデン]アミノオキシ]メチル)	フェンピロキシメート
	ベンゾアート	
1-366	ターシャリーブチル=ヒドロペルオキシド	
1-368	4ーターシャリーブチルフェノール	1211 F ~ > .
1-370 1-371	2-ターシャリーブチルー5-(4-ターシャリーブチルベンジルチオ)-4-クロロー3(2H)-ピリダジノン N-(4-ターシャリーブチルベンジル)-4-クロロー3-エチル-1-メチルピラゾール-5-カルボキサミド	ピリダベン テブフェンピラド
1-372	N-(ターシャリーブチル) -2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド	7 7 7 1 2 1
1-377	フラン	
1-414	無水マレイン酸	
1-417	メタクリル酸2、3-エポキシプロピル	
1-419	メタクリル酸ノルマルーブチル	
1-429	メチル=3-クロロー5-(4,6ージメトキシー2-ピリミジニルカルバモイルスルファモイル)-1-メチルピラゾー	ハロスルフロンメチル
	ルー4ーカルボキシラート	
1-432	3ーメチルー1, 5ージ(2, 4ーキシリル)ー1, 3, 5ートリアザペンター1, 4ージエン	アミトラズ
1-434 1-440	メチルーN', N'ージメチルーNー[(メチルカルバモイル)オキシ]ー1ーチオオキサムイミデート  1ーメチルー1ーフェニルエチル=ヒドロペルオキシド	オキサミル
1-440	ー>テルー   ーノエールエテル=ヒトロベルタ キシト   2ーメルカプトベンゾチアゾール	
2-14	2 – [(トリルオキシ)メチル]オキシラン	
2-17	1-{3-クロロ-4-[1, 1, 2-トリフルオロ-2-(トリフルオロメトキシ)エトキシ]フェニル}-3-(2, 6-ジフ	ノバルロン
	ルオロベンゾイル)尿素	
2-20	ベンジル=アセタート	
2-23		シフルトリン
0.00	パンー1ーカルボキシラート	
2-26	1-(3,5-ジクロロ-2,4-ジフルオロフェニル)-3-(2,6-ジフルオロベンゾイル)尿素	テフルベンズロン
2-27 2-31	1,3-ジクロロー5,5-ジメチルイミダゾリジンー2,4-ジオン  2',3'-ジクロロー4'-ヒドロキシー1-メチルシクロヘキサンー1-カルボキサニリド	フェンヘキサミド
2-37	2	ルフェヌロン
1	(インゾイル) 尿素	
2-39	ニナトリウム=4ーアミノー3ー({4'ー[(2, 4ージアミノフェニル)ジアゼニル]ビフェニルー4ーイル}ジアゼニル)	
	<u> -5-ヒドロキシー6-(フェニルジアゼニル)ナフタレンー2、7ージスルホナート</u>	
2-91	6ーメチル[1, 3]ジチオロ[4, 5ーb]キノキサリンー2ーオン	キノキサリン系剤
S1	アセトアルデヒドシアンヒドリン	
S2	2ーアミノー3ークロロー1, 4ーナフトキノン	ACN
S3	アミルケイ皮アルデヒド   ケノ政務 0 _ コーノナシェチリ	
S4 S5	イン <u>酪酸β ーフェノキシエチル</u> イマザピル	イマザピル
S6	スマッヒル エチルメチルケトンペルオキシド	1 1 7 5 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7
S7	6ーエトキシー2, 2, 4ートリメチルー1, 2ージヒドロキノリン	
S9	塩化ベンゾイル	
S10	pーオキシ安息香酸プロピル	
S11	オクタン	
S12	1ーオクタンチオール	
S13	カプロン酸エチル	<u> </u>
S14	クロルフタリム	クロルフタリム

S15	(2ークロロエチル)(トリメチル)アンモニウム=クロリド	塩化クロロコリン
	クロロシクロへキサン	塩化プロロコリン
S16		
S17	N-({4-[2-クロロ-4-(トリフルオロメチル)フェノキシ]-2-フルオロフェニル}カルバモイル)-2,6-ジフ	ノルフェノクスロン
	ルオロベンズアミド	
S18	1-(4-クロロフェニル)-3-(2,6-ジフルオロベンゾイル)尿素	ジフルベンズロン
S19	3-(4-クロロフェニル)-3-(3, 4-ジメトキシフェニル)-1-モルホリノプロパー2-エン-1-オン	ジメトモルフ
S20	【2-[3-(4-クロロフェニル)プロピル】-2、4、4-トリメチル-1、3-オキサゾリジン-3-イル】(1H-イミ	
	ダゾールー1ーイル)メタノン	
S21	3-クロロプロパン-1, 2-ジオール	
S22	(5-クロロー2-メトキシー4-メチルピリジンー3-イル)(2, 3, 4-トリメトキシー6-メチルフェニル)メタノン	
S23	ゲラニオール	
S24	酢酸リナリル	
S26	$\alpha$ ーシアノー3ーフェノキシベンジル=Nー $(2-200-\alpha, \alpha, \alpha-1)$ フルオローpートリル $(2-200-\alpha, \alpha, \alpha-1)$	フルバロネート
	$\alpha - \nu \gamma / -3 - \nu \gamma / 2 -$	
S27	(2 - ジェブー3 - ブェブキジペンジル=3 - (2, 2 - ジグロロビニル) - 2, 2 - ジメテルジグロブロバンガルホギジー ラート	シベルメトリン
000		
S28	ジイソブチル=フタラート	
S29	ジエチル=スルファート	
S30	シクロスルファムロン	シクロスルファムロン
S31	3-(2, 4-ジクロロフェニル)-2-オキソ-1-オキサスピロ[4. 5]デカ-3-エン-4-イル=2, 2-ジメチ	スピロジクロフェン
	ルブタノアート	
S32	ジチオピル	ジチオピル
S33	ジトリデシル=フタラート	
S34	3, 5 - ジニトロー4 - t - ブチルー2, 6 - ジメチルアセトフェノン	
S35	$[3, (4, 5-)^2] + [3 + (3 + 3)^2] + [3 + (3 + 3)^2] + [3 + (4, 5-)^2] + [3 + (3 + 3$	
333	[3-(4, 3-)とドロイフオギリフールー3-17ル) -2-メデルー4-(メデルスルホニル) フェール] (3-)  (3-)    シー1-メチルー1H-ピラゾールー4ーイル) メタノン	
007		シプロジニル
S37	シプロジニル	シブロシール 
S38	ジブロモネオペンチルグリコール	
S39	N-(2, 4-ジフルオロフェニル)-2-[3-(トリフルオロメチル)フェノキシ]ニコチンアミド	
S40	N, N-ジメチルテトラデカン-1-イルアミン	
S41	1, 1ージメチルー3ー(5ーtertーブチルーイソオキサゾリル)尿素	イソウロン
S42	3-t-ブチル-5-クロロー6-メチルウラシル	ターバシル
S43	ーデカヒドロナフタレン	
S44	テトラジホン	テトラジホン
S45	テルピネオール酢酸エステル	, , , , , ,
S46	トリアジフラム	トリアジフラム
S47	1, 3, 5 - トリス(ジメチルアミノプロピル)ヘキサヒドロー1, 3, 5 - トリアジン	1 77 77 74
S48	2, 4, 6ートリニトロトルエン	
		ニテンピラム
S49		ーナンヒフム
S50	ニトロエタン	
S51	nーノナン	
S52	2ーヒドロキシプロピル=アクリラート	
S53	フェノチアジン	
S54	5-tert-ブチル-3-[2, 4-ジクロル-5-(プロパ-2-イン-1-イルオキシ)フェニル]-1, 3, 4-オキサ	オキサジアルギル
	ジアゾール-2(3H)-オン	
S55	ブチンー2ージオールー1,4	
S56	5ープロパンー1ーイルー6ー(2, 5, 8ートリオキサドデカンー1ーイル)ー1, 3ーベンゾジオキソール	
S57	N-(4-フルオロフェニル)-N-イソプロビル-2-[[5-(トリフルオロメチル)-1, 3, 4-チアジアゾール-2	Fluthiamide
	ーイル]オキシ]アセトアミド	
S58	rel-(1R, 2R, 4R)-ボルナン-2-イル=アセタート	
S59	TBI= (TR, 2R, 4R) = パルナン = 2 = イルーナ ピタード  3ーブロモー1 = (3ークロロー2 = ピリジル) = N = [4ーシアノー2 = メチルー6 = (メチルカルバモイル)フェニル]	
308		
000	- 1H - ピラゾール - 5 - カルボキサミド	
S60	ヘキサフルオロプロピレン	
S61	3-ヘキセニルサリチレート	
S62	ベスロジン	
S63	1, 2, 4, 5ーベンゼンテトラカルボン酸	
S64	ホルムアミド	
S65	4ーメチルー2, 4ージフェニルペンター1ーエン	
S66	2ーメチルー4'ーニトロー3'ー(トリフルオロメチル)プロパンアニリド	
S67	フーメチルー3ーメチレンー1,6ーオクタジエン	
S68	メトキシフェノジド	メトキシフェノジド
	2ーメルカプトエタノール	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
570		
S70		
S70 S71 S72	3 - ヨードー 2 - プロピニル = ブチルカルパマート リン酸三亜鉛	

<sup>| 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720 | 1720</sup> 

厚生労働省発薬生 1118 第 50 号 令 和 元 年 11 月 18 日

薬事・食品衛生審議会 会長 橋田 充 殿



特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律に 基づく第一種指定化学物質及び第二種指定化学物質の指定の見直しについて (諮問)

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する(平成 11 年法律第 86 号)第 18 条の規定に基づき、同法第 2 条第 2 項に規定する第一種指定化学物質及び同条第 3 項に規定する第二種指定化学物質の指定の見直しについて、貴審議会の意見を求めます。

# 経済産業省

20191021製第2号 令和元年11月7日

化学物質審議会 会長 東海 明宏 殿



特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(平成11年法律第86号)第2条第2項に規定する第一種指定化学物質及び第2条第3項に規定する第二種指定化学物質の指定に関する化学物質審議会への諮問について

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(平成11年法律第86号)第18条の規定に基づき、次のとおり諮問します。

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律第2条第2項に規定する第一種指定化学物質及び第2条第3項に規定する第二種指定化学物質の指定について、貴審議会の意見いかん。



諮問第 511 号 環保安発第 1907017 号 令和元年 7 月 1 日

中央環境審議会 会長 武内 和彦 殿



特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律に 基づく第一種指定化学物質及び第二種指定化学物質の指定の見直しについて (諮問)

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(平成11年法律第86号)第18条の規定に基づき、次のとおり諮問する。

「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律第2条第2項に規定する第一種指定化学物質及び同条第3項に規定する第二種指定化学物質の指定の見直しについて、貴審議会の意見を求める。」



中環審第 1078 号令和元年7月1日

中央環境審議会 環境保健部会部会長 大塚 直 殿

中央環境審議会 会長 武内 和声



特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律に 基づく第一種指定化学物質及び第二種指定化学物質の指定の見直しについて (付議)

令和元年7月1日付け諮問第511号をもって環境大臣より、当審議会に対してなされた標記諮問については、中央環境審議会議事運営規則第5条の規定に基づき、環境保健部会に付議する。

### 別添7 委員名簿

### 薬事・食品衛生審議会 薬事分科会 化学物質安全対策部会 PRTR 対象物質調査会

井上 薫 国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 安全性予測評価部第一室 室長

菅野 純 国立医薬品食品衛生研究所 安全性予測評価部 客員研究員【座長】

杉山 圭一 国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 変異遺伝部 部長

頭金 正博 名古屋市立大学大学院 薬学研究科 医薬品安全性評価学分野 教授 北條 仁 一般財団法人残留農薬研究所 毒性部生殖·発生毒性研究室 室長

### 化学物質審議会 安全対策部会 化管法物質選定小委員会

蒲生 昌志 国立研究開発法人産業技術総合研究所 安全科学研究部門 総括研究主幹

坂田 信以 一般社団法人経済団体連合会 環境安全委員会環境管理 WG 特別委員 (一般社団法人日本化学工業協会 常務理事)

東海 明宏 国立大学法人大阪大学大学院 工学研究科 教授【小委員長】

松江 香織 一般社団法人日本化学工業協会国際化学工業協議会 (ICCA) 化学品政策と健康リーダーシップグループ 委員

宮川 宗之 学校法人帝京大学 医療技術学部スポーツ医療学科 教授

森田 健 独立行政法人製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター 上席技術専門官

### 中央環境審議会 環境保健部会 PRTR 対象物質等専門委員会

青木 康展 国立研究開発法人国立環境研究所 環境リスク・健康研究センター フェロー【専門委員長】

亀屋 隆志 国立大学法人横浜国立大学大学院 環境情報研究院 教授

菅野 純 国立医薬品食品衛生研究所 安全性予測評価部 客員研究員

小山 次朗 国立大学法人鹿児島大学 名誉教授

白石 寬明 国立研究開発法人国立環境研究所 名誉研究員

鈴木 規之 国立研究開発法人国立環境研究所 環境リスク・健康研究センター センター長

宮川 宗之 学校法人帝京大学 医療技術学部スポーツ医療学科 教授

## 別添8 審議の推移

令和元年 12 月 3 日 第 1 回 化管法対象物質見直し合同会合 開催 令和 2 年 2 月 19 日 第 2 回 化管法対象物質見直し合同会合 開催 令和 2 年 4 月 10 日 第 3 回 化管法対象物質見直し合同会合(書面審議)開催